

別添第1号

平成28年度

事業報告書

ふれあいネットワーク

社会福祉
法人

大分県社会福祉協議会

目 次

概 要	-----	1
各部所事業報告		
総務・企画情報部	-----	2
地域福祉部	-----	6
市民活動支援部	-----	25
福祉資金部	-----	40
施設団体支援部	-----	44
身体障害者福祉センター	-----	51
社会福祉介護研修センター	-----	69
福祉サービス運営適正化委員会	-----	89
第三次総合福祉計画実施報告	-----	95

28年度事業報告（概要）

近年における家族形態の変容や地域での支えあい意識の低下など、人間関係の希薄化を背景とした児童・高齢者への虐待、高齢者等の孤立、孤独死などの問題が山積みしているなか、住民主体による地域福祉活動を積極的に推進し、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりのための事業を重点的に取り組むとともに、第3次中長期活動計画だいつくプラン2013の後期にあたり、進捗状況を確認するとともに、各重点テーマ毎の実施計画に基づき事業展開を図った。あわせて経営基盤強化に向けた財源確保に取り組み、地域福祉推進のための各事業を中心に以下の取り組みを行った。

1 地域福祉推進の強化

社会福祉法人改革への対応をはじめ、生活困窮者自立支援事業の推進を図るとともに、買い物困難者支援等の地域生活課題について、地域福祉推進委員会における対応協議を重ねるとともに各研究部会の活性化を図った。また、地域生活支援の核となる人材を育成するため、地域福祉コーディネータースキルアップ研修を開催した。

2 生活支援事業の取り組み

福祉人材の確保並びに自立支援を目的とした新たな貸付事業に取り組むとともに、生活福祉資金貸付制度の充実強化を図り、生活困窮者への支援を行った。併せて日常生活自立支援事業の充実を図るとともに、社協における法人後見の実施に向けた取り組み支援を行った。また、社会福祉法人の社会貢献事業の取り組み支援を行った。

3 ボランティア活動の推進

災害時に備えた日頃からのボランティアネットワークづくりと災害ボランティアセンターの人材育成の取り組みを行うとともにボランティアとNPO、企業等との一層の連携強化を図った。

4 こどもの貧困対策の強化

子どもの貧困対策の強化を図るため子ども食堂を実施し、開設に向けた手引き書を作成・配布を行った。またフードバンクおおいとの連携により、子ども食堂への食料支援を図った。

5 指定管理施設の充実

大分県社会福祉介護研修センター及び大分県身体障害者福祉センターでは、各種事業の充実を図るとともに、福祉人材の育成及び利用者へのサービスの一層の向上に努めた。

総務・企画情報部

総務企画課

適切な法人運営を行うため、理事会等各種会議を開催したほか、人事考課制度を運営するとともに、人材育成基本方針のもと人事管理の強化に努めた。

1 県社協組織の運営

(1) 役員会等の開催

会議名	期日	主な議題
監事監査	5月13日	平成27年度事業実施状況、決算状況
第233回理事会	5月27日	平成27年度事業報告、決算等
第161回評議員会	5月27日	平成27年度事業報告、決算等
第234回理事会	12月7日	定款変更、諸規程の一部改正
第162回評議員会	12月7日	定款変更、諸規程の一部改正
第235回理事会	3月21日	平成29年度事業計画(案)、予算(案)
第163回評議員会	3月21日	〃

(2) 市町村社協との連絡調整及び各種会議の開催・参加

①市町村社会福祉協議会事務局長会議

期日 平成28年4月22日(金)
場所 大分県総合社会福祉会館 大ホール
出席者 21名
内容 ・ 県行政説明
・ 平成28年度県社協重点事業、事業計画

②九州各県・指定都市社会福祉協議会事務局長会議(前期)

期日 平成28年8月30日(火)
場所 JRおおいたシティ 会議室
出席者 21名
内容 ・ 中央情勢報告
・ 提出議題協議

③九州各県・指定都市社会福祉協議会総務部課長・職員研究会議

期日 平成28年11月7日(月)
場所 アリソンホテル大分
出席者 21名
内容 ・ 中央情勢報告
・ 提出議題協議

④全国社会福祉協議会・九州社会福祉協議会連合会関係会議等
(全国関係) (九州関係)

会 議 名	期 日	場 所
全国社会福祉協議会評議員会	5月20日	全社協
	3月9日	全社協
都道府県社協常務理事・事務局長セミナー	7月13～14日	ロフォス湘南
都道府県社協総務担当部・課長会議	9月8～9日	全社協
社会福祉法人制度改革担当部課長会議	12月12日	全社協
都道府県社協常務理事・事務局長会議	1月27日	全社協
九社連事務局長会議(後期)	2月7日	長崎市

(3) 職員の資質向上等への取り組み

- ①社会福祉施設等新任職員研修会 前期(4月13日～14日) 8名
後期(5月26日～27日) 8名
- ②社会福祉施設管理者等人権擁護研修及びメンタルヘルス対策研修 1名
- ③人権研修会(8月26日・9月1日) 全職員
- ④安全運転管理者講習会 1名
- ⑤社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座中級 1名

(4) 社会福祉関係従事者等の顕彰

10月12日、別府市ビーコンプラザで開催した「第11回大分県地域福祉推進大会」の席上において、121名・40団体の表彰を行った。

①県社協会長表彰

- ・民生委員児童委員特別功労者 13名
- ・社会福祉事業関係功労者 83名
- ・自力更生者 2名
- ・ボランティア功労者・団体 5名・14団体
- ・優良社会福祉施設 2団体
- ・優良社会福祉協議会 4団体

②県社協会長感謝状

- ・ボランティア功労者・団体 17名・14団体
- ・善意銀行寄付者・団体 6団体
- ・事業協力者 1名

(5) だいふくプランの進行管理

だいふくプラン2013(第三次中長期活動計画)の後期にあたり、諸制度の動きにあわせた見直しを行うとともに、その取り組みの進行管理を行った。

(6) 社会福祉法人制度改革施行に向けた法人運営の見直し

社会福祉法人制度改革施行に向けた定款変更、理事会・評議員会の見直し、内部

留保の明確化など整備に取り組んだ。

(7) 県社協職員人材育成基本方針による研修の実施

地域福祉の推進、特に地域の支えあい「共助」が求められている中、県民の役に立つ人材を戦略的に創出、育成し、意識改革を行い、組織風土を変革し、新たな地域コミュニティの創造に役立つ人材育成を目的にした研修を実施した。

(8) 指定管理施設の管理・運営

社会福祉介護研修センター及び身体障害者福祉センターの指定管理者として、両施設の効率的な管理・運営に努めた。

2 善意銀行の運営

指定預託金 15 件、一般預託金 7 件、合計 22 件の預託があった。このうち一般預託金の配分については、善意銀行配分委員会で、各福祉団体から申請のあった各種事業等に対する助成を行った。

3 総合社会福祉会館の運営

(1) 施設の利用状況

福祉関係団体をはじめ広く一般に、研修、会議、大会等の会場としての利用促進を図った。

【大分県総合社会福祉センター】

※ () 27年度

区 分	福 祉 関 係		一 般		計	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人数
大ホール	138 (128)	11,904 (10,679)	35 (37)	4,765 (5,443)	173 (165)	16,669 (16,122)
大会議室	11 (22)	358 (1,089)	13 (20)	1,180 (2,200)	24 (42)	1,538 (3,289)
中会議室	81 (97)	2,791 (3,436)	45 (34)	2,205 (1,345)	126 (131)	4,996 (4,781)
小会議室	252 (259)	2,781 (3,397)	82 (70)	1,736 (1,343)	334 (329)	4,517 (4,740)
合 計	482 (506)	17,834 (18,601)	175 (161)	9,886 (10,331)	657 (667)	27,720 (28,932)

4 民間社会福祉施設従事職員の福利厚生

(1) 民間社会福祉施設職員退職共済事業の実績

	27年度	28年度
加入者数	9, 203 人	9, 331 人
給付人数	1, 092 人	1, 042 人
給付金額	685,299,030 円	715,072,098 円

(2) 民間社会福祉施設互助共励事業の実績

給付金種類	27年度		28年度	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
弔慰金	7	230,000	10	350,000
傷病手当金	12	180,000	10	130,000
結婚祝金	210	3,150,000	201	2,985,000
出産祝金	245	3,705,000	233	3,510,000
入学祝金	198	3,955,000	215	4,340,000
脱退一時金	109	14,617,653	114	13,156,043
災害見舞金	0	0	32	680,000
合計	781	25,837,653	815	25,151,043

地域福祉部

地域福祉課

地域に密着した福祉活動の推進を図るため、地域活動の核となる地域福祉コーディネーターの養成・育成に力を入れるとともに、市町村社協の基盤強化のための研究協議や役職員の資質向上のための研修会及び地域住民や関係団体等を対象とした各種事業を展開した。

また、生活困窮者自立支援制度に係る就労支援事業の円滑な運営を図ることを目的に、多様な機関・団体で情報共有しながら課題解決に向け協議していく就労支援協議会を設置した。

1 地域福祉活動推進支援

誰もが安心して心豊かに生活できる地域社会を創出するため、住民が地域で互いに支えあい・助けあう小地域ネットワークを普及推進し、地域の福祉力を高めるための人材育成及び技術支援を行った。

(1) 小地域ネットワーク活動の推進

①地域づくりを目的とした調査とその分析及び結果の活用

ア 住民への説明

実施日 平成29年1月19日(木)

場 所 別府市青山町公民館

参加者 24名

イ 住民代表者との打合せ

実施日 平成29年2月13日(月)

(2) 圏域別サロン交流会の開催

市町村域を越えたサロン関係者のつながり強化やサロン内容の工夫、課題解決に向けた意見交換等を行い、県内各地のサロン活動の活性化を図った。

①圏域別サロン交流会

ア Bブロック(対象圏域:別府市・日出町・杵築市・国東市・姫島村)

実施日 平成28年10月3日(月)

場 所 日出町保健福祉センター

参加者 80名

イ Fブロック(対象圏域:佐伯市・臼杵市・津久見市)

実施日 平成28年10月17日(月)

場 所 佐伯市保健福祉総合センター和楽

参加者 80名

ウ Eブロック(対象圏域:竹田市・豊後大野市)

実施日 平成28年10月19日(水)

場 所 豊後大野市三重農村環境改善センター

参加者 60名

エ Dブロック(対象圏域:日田市・九重町・玖珠町)

実施日 平成28年12月12日（月）

場 所 パトリア日田

参加者 60名

オ Cブロック（対象圏域：豊後高田市・中津市・宇佐市）

実施日 平成28年12月13日（火）

場 所 宇佐市勤労者総合福祉センターさんさん館

参加者 110名

②サロン交流会（全体会）

実施日 平成29年2月2日（木）

場 所 大分県教育会館

参加者 130名

（3）若者が参加するサロンモデル事業の実施協力

孤立ゼロ社会の実現に向けたモデル事業について、高校、市社会福祉協議会、県と協働で高校生とサロンとの交流事業を実施。

①宇佐市サロンモデル事業

・ 実施日 平成28年10月31日（月）

場 所 月の瀬いきいきサロン

内 容 高校生のサロン訪問・交流・アンケート調査実施

・ 実施日 平成28年11月12日（土）

場 所 宇佐産業科学高校

内 容 宇佐産業科学高校へサロン関係者を招待・交流

・ 実施日 平成29年2月9日（木）

場 所 上城井サロン

内 容 高校生のサロン見学・体験・交流

②佐伯市サロンモデル事業

・ 実施日 平成28年11月15日（火）

場 所 新佐伯豊南高校周辺サロン（3カ所）

内 容 新佐伯豊南高校生徒のサロン見学・体験・交流

・ 実施日 平成29年3月21日（火）

場 所 新佐伯豊南高校へサロン関係者を招待・交流

③民生委員・児童委員によるキッチンプラザ（子ども食堂）

実施日 平成28年8月26日（金）

場 所 宇佐ふれあいプラザ

内 容 小学生を対象に子ども食堂（食事・学習・遊び）を実施

（4）黄色い旗サミット

見守りや声かけだけではない、生きがい・健康づくり等を地域住民が主体となって進める「住民総活躍の地域づくり」創出を目指し開催した。

期 日 平成28年12月4日（日）

会 場 国東市武蔵セントラルホール

参加者 約250名

(5) 買い物弱者支援事業

買い物弱者支援及び地域住民への声かけや情報収集、災害時の支援、地域振興など包括的な地域支援につなげ、地域福祉の増進を官民連携で推進していく体制づくりを行った。

①買い物弱者支援による地域活性化連絡会の開催

ア 第1回連絡会

実施日 平成28年12月22日(木)

場 所 杵築市役所

イ 第2回連絡会

実施日 平成29年1月6日(金)

場 所 大分県総合社会福祉会館

ウ 第3回連絡会

実施日 平成29年1月17日(火)

場 所 大分県総合社会福祉会館

エ 第4回連絡会

実施日 平成29年2月6日(月)

場 所 大分県総合社会福祉会館

②官民連携体制の構築

ア 「くらしの“よりどころ”づくり包括連携協定」の締結

実施日 平成29年1月26日(木)

場 所 杵築市役所

(6) 大分県地域福祉推進大会の開催

地域福祉の全県的な推進を啓発する大会として「第11回大分県地域福祉推進大会」を開催するとともに、県社協会長表彰・感謝状の授与を行った。

①大会実行委員会 7月13日(水)

②第11回大分県地域福祉推進大会

期 日 平成28年10月12日(水)

会 場 別府ビーコンプラザ

内 容 表彰式典、基調講演

参加者 約2,000名

2 市町村社会福祉協議会の運営や活動強化に向けた支援

(1) 地域福祉推進委員会の運営

社協が取り組む地域福祉の推進と社協基盤の確立強化を図るため、当面する課題への解決策を明らかにすべく、調査研究や検討会等を開催した。

①本委員会の開催

第1回 平成28年5月13日(金)

ア 平成27年度事業報告について

イ 平成28年度各研究部会事業計画について

ウ 報告事項(制度改革、熊本地震への対応等)

第2回 平成28年7月21日(木)

ア 委員長の選任について

- イ 情報交換
- 第3回 平成29年3月2日(木)
- ア 平成28年度各部会の取り組み状況について
- イ 平成29年度委員会事業計画(案)について

②部会の開催

- ア 法人経営・制度政策研究部会
6月22日(水)、9月1日(木)、10月5日(木)、2月27日(月)
- イ 地域・在宅福祉推進事業等研究部会
6月14日(火)、2月28日(火)
- ウ 地域防災研究部会
6月21日(火)、1月13日(金)

③作業部会・情報交換会の開催

- ア 新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン等に関する研究作業部会
2月13日(月)、3月6日(月)
- イ 生活支援コーディネーター情報交換会
12月14日(水)
- ウ 地域防災研究作業部会
6月21日(火)

④資料提供

全社協など中央の情報等を随時メール配信した。

(2) 役職員の資質向上を目的とした会議・研修・学習会の開催

会議・研修名	期 日	会 場	内 容	参加者
市町村社協新任職員研修会	5月10日(火)	県総合社会福祉会館	1) 講義Ⅰ「社協職員という組織人としての心構えと接遇・コミュニケーション」 2) 講義Ⅱ「社会福祉協議会の使命、活動と必要な視点」	32名
地域福祉課長・係長研究協議会	7月21日(木)～ 22日(金)	アリストンホテル大分	1) 講演「社会福祉法人改革と社会福祉協議会の対応」 2) 研究協議 3) 実践報告「社会福祉法人制度改革への対応と支援～社協が取り組む地域貢献～」	延べ 55名
社協常務理事・事務局長研究協議会	3月2日(木)	県総合社会福祉会館	1) 行政説明 2) 情勢報告 3) 視察報告 4) その他	30名
社会福祉法人・社会福祉協議会制度改革説明会	10月18日(火)	県総合社会福祉会館	・社会福祉法改正の概要 ・定款変更等に係るポイント	36名

地域福祉コーディネータースキルアップ研修会	9月23日(金)	ホテルサンバリー アネックス	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「地域包括ケアにおける医療と地域の連携のあり方」 ・事務局説明 ・実践報告「社協における多機関協働のあり方と相談支援体制の整備について」 ・講演「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョンと社協が今、取り組むべきことについて」 	22名
	10月27日(木)	県総合社会福祉会館	講義・演習:「コミュニティソーシャルワークの視点」及び「複合的課題を抱えた事例の検討を通じたアセスメントとプランニング、ネットワークの構築について」	22名
	10月28日(金)	県総合社会福祉会館	講義・演習:「他者を引き込むファシリテーション能力及び会議の開き方」	20名
ニーズ調査研修会	11月7日(月)～ 11日(金)	別府市亀川地区	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査現地研修 ・障がいのある方への聴き取り調査 ・地域資源の把握 ・調査内容の分析 	延べ 41名
南阿蘇村災害ボランティアセンター運営支援振り返り研修会	1月13日(金)	県総合社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 1) 経過・実践報告 2) 意見交換 	35名
災害時要配慮者を含む避難訓練	1月15日(日)	亀川地区 古市町	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査に基づく避難訓練実施 ・記録・支援方法の検討 	14名
	1月29日(日)	支援センターらいぶおん	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の共有・振り返り ・避難訓練の報告 ・参加者の感想と意見交換等 	8名

(3) 生活困窮者自立支援制度への対応支援

① 「自立相談支援事業等担当者連絡協議会」の運営

- ・ 第1回連絡協議会（事例持ち寄り型検討会）
 - 実施日 平成28年6月28日（火）
 - 場 所 県社会福祉介護研修センター
 - 内 容 ケース処理研究
 - 参加者 26名
- ・ 第2回連絡協議会（テーマ：相談員のメンタルヘルス）
 - 実施日 平成28年12月22日（木）
 - 場 所 県総合社会福祉会館
 - 内 容 相談員のメンタルヘルスに関する講義・演習

参加者 25名

- ・ 第3回連絡協議会（テーマ：ひきこもり者支援）
～自立相談支援事業等担当職員スキルアップ研修会～
実施日 平成29年2月17日（金）
場 所 県総合社会福祉会館
内 容 講義と演習
参加者 20名

②「大分県生活困窮者就労支援協議会」の設立

- ・ 大分県生活困窮者就労支援協議会の設置に向けた準備会
実施日 平成28年10月26日（水）
場 所 県総合社会福祉会館
内 容 ①制度と法施行後の現状・課題の共有
②協議会の設置に向けた意見収集
- ・ 第1回大分県生活困窮者就労支援協議会（本会議）
実施日 平成29年1月31日（火）
場 所 県総合社会福祉会館
内 容 ①生活困窮者自立支援法施行後の県内の取組
②協議会設置の趣旨等
③取組みテーマ（案）及び今後の協議会の進め方等
④就労支援に関するアンケート結果報告

③大分県生活困窮者自立支援制度相談支援従事者研修（※県と共催）

- ・ 前期日程
実施日 平成28年5月19日（木）～20日（金）
場 所 県社会福祉介護研修センター
内 容 ①生活困窮者支援の基本的な考え方と自立相談支援の重要性
②生活困窮者支援に必要と考えられる視点と相談支援の展開
③生活困窮者支援における連携の強化

参加者 37名

- ・ 後期日程
実施日 平成28年11月17日（木）～18日（金）
場 所 県社会福祉介護研修センター
内 容 ①相談支援の理念と展開
②アセスメントのポイントと記録の書き方
③権利擁護の視点
④就労支援の実際と支援のポイント
⑤就労支援の実施方法
⑥フードバンクおおいたの取組み

参加者 44名

（4）市町村社協学習支援事業の実施

市町村社会福祉協議会職員等の資質向上並びに組織力の強化を図るため、市町村社協が希望する学習内容に対応し、講師及び職員の派遣を行った。

- ・ 実施回数：年12回

(5) 市町村社協事業・行事への支援

①市町村社協主催の社会福祉大会等への出席

大分市、別府市、佐伯市、竹田市、由布市、杵築市

(6) 善意銀行を通じた社協への物品等の配分

善意銀行をとおして寄贈の申し出があった介護用ベッド、車いす、巡回車両等について、以下のとおり社協への配分を行った。

寄贈者	品目	配分先社協
日産プリンス大分販売株式会社・労働組合	介護ベッド	大分市、豊後高田市、国東市
大分県生命保険協会	巡回車両	由布市、玖珠町
明治安田生命保険相互会社	車いす	大分市、日田市、佐伯市、宇佐市、日出町
大分教区仏教婦人会連盟	車いす	中津市、豊後高田市
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 大分支店	車いす	竹田市

(7) 各種調査活動等

①市町村社協の現況調査作成

②市町村社会福祉協議会役職員名簿の作成

③「社協・介護サービス事業経営の手引き」配布

④社会福祉法改正に伴う定款変更チェックリスト作成

3 民生委員・児童委員活動の推進

地域社会における住民同士の支え合いや安全・安心の確保が求められるなか、孤立し深刻な課題を抱えている高齢者世帯・子育て家庭等を発見し、行政や専門機関につなぎ、福祉サービスの利用や支援につなぐ役割を担う民生委員・児童委員に対し、県民児協事務局として各種事業支援を行った。

また、平成29年8月に行われる民生委員制度創設100周年記念「大分県民生委員児童委員大会」に向けた諸準備について、同じく県民児協事務局として支援を行った。

(1) 各種会議・委員会の開催

①正副会長会議の開催（計7回）

②理事会の開催（計4回）

③各専門員会の開催

- ・総務委員会（計2回）
- ・地域福祉推進委員会（100周年事業委員会との共催含む）
- ・調査研究委員会（100周年事業委員会との共催含む）
- ・主任児童委員連絡会
- ・児童福祉推進委員会並びに主任児童委員連絡会合同会議（計2回）
- ・広報紙編集委員会（計10回）

- ④民生委員制度創設100周年周年記念事業関係
 - ・大分県民生委員児童委員大会実行委員会（計4回）
 - ・事業委員会（計2回）
 - ・記念誌作成委員会（計3回）

(2) 県内研修会等の企画・実施

- ①単位民生委員児童委員協議会会長研修会（参加者179名）
- ②民生委員・児童委員等の相談に関する研修会（参加者294名）
- ③子育て環境セミナー（参加者560名）
- ④中堅民生委員児童委員研修会（参加者103名）
- ⑤主任児童委員研修会（参加者256名）
- ⑥民生委員・児童委員ブロック別研修会（県内8ブロック、参加者2,085名）

(3) 市町村社協事業との連携

- ①生活福祉資金等貸付事業への協力
長期滞納世帯などの状況把握への協力
- ②法律巡回相談の実施
実施か所：10か所、相談者数：57人（件数：53件）

(4) 市町村民児協組織の整備と活性化支援

- ①指定民生委員児童委員協議会育成事業
 - ア 大分市豊府校区民生委員児童委員協議会
 - イ 玖珠町民生委員児童委員協議会
- ②「民生委員・児童委員の日」活動強化週間にあわせ、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりを進めるとともに、地域住民へ各種民生委員活動への理解と協力をお願いした。
- ③一斉改選に伴う各種引き継ぎの徹底への支援を行った。

(5) 全国及び九州ブロック会議、研修会への参加

- ①全民児連総務部会（東京都）
- ②全民児連評議員会（東京都）
- ③全民児連評議員セミナー（東京都）
- ④全国民生委員互助共励事業運営委員会（東京都）
- ⑤民生委員制度創設100周年記念事業企画推進委員会（東京都）
- ⑥都道府県・指定都市市民児協事務局会議（東京都）
- ⑦全国主任児童委員研修会（西日本ブロック）（兵庫県）
- ⑧第85回全国民生委員児童委員大会（香川県）
- ⑨民生委員・児童委員リーダー研修会（東京都）
- ⑩民生委員・児童委員のための相談技法研修会（東京都）
- ⑪全国児童委員研究協議会（千葉県）
- ⑫全国民生委員児童委員指導者研修会（神奈川県）
- ⑬九州ブロック民生委員児童委員関係事業会議（宮崎県）

(6) 互助事業等の実施

- ①慶弔事業の実施（一斉改選含む）
- ②退任記念品料給付事業の実施（一斉改選含む）
- ③傷病見舞金給付事業の実施
- ④全国互助事業給付の実施（一斉改選含む）
- ⑤民生委員・児童委員活動保険への一括加入

(7) 広報活動及び情報提供等

- ①広報紙「大分県民児協だより『愛』」の発行（年3回）
- ②PR用チラシ・ポケットティッシュの作成、配布
- ③100周年記念ポスター・チラシ・バッジの配布
- ④全民児連ホームページ（mj ASSIST）の活用促進
- ⑤各種資料の提供
 - ・児童委員活動の手引き41集の配布
 - ・民生委員・児童委員による相談支援活動のヒント集（第1集・第2集）の配布
 - ・民生委員・児童委員活動記録記入の手引きの配布

4 関係団体との連携、支援

(1) 社協職員連絡協議会の運営支援

社協職員の資質向上と情報交換を目的に組織された「大分県市町村社協職員連絡協議会」の運営支援を行った。

①交流・研鑽事業の支援

ア ニーズ調査研修会

期 日 平成28年5月9日(月)～5月13日(金)

会 場 別府市亀川地区

参加者 延べ43名

イ ニーズ調査研修振り返り会

期 日 平成28年6月1日(水)

会 場 県総合社会福祉会館

参加者 20名

ウ 南阿蘇村災害ボランティアセンター運営支援振り返り研修会

(地域防災研究部会研修会と共同実施)

期 日 平成29年1月13日(金)

会 場 県総合社会福祉会館・京の華音

参加者 35名

内 容 経過・実践報告、意見交換、交流会

②総会の開催

期 日 平成28年6月21日(火)

(2) 情報提供等

- ①県社協主催のセミナーや研修会についての情報提供
- ②市町村社協職員学習会との連携による支援
- ③メーリングによる介護保険事業等の制度情報の提供

(3) NPO、小規模福祉団体への支援

県内で活動するNPO団体や小規模福祉団体への情報提供や活動等に対しての相談に応じた。

(4) フードバンク、大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会等との連携

生活困窮者等に対する相談支援の活性化を図るため、フードバンクおおいた及びおおいたくらしサポート事業との連携した活動を進めた。

(5) 県共同募金会との連携

募金活動及び配分についての意見を提示した。

(6) 大分県市町村社協災害時応援協定等に基づく災害への支援

災害ボランティアセンター等の運営支援のための応援職員を派遣した。

①由布市災害ボランティアセンター

期 日 平成28年5月20日(金)～5月26日(木)

人 数 延べ13名

②竹田市被災ボランティアセンターベースキャンプ

期 日 平成28年5月1日(日)～

人 数 延べ6名

(7) 九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づく熊本県への支援

災害ボランティアセンター等の運営支援のため、応援職員の派遣を行った。

①南阿蘇村災害ボランティアセンター

期 日 平成28年4月21日(木)～8月1日(月)、8月3日(水)～8月6日(土)、8月17日(水)～8月20日(土)

人 数 延べ109名

②西原村災害ボランティアセンター

期 日 平成28年4月28日(木)～5月2日(月)

人 数 2名

③熊本県社協災害対策本部

期 日 平成28年6月7日(火)～6月11日(土)

人 数 1名

④生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付への支援

期 日 平成28年5月6日(金)～6月17日(金)

人 数 8名(南阿蘇村4名、熊本市3名、宇土市1名)

5 子どもの貧困対策に向けた活動・団体等への支援(子ども支援センター)

(1) 子どもの居場所づくりへの支援

①だいふくんKITCHEN(子ども食堂)の実施

夏休み期間等を中心に、子どもたちへの食事及び学習支援等を行った。

時 期	主たる流れ	備 考
4月11日	第1回子ども支援推進会議	目的の共有、次回までの取組みについて役割分担
4月28日	第2回子ども支援推進会議	意見出しアンケート結果の共有、会場確認
5月2日	第3回子ども支援推進会議	進捗状況確認、今後のロードマップ
5月16日	第4回子ども支援推進会議	進捗状況確認、企画書案①の作成
5月23日	第5回子ども支援推進会議	進捗状況確認、危機管理マニュアル(素案)検討
5月30日	第6回子ども支援推進会議	進捗状況確認、保健所の助言を受けての検討、見積予算のつめ等
6月6日	第7回子ども支援推進会議	進捗状況確認、チラシ(案)の検討、広報方法の検討等
6月13日	学校との打ち合せ①	趣旨説明及びご協力をお願い
6月13日	第8回子ども支援推進会議	進捗状況確認レシピ(案)・アレルギー対応の検討
6月20日	第1回推進協議会(運営者打合せ)	事業の概要説明、企画内容説明、当日のメニューと準備物(案)に対する意見出し等
6月27日	第9回子ども支援推進会議	進捗状況確認、ボランティアの確認等
7月4日	第10回子ども支援推進会議	進捗状況確認、当日プログラム及び最終役割分担の確認等
7月12日	第2回推進協議会(運営者打合せ)	当日の内容についての最終報告及び当日に向けた役割依頼
7月20日	第1回フードバンクキッチン	当日に向けたプレ調理の実施
7月26日	第11回子ども支援推進会議	進捗状況管理、最終確認
8月3日	大津町だいふくんKITCHEN①	参加者50名、スタッフ24名、視察者5名
8月10日	大津町だいふくんKITCHEN②	参加者39名、スタッフ22名、視察者7名
8月17日	大津町だいふくんKITCHEN③	参加者38名、スタッフ26名、視察者19名
8月24日	大津町だいふくんKITCHEN④	参加者44名、スタッフ31名、視察者6名
8月31日	大津町だいふくんKITCHEN⑤	参加者40名、スタッフ35名、視察者6名
11月8日	民生委員・ボランティア打合せ	概要説明及び役割分担の確認等
11月14日	学校との打ち合せ②	近隣小学校との事前協議
12月19日	第12回子ども支援推進会議	当日プログラム及び最終役割分担の確認等
12月26日	大津町だいふくんKITCHEN⑥ 第2回フードバンクキッチン	参加者64名、スタッフ21名、視察者8名

②「子ども食堂の開設に向けた手引書」の作成・配布（680部）

③子ども食堂普及のための学習会への出席（杵築市・宇佐市等）

④第1回大分県内子ども食堂情報交換会の開催

期 日 平成28年9月30日（金）

会 場 別府ビーコンプラザ楽屋3

内 容 情報交換

参加者 24名

(2) 子育て環境セミナーの開催

期 日 平成28年9月30日(金)

場 所 別府ビーコンプラザ フィルハーモニアホール

内 容 基調講演、活動報告(3団体)

参加者 570名

(3) 調査・研究活動

県内の子ども食堂への調査

6 調査・情報機能の充実(広報啓発班)

(1) 県社協ホームページ及びFacebook等による情報提供

(2) 県社協広報誌「だいふく(大分社会福祉)」による社協事業・活動等の広報啓発

(3) 広報啓発活動

- ① マスコットキャラクターの活用による福祉(社会福祉協議会)の周知・広報
赤い羽根共同募金伝達式、大分国際車いすマラソン大会開会式、JFLホームゲーム等の各種イベント・大会等への参加
- ② 日本郵便が実施する年賀状イベントへの参加 他

あんしんサポートセンター

日常生活自立支援事業を推進し、福祉サービス利用者の権利擁護に努めた。

1 日常生活自立支援事業の推進

(1) 相談受付件数及び契約・解約の状況

①相談受付の状況（平成28年4月～平成29年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	316件

②契約締結の状況（平成28年4月～平成29年3月末）

契 約	締 結	解 約	合 計
	①	②	①－②
	175件	198件	-23件

【累計】

①相談受付の状況（平成11年10月～平成29年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	5,612件

②契約締結の状況（平成11年10月～平成29年3月末）

契 約	締 結	解 約	現在締結件数
	①	②	③ (①－②)
	2,434件	1,708件	726件

(2) 大分県契約締結審査会の開催

当審査会は、3カ月に1回を基本に開催し、生活支援員による調査の結果、利用者の判断能力に疑義が生じた案件等について諮った。

また、既契約締結済の利用者について、定期的な支援計画の見直しを行った。

開 催 日	審査件数
平成28年 5月25日	1件
平成28年 8月22日	0件
平成28年11月21日	2件
平成29年 2月14日	2件
合 計	5件

※審査案件なしのため中止

(3) 関係機関との連携

関係機関連絡会議を開催し、日常生活自立支援事業に関する意見交換等を行った。

日常生活自立支援事業関係機関連絡会議

期 日 : 平成29年 1月20日 (金)
会 場 : 県総合社会福祉会館
内 容 : ア. 日常生活自立支援事業実施状況について
イ. 質疑・協議
参加者数 : 21名

(4) 会議・研修会の開催

各種研修活動等を通じ、県社協職員及び市町村社協職員（生活支援専門員・生活支援員）の資質向上に努めた。また、事業実施体制の充実を図るため、事業担当職員連絡協議会を開催し、事業実施について協議を行った。

① 第1回日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 平成28年 7月11日 (月)
会 場 県総合社会福祉会館
内 容 【報告】日常生活自立支援事業の現状と動向
【研究協議】業務システムについて
利用者の死亡時の預かり物件の返還等について
参加者 17名

② 第2回日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 平成29年 2月24日 (金)
会 場 県総合社会福祉会館
内 容 【研究協議】予算の動向について
現物調査について
参加者 54名

③ 日常生活自立支援事業新任担当職員研修会

期 日 平成28年 5月30日 (月)
会 場 県総合社会福祉会館
内 容 講義Ⅰ「日常生活支援事業の概要」
「専門員の役割」
「専門員の業務」
「実務について」
講義Ⅱ「日常生活自立支援事業業務システムについて」
「業務システム操作方法等」
参加者 14名

- ④ 生活支援員等事業関係職員研修会の開催
- 期 日 平成29年 2月24日(金)
- 会 場 県総合社会福祉会館
- 内 容 【講義・演習】
「精神障がいの理解と支援について」
- 参加者 54名

(5) 各種会議・研修会等への出席

< 県外 >

- ① 全国日常生活自立支援事業担当部・課・所長会議

(平成28年5月27日)

< 県内 >

- ① 社会福祉協議会活動全国会議 (住民主体の地域包括ケア推進セミナー)
- ② 大分市社協やすらぎ生活支援事業委員会
- ③ 大分県成年後見制度推進連絡会議
- ④ 法テラス地方協議会

(6) 普及・啓発

- ① パンフレットの配布

各市町村社協、県・市町村行政、社会福祉施設、金融機関、医療機関、民生委員、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等関係機関にパンフレットを配付し、事業の周知を図った。

- ② 各種研修会等での事業説明

市町村社協、県・市町村、地域包括支援センター、介護支援専門員等関係者の参集する各種会議・研修会の場において、本事業の説明を行った。

開催日等	会議・研修名称	会場	参加人数
5月31日	日常生活自立支援事業事業 新任担当職員研修会	県総合社会福祉会館	14名
7月11日	日常生活自立支援事業 第1回担当職員研究協議会	母子・父子福祉センター 会議室	17名
7月13日	親なきあと問題プロジェクト推進委員会	県総合社会福祉会館	21名
7月19日	臼杵市市民後見人養成講座	臼杵市社会福祉センター	13名
10月15日	大分市市民後見人養成講座	ホルトホール大分	34名
12月15日	民生委員児童委員ブロック別 研修会	九重文化センター	約300名

12月16日	民生委員児童委員ブロック別 研修会	耶馬溪公民館サニホール	約230名
1月11日	民生委員児童委員ブロック別 研修会	別府ビーンコンプラザ	約319名
1月19日	民生委員児童委員ブロック別 研修会	宇佐市勤労者総合福 祉センターさんさん館	約270名
1月21日	竹田市市民後見人養成講座	竹田市総合社会福祉センター	8名
1月29日	市民後見人養成講座	大分市植田市民行政センター	30名
1月31日	民生委員児童委員ブロック別 研修会	佐伯市保健福祉総合 センター和楽	約233名
2月15日	民生委員児童委員ブロック別 研修会	県総合社会福祉会館	約263名
2月28日	民生委員児童委員ブロック別 研修会	ホテル「イグランド」国東	約219名
3月7日	民生委員児童委員ブロック別 研修会	豊後大野市神楽会館	約250名

(7) 諸課題への対応

ア. 業務システムに関する対応

契約件数が年々増加していることへの事務負担軽減として、平成27年11月末に大分県内全ての市町村社協に業務システムを導入し、県社協とを業務システムで結ぶネットワークを構築した。業務システムの活用に係る全般的な対応を行った。

2. 権利擁護・成年後見推進事業

(1) 権利擁護・成年後見セミナー

権利擁護に係る制度や関係機関が果たす役割、権利擁護のあり方について再確認するとともに、今後の行政・関係機関・専門職相互の連携のあり方、取り組みの方法を考え、権利擁護活動の普及啓発を図るため、大分県地域生活定着支援センターとの共催により権利擁護・成年後見セミナーを開催した。

「矯正」から「共生」へ

～人格と個性を尊重し、多様な在り方を認め合い、支え合う社会～

日 時 平成28年12月10日（土）13:00～16:30

会 場 大分県総合社会福祉会館

内 容 第I部 基調講演「刑務所出所者が地域の一員として暮らすために」

～ソーシャルインクルージョンを考える～

講師：社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏

第Ⅱ部 対談「実践！矯正から共生へ」

対談者

青木 康正 氏（NPO法人オリーブの家理事長）

大久保 等 氏（熊本県地域定着支援センターセンター長）

参加者 125名

（2）権利擁護・成年後見推進連絡会議の開催

期 日 平成29年 1月20日（金）15：00～

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 ・権利擁護・成年後見推進事業について
・日常生活自立支援事業の実施状況について
・質問事項・協議内容

参集団体 福祉行政関係機関、福祉関係団体、司法関係機関等

参加者 14名

（3）権利擁護・法人後見セミナーの開催

期 日 平成28年12月20日（火）13：00～16：00

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 第Ⅰ部 基調講演「成年後見制度利用促進法について」
講師：大分大学経済学部 准教授 藤村 賢訓 氏
第Ⅱ部 実践報告「地域住民のための法人後見とは」
報告者 臼杵市福祉保健部福祉保健課
課長 高野 卓之 氏
中津市福祉部介護長寿課
主任 佐藤 秀彦 氏

参加者 61名

4. 法人後見体制整備促進事業（県委託事業）

（1）法人後見推進マニュアルの作成

他県のマニュアルを参考に組み立て、権利擁護に見識のある弁護士に監修を依頼し内容を精査した。

期 間 平成28年 9月 1日～平成29年 3月30日

内 容 I 成年後見制度の概要
II 成年後見制度の現状と法人後見の必要生
III 法人後見に向けた体制整備
IV 成年後見業務の実務

V 資料編

作成部数 300冊

配布先 市町村社会福祉協議会、県、市町村、研修会講師、専門職団体

(2) 法人後見体制整備促進研修の開催

①権利擁護・法人後見セミナー（※上記権利擁護・成年後見推進事業と併せて開催）

期 日 平成28年12月20日（火）13：00～16：00

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 第Ⅰ部 基調講演「成年後見制度利用促進法について」
 講師：大分大学経済学部 准教授 藤村 賢訓 氏
 第Ⅱ部 実践報告「地域住民のための法人後見とは」
 報告者 臼杵市福祉保健部福祉保健課
 課長 高野 卓之 氏
 中津市福祉部介護長寿課
 主任 佐藤 秀彦 氏

参加者 61名

②法人後見従事者養成研修会の開催

期 日 平成29年2月7～9日

平成29年3月8～9日（計5日間）

会 場 大分県総合社会福祉会館

参加者 延べ106名

内 容

日 程	内 容	講 師
【1日目】 2月7日（火）	オリエンテーション	大分県あんしんサポートセンター
	法人後見への期待	大分県福祉保健部地域福祉推進室
	法人後見の異議	太閤法律事務所 代表弁護士 初倉 了胤 氏
	成年後見の理念と概要	公益社団法人大分県社会福祉士会 高橋 了子 氏
日常生活自立支援事業と成年後見	大分県あんしんサポートセンター	
【2日目】 2月8日（水）	対象者の理解（認知症）	有限会社 四季彩 デイサービスセンターかざぐるま 代表 平ヶ倉 文雄 氏
	対象者の理解（知的障害）	社会福祉法人大分県社会福祉事業 団障害者支援施設大分県なおみ園 地域課長 相本 雄一郎氏
	対象者の理解（精神障害）	社会福祉法人豊海会

		地域生活支援センターとよみ園 相談支援専門員 陶山 武尊 氏
【3日目】 2月9日(木)	成年後見関係法律の理解	太閤法律事務所 代表弁護士 初倉 了胤 氏
	成年後見人の実務 (後見開始から終了)	大分県司法書士会 リーガルサポート大分 大野 祐介 氏
	成年後見人の実務 (身上監護と財産管理)	
【4日目】 3月8日(木)	成年後見人の倫理	公益社団法人大分県社会福祉士会 吉田 明美 氏
	市民後見人養成	中津市社会福祉協議会 地域福祉課生活相談支援係 係長 吉田 瑞穂 氏
	法人後見立ち上げと必要な事務	
【5日目】 3月9日(金)	法人後見の実際	山形市社会福祉協議会地域福祉部 門生活支援第二係 係長 橋本 晶子 氏
	法人後見の実際	府中市社会福祉協議会権利擁護セ ンターふちゅう 見野 一太 氏
	総括	大分県福祉保健部地域福祉推進室

大分県ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動の推進を図るため、ボランティアリーダーやコーディネーター等の人材育成を図ったほか、各種ボランティア研修を行うとともにボランティアや市民活動に関する情報提供を行った。

福祉教育においては、福祉ボランティア体験学習等を通じてボランティア活動の活性化を図るとともに、中高年者・高齢者の生きがい健康づくりの啓発を行った。

6月には「フードバンクおおいた」を立ち上げ、食に困っている人を対象に、事業を開始した。

4月に発生した熊本・大分地震により、大分県災害ボランティアセンターを立ち上げ、別府市や由布市の支援に入るとともに、九州社会福祉協議会災害協定に基づき、南阿蘇村社会福祉協議会が運営する南阿蘇村災害ボランティアセンターを拠点とした支援活動を行った。あわせて、災害ボランティアの体制整備、災害ボランティアネットワークの拡充を図るために、南阿蘇村での災害ボランティア体験型研修を行った。

1 ボランティア・市民活動の推進

(1) ボランティア等の人材育成

市町村社会福祉協議会と連携を図り、地域のボランティア・NPO活動を推進するため、各研修会・講座等を開催した。

① ボランティアコーディネーター基礎研修

大分県内の福祉施設や社会福祉協議会等で、ボランティアの受入などコーディネーター担当者の資質の向上を図ることを目的に研修を行った。

開催日 平成28年7月4日(月)

場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加者 35名

内 容 講義・ワークショップ「施設におけるボランティアコーディネーション」

講師 社会福祉法人大阪ボランティア協会

事務局長 永井 美佳 氏

② 福祉ボランティアリーダー養成講座

ボランティア団体の設立・運営・活動活性化方法等専門的な知識を習得した福祉ボランティアリーダーを養成し、中核的なボランティア団体の増加を図ることを目的に、延べ5日間の日程で開催した。

【第1日】

日時：平成28年8月29日(月) 10:00～15:30

場所：大分銀行ドーム B211 会議室

講師：関西学院大学 人間福祉学部 講師 岩本 裕子 氏

【第2日】

日時：平成28年 8月30日(火) 10:00～15:30

場所：大分銀行ドーム B211 会議室

講師：関西学院大学 人間福祉学部 講師 岩本 裕子 氏

【第3日】

日時：平成28年 9月29日（木） 10：00～15：30

場所：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

講師：社会福祉法人大阪ボランティア協会

ボランティアコーディネーター 梅田 純平 氏

【第4日】

日時：平成28年10月27日（木） 9：00集合 9：30出発

場所：南阿蘇村

講師：熊本県南阿蘇村社会福祉協議会 事務局長 里 浩士 氏

事務局次長 工藤富美代 氏

【第5日】

日時：平成28年11月17日（木） 10：00～15：30

場所：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

講師：午前 新潟市社会福祉協議会（新潟県）係長 横尾 三代子 氏

午後 矢板市社会福祉協議会（栃木県）主任 佐川 裕隆 氏

③ 福祉ボランティア専門研修

県内で活動している地域福祉活動団体に対し、より高い専門性を持った人材を育成することを目的に研修企画を公募し、目的に沿った団体に研修を委託した。

審査会 平成28年6月6日（月）

委託先 5団体（1団体への研修委託金上限300千円）

（申請団体：6団体）

団体名	研修内容	委託費
さがのせき・彩彩カフェ	認知症カフェ開設に伴う人材育成	195千円
パワーウェーブ日出	子育て支援・託児サポーター養成講座	240千円
地域ひとネット	福祉分野における協働コーディネーター育成事業	276千円
子育て応援ワクワクピース	発達に凹凸がある子どもたちへの支援研修～発達段階を知り、支援する必要性～	282千円
共に生きる	発達障害当事者・家族ピアカウンセラー養成研修	285千円

（2）市町村ボランティア・市民活動の支援

①市町村社協ボランティア担当者会議

市町村社協ボランティア及び地域福祉担当と合同で事業等に関する事業説明及び意見交換を行った。

(ア)第1回 平成28年4月20日（水）

場 所 大分県総合社会福祉会館 3階母子父子福祉センター研修室

参加者 ボランティア・地域担当者 26名

内 容 a 平成28年度ボランティアセンター関係事業について

b 2016年夏のボランティア体験月間について

c 平成28年度地域福祉関係事業について

d 質疑応答

- (イ) 第2回 平成28年10月24日(月)
場 所 大分県総合社会福祉会館 3階会議室
参加者 ボランティア担当者 15名
内 容 a 2016年夏のボランティア体験月間の実施結果等について
b 今後の主な事業実施予定について
c フードバンクおおいた事業の進捗状況について
d 質疑応答

②市町村ボランティア・市民活動推進のための「出前講座」の開催

団体や組織としての運営のあり方など、活動上の悩みをどのように解決するかに応え、活動を促進するための出前講座を開催した。

- 期 日 ①平成29年2月7日(火)
②平成29年2月8日(水)
③平成29年2月23日(木)
開催地 ①日田市 参加者 30名
②佐伯市 参加者 300名
③豊後高田市 参加者 91名
講 師 大分大学 健康福祉科学部 講師 川村 岳人氏

(3) ボランティア・市民活動団体の育成

大分県ボランティア連絡協議会への支援

① 総会及び研修会の開催

- 開催日 平成28年 5月18日(水)
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 市町村ボランティア連絡協議会会員及び社協職員66名
内 容 総 会 ①平成27年度事業報告・決算について(監査報告)
②平成28年度事業計画・予算(案)について
研修会 テーマ「『もしも』『いざ』の時に備えましょう!~身体
介助の基本とコツ、教えます~」
講師:大分県介護福祉士会
池部 郁子氏、野田 敏美氏

② 理事会の開催

- 第1回 平成28年 5月18日(水)
第2回 平成28年11月30日(水)
第3回 平成29年 3月15日(水)

③ ブロック別研修会の開催

- (ア) 県北ブロック 開催日 平成28年10月25日(火)
場 所 大分県立香々地青少年の家
内 容 施設見学、ノルディック・ウォーク
参加者 30名
(イ) 別杵東速ブロック 開催日 平成28年11月18日(金)
場 所 日出町保健福祉センター

- 内 容 講演、昼食交流会
参加者 50名
(ウ)大分ブロック 開催日 平成28年 7月 7日 (木)
場 所 湯布院福祉センター
内 容 講演、活動発表
参加者 170名
(エ)県南ブロック 開催日 平成28年12月14日 (水)
場 所 臼杵市社会福祉協議会
内 容 グループ討議
参加者 50名
(オ)豊肥ブロック 開催日 平成28年11月22日 (火)
場 所 竹田市総合社会福祉センター多目的ホール
内 容 講演、グループワーク
参加者 60名
(カ)日田玖珠ブロック 開催日 平成28年12月 3日 (金)
場 所 玖珠自治会館
内 容 アトラクション、活動発表、講演
参加者 96名
- ④ 市町村ボランティア連絡協議会合同研修会
期 日 平成28年11月30日 (水)～12月1日 (木)
場 所 ホテル別府パストラル (別府市)
参加者 83名
内 容 (ア)講義「困っている人を見過ごさない地域をつくるには」
講師：大分大学 福祉健康科学部 講師 川村 岳人 氏
(イ)活動事例発表「わがまちのボランティア活動」
a「松が丘シルバーボランティア活動報告」
大分市松が丘シルバーボランティア 代表 谷尾 英熙 さん
b「佐伯市ボランティア連絡協議会活動報告」
佐伯市ボランティア連絡協議会会長 田中 生代 さん
c「玖珠町ボランティア連絡会活動報告」
玖珠町ボランティア連絡会会長 衛藤 研一 さん
(ウ)情報交換会
(エ)講義と実技
「笑いとともにより良い人生を送ろう」
講師：大分笑いヨガクラブ代表 モジュンダル 由美子 氏

(4) 大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

- ① 第1回 平成28年5月24日 (火)
場 所 大分県総合社会福祉会館 3階中会議室
内 容 (ア)平成27年度事業報告について
(イ)平成28年度事業計画について
(ウ)熊本地震への対応について

- (エ)ふくしまっ子応援プロジェクト6について
- ② 第2回 平成28年12月9日(金)
 場 所 大分県総合社会福祉会館 3階母子父子福祉センター
 内 容 (ア)平成28年度事業の進捗状況について
 (イ)今後の事業実施予定について
 (ウ)平成29年度事業計画(案)について
- ③ 第3回 平成29年3月10日(金) 3階母子父子福祉センター
 場 所 大分県総合社会福祉会館
 内 容 (ア)平成28年度事業実施報告について
 (イ)平成29年度年間事業実施計画(案)について

2 ボランティア・市民活動の啓発促進

(1) 第13回大分県ボランティア・NPO推進大会の開催

- 期 日 平成28年8月20日(土)
 場 所 別府市 ビーコンプラザ レセプションホール
 参加者 約400名
 内 容 基調講演「フードバンクの革新をうながす」
 講師 セカンドハーベストジャパン理事長
 チャールズ・マクジルトン 氏
 活動報告「みんなで支える優しいつながり」
 a 「私たちの1年間のお陰様活動」
 明豊高等学校インターアクト部
 b 「ひきこもり家族が直面する困難」
 NPO法人大分ステップの会
 c 「熊本地震～大分大学医学部学生有志～活動報告」
 熊本地震～大分大学医学部学生有志～
 d 「DV 被害者支援～私たちにできること～」
 特定非営利活動法人女性と子どもの性
 と人権を考える市民ネット えばの会
 e 「子ども食堂を開設して」
 あんのん子ども食堂
 物品販売及び活動パネル展
 ホールホワイエでボランティア団体等の物品販売や活動紹介
 パネル展及びフードドライブを実施した。

(2) ボランティア・市民活動センター機能の充実

コーディネート等による情報発信などを行った。

- ① ボランティアコーディネート
 ② ボランティア・NPOからの相談受付

(3) ボランティア・市民活動情報サイト「ぼらのたねっと」の充実

ボランティア・助成金・講座・お知らせ等に関する各種情報を発信した。

(4) facebook の開設、情報発信

今年度より大分県ボランティア・市民活動センターの facebook で、各種情報発信を行った。

(5) ボランティア・市民活動ルーム利用管理

ボランティアグループ、市民活動団体に部屋の貸出を行った。

(6) ボランティア保険受付業務

各種ボランティア保険の受付を行った。

(7) その他広報

① ボランティアグループ名簿（29年3月発行）の作成・配布

② 県社協広報誌「大分社会福祉（だいふく）」への寄稿

3 福祉教育の推進支援

福祉体験学習（体験・交流活動等）を通じ、県内の小・中・高等生に福祉への関心や理解の醸成を図った。また、県内の学生や社会人に、夏休みを中心に福祉施設等でのボランティア体験をしてもらいボランティア活動への振興を図った。

(1) 青少年福祉体験教室（福祉施設等での1日体験学習）※途中報告

① 実施数 5回（小学校 3回83名、中学校 2回20名）

② 参加者数 103名

(2) ふれあい学習

学校で障がい者自身の体験談等の講演や児童・生徒が擬似体験等を行うことにより、障がい者への理解と児童・生徒との交流を深めた。

① 実施数 19回（小学校14回739名、中学校 5回215名）

② 参加者数 954名

(3) 夏のボランティア体験月間事業の普及促進

①期 間 7月21日～8月31日

ア 参加者 1,327名

（高校生1,038名、大学生等99名、社会人21名、その他169名）

イ 参加施設数 370施設

②説明会の開催 4月20日（水）市町村社協ボランティア担当者

③報告会の開催 10月24日（月）市町村社協ボランティア担当者

(4) 福祉教育実践研究発表会

期 日 平成28年12月8日（木）

場 所 大分県総合社会福祉会館2階視聴覚室

参加者 36名（学校関係者・ボランティア・一般参加者等）

内 容 実践発表 ①臼杵市立市浜小学校

- ②大分県立日出支援学校
 - ③学校法人溝部学園 別府溝部学園高校
- 講 演 「地域と小学校が一体推進する福祉教育～学校+地域+福祉教育=未来の地域人づくり～」
日向市社会福祉協議会（宮崎県）
地域福祉課長 成合 進也氏

4 企業・団体等のボランティア・市民活動支援

(1) いきいきライフ NPO・ボランティアインターンシップ

- 期 日 平成29年2月19日（日）
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 45名（企業・社協職員・関係者等）
内 容 講 演 「定年後の地域デビューの体験～やってみよう精神が生み出したきせきのつながり～」
NPO 法人八王子市民活動協議会 事務局長 岩田 博次氏
ブース 10団体の紹介ブースを設営し、NPO・ボランティア団体と企業とのマッチングを行った。

(2) 住民参加型在宅福祉サービス研修会

- 開催日 平成28年11月17日（木）
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 28名（ボランティア・老人クラブ・社協職員・NPO法人等）
内 容 講 義「矢板市シニアボランティアセンターを中心に矢板市社協の活動について」
矢板市社会福祉協議会（栃木県）主任 佐川 裕隆氏

5 災害ボランティア活動の推進

(1) 災害ボランティアネットワーク体制の充実

① 大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会の開催

- 第1回 平成28年4月21日（木）
場 所 大分県総合社会福祉会館 3階中研修室
参加者 10名
内 容 熊本・大分地震に関する情報の共有について

- 第2回 平成28年12月19日（月）
場 所 大分県総合社会福祉会館 3階研修室
参加者 9名
内 容 ①熊本地震の対応について
②規約の改正について
③登録制度について
④研修について

- ② 大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会
期 日 平成29年 2月23日 (木)
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 21名
内 容 ①大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会について
②規約の改正について
③役員を選出について
④平成29年度事業計画(案)について
⑤登録制度について

(2) 大分県災害ボランティアネットワーク研修会の開催

- 期 日 平成29年 2月23日 (木) ※連絡協議会終了後開催
場 所 県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 26名
内 容 災害ボランティアネットワークの意義と役割
講 師 にいがた災害ボランティアネットワーク 代表 李 仁鉄氏

(3) 大分県災害ボランティア運営支援事業

① 災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会

【大分市】

- 第1回 平成28年11月23日 (水)
場 所 大分県教育会館 多目的ホール
参加者 118名
内 容 「日頃のふれあいで災害にも強いまちづくり」
講 師 別府市企画部危機管理課 村野 淳子氏

- 第2回 平成28年12月10日 (土)
場 所 大分県教育会館 多目的ホール
参加者 145名
内 容 「災害ボランティアセンターの役割と機能」
講 師 NPO法人さくらネット代表理事 石井 布紀子氏

- 第3回 平成29年1月22日 (日)
場 所 大分市三佐小学校体育館
参加者 54名
内 容 「ご近所のボランティア力を高める！～気づき・意欲・参画～」
講 師 NPO法人さくらネット代表理事 石井 布紀子氏

【玖珠町】

- 第1回 平成28年10月28日 (金)
場 所 くすまちメルサンホール
参加者 46名
内 容 講義「玖珠町社協における災害時の対応、役割について」

ワークショップ「初動のポイントと必要なルールづくり」

講師 NPO 法人さくらネット代表 石井 布紀子 氏

第2回 平成29年 3月 6日 (月)

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 3名

内 容 講義「玖珠町における災害時要支援者支援体制の整備研修の作り込みと振り返りについて」

講師 NPO 法人さくらネット代表 石井 布紀子 氏

第3回 平成29年 3月19日(日)

場 所 九重町社協

参加者 51名

内 容 講義「災害時要援護者支援と福祉避難所について
地域拠点対応シミュレーション」

講師 NPO 法人さくらネット代表 石井 布紀子 氏

② 災害ボランティアセンター運営現地研修（派遣研修）

期 間 平成28年8月3日～26日（24日間）

場 所 熊本県南阿蘇村生活復興センター

人 数 延べ41人

内 容 南阿蘇村生活復興センターの運営支援
避難所や仮設住宅での生活復旧支援ニーズ調査
掘り起こしたニーズに対する企画検討等

③ 市町村災害ボランティアネットワーク会議の推進

大分県災害ボランティアネットワークの地域版を想定したネットワークづくり。各市町村単位で推進会議を開催。

(4) 平成28年度大分県中部地域総合防災訓練への参加

台風接近のため中止

期 日 平成28年9月4日 (日)

場 所 竹田市、豊後大野市

内 容 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等

(5) その他

① 大分県災害ボランティアの登録

② 全国被災地への支援（ボランティア、運営支援者等コーディネートなど）

③ 講師としての活動等

6 福祉避難所運営支援事業

熊本地震を教訓に、福祉避難所が発災時に災害時要配慮者を受入れられる体制づくりや人材育成を目的に開催した。

① 福祉避難所運営研修 I

期 日 平成28年6月27日（月）
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 240名
実践報告 別府市障害福祉課 課長補佐 大久保 智氏
由布市福祉対策課 課長補佐 佐藤 英治氏
特別養護老人ホーム温水園 施設長 佐藤 靖久氏
内 容 「福祉避難所～実際動ける体制づくり～」
講 師 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一氏

② 福祉避難所運営研修Ⅱ

期 日 平成28年10月31日（月）
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 65名
内 容 災害イメージ、BCの理念とサイクルの要素とBCPの現状、福祉避難所のグループワーク（ワールドカフェ）、研修Ⅲへの提出課題
講 師 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一氏

③ 福祉避難所運営研修Ⅲ

第3回 平成28年12月5日（月）
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
参加者 60名
内 容 研修Ⅱのおさらい、グループワーク、福祉避難所スターターキットの作成、まとめ
講 師 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一氏

7 「フードバンクおおいた」

(1) フードバンクおおいた設立総会の開催

期 日 平成28年6月30日（木）
場 所 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
内 容 フードバンクおおいた推進協議会設立（21団体）
食品贈呈式
記念講演 「フードバンクの取り組みの意義」
講師：特定非営利活動法人フードバンク九州
ライフアゲイン 原田昌樹 理事長
活動事例発表 4団体

(2) フードバンクおおいた推進協議会幹事会

日 時 平成28年10月26日（水）
場 所 大分県総合社会福祉会館
内 容 上半期実績報告
下半期の取り組み

(3) 第1回フードバンクおおいた推進協議会

日 時 平成28年12月16日（金）

場 所 大分県総合社会福祉会館
内 容 上半期実績報告・今後の取り組み等

(4) フードバンクおおいた推進事業説明会

日 時 平成28年12月16日(金)
場 所 大分県総合社会福祉会館
内 容 上半期実績報告・今後の取り組み等

(5) フードドライブ

① 別府市ビーコンプラザ(大分県ボランティアNPO推進大会)

日 時 平成28年8月20日(土)
取扱量 32.2kg

② 大分県総合社会福祉会館(県社協各所属、入居団体に協力依頼)

日 時 平成28年8月23日(火)～30日(火)
取扱量 49.19kg

③ 大分県総合社会福祉会館(県社協各所属、入居団体、コープおおいた、大分県教職員組合、(株)オーシーに協力依頼)

日 時 平成29年1月10日(火)～17日(火)
取扱量 43.32kg

(6) フードバンクキッチン

日 時 平成28年7月18日(月)
場 所 大分県総合社会福祉会館2階調理室等
内 容

親子・高齢者対象料理教室

参加者 35名

同時開催

手品・吉四六話教室

子ども向け学習会

食品衛生管理研修会

(7) 食品取扱量(3月31日現在)

寄贈食品	6,991品	128団体・個人	7.8トン
提供食品	6,190品	143団体	7.1トン

(8) 賛同企業(20団体)

日田市民生活協同組合、原田製油有限会社、丸一青果株式会社、九州乳業(株)、フンドーキン醤油(株)、有限会社高橋商店、株式会社めん食、大分製紙(株)、(株)ケイ・エス・ケイ、(株)大分県酪食肉公社、全国農業協同組合連合会大分県本部、(株)パールライス、有限会社九州ヘラルド、ワコーエンジニアリング(株)、(株)マルミヤストア、(株)ライフステージ大分、(株)クロレラ本社、大一醤油、(株)MYMウォーター、九州電力(株)大分支店

(9) フードバンクおおいたモデル市町村（4団体）

- ① 実施市町村社協 豊後高田市・別府市・佐伯市・日田市の4団体
- ② 実施内容 食品保管スペースの確保、配送システムの構築、フードドライブの実施、フードバンクの周知・啓発等

(10) 年末年始緊急食料支援

日 時 平成28年12月16日（金）

市町村社協に年末年始用として緊急食料「3日分セット（9食）」を配布

(11) こども食堂、大分県母子寡婦福祉連合会への米、調味料などの支援

- ① 日 時 平成28年12月19日～27日
内 容 米30kg×13か所
- ② 日 時 平成29年 3月13日～24日
内 容 米30kg×14か所

(12) フードバンクの周知・広報

- (1) ポスター・チラシ作成配布
- (2) ホームページの立ち上げ

<http://www.oitakensyakyo.jp/foodbank-oita/>

8 その他

(1) ふくしまっ子プラスワン応援プロジェクト6

日 程 平成28年 7月22日（金）～26日（火）

参加者 福島県相馬郡新地町の小学生（5・6年生）18名と引率者3名
県内避難者家族5名（25日）

内 容 地引き網体験、スペースワールド、吉野ヶ里歴史公園、トマト・ベリーベリー収穫とジャムづくり体験、高崎山自然動物園見学、歓迎レセプション、レクリエーション（ビーズ手芸など）、うみたまご・あそびーち見学、海水浴（田ノ浦ビーチ）、おんせん体験、ホームステイ、太宰府天満宮（梅ヶ枝餅づくり体験）福岡空港お別れ式
このほか 福島県の引率教員と県内教員の研究交流（24日）、由布院小学校（熊本地震被災地）児童との交流（25日）

(2) 地域の課題お助け隊

安全に安心して暮らせるまちづくりのため、小地域で地域住民が主体となって支え合うまちづくりのために、生活支援ボランティアの育成、交流拠点の開設・運営をモデル的に行う。

佐伯市鶴見地区、豊後高田市。

長寿いきいき班

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「豊の国ねんりんピック」の開催、「全国健康福祉祭ながさき大会」への選手団派遣のほか、地域活動を促進するためのリーダーの育成及び普及啓発活動等の事業を実施した。

1 豊の国ねんりんピック開催事業

(1) 第27回豊の国ねんりんピック 美術展 等

期 日 平成28年5月10日(火)～5月15日(日)

会 場 大分県立美術館(大分市寿町)

入場者数 1,284名

① 美術展

(点)

部 門	日本画	洋画	写真	書	彫刻・彫塑	工芸	合計
作品数	29	53	29	21	11	42	185

※全作品を展示。

② シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展

(点)

部 門	短 歌	俳 句	川 柳	合 計
作品数	300	796	425	1,521

※45点(各部門15点)の入選作品を展示。

(2) 第27回豊の国ねんりんピック

期 日 平成28年9月25日(日)を主日程として開催

会 場 県立総合体育館、大洲総合運動公園ほか

事 業 名	会 場	日 程	参 加 人 員
総 合 開 会 式	県立総合体育館	9/25	3,900名
スポーツ交流大会(12競技)	大洲総合運動公園ほか	9/25	
〃 ゴルフ	別府扇山ゴルフ倶楽部	10/21	
ふれあい交流大会(4競技)	大洲総合運動公園ほか	9/24.25	
シルバー囲碁大会	県総合社会福祉会館	9/25	
シルバー将棋大会	県総合社会福祉会館	9/25	
ふれあい俳句大会	県総合社会福祉会館	9/25	
(協賛イベント)親善交流登山会	霊山(大分市)	9/11	
(〃)太極拳交流大会	県立総合体育館	9/25	
(〃)第1回大分県パークゴルフ交流大会	実相寺パークゴルフ場(別府市)	9/27	

2 第29回全国健康福祉祭ながさき大会派遣事業

(1) 選手団派遣

結団式 平成28年10月7日(金)

開催期間 平成28年10月15日(土)～18日(火)

参加人員 選手134名、本部役員7名(計19種目、134名)

種目等	人員	種目等	人員	種目等	人員
卓球	6	マラソン	3	ダンススポーツ	(8)
テニス	6	弓道	6	バウンドテニス	(7)
ソフトテニス	7	剣道	5	囲碁	3
ソフトボール	15	太極拳	(8)	将棋	4
ゲートボール	7	グラウンド・ゴルフ	6	健康マージャン	(4)
ペタンク	3	ソフトバレーボール	7		
ゴルフ	3	サッカー	19	役員	7

※ () の数字は自費参加者数

(2) 試合結果

〈優秀賞〉

卓球	大分県チーム
ソフトボール	チャレンジ大分チーム
ゴルフ	大分県チーム
マラソン	水嶋千恵子
サッカー	大分県チーム
将棋	ミラクルメジロンIIチーム

(3) 美術展

①出品

美術展で最優秀賞を受賞した日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の各2作品を出品

②入賞

日本画の部〈長崎県知事賞〉

井口 章(日出町)

日本画の部〈最高齢者賞〉

中山 スエ子(大分市)

3 生きがいと健康づくり事業の普及・啓発

ホームページによる情報提供

- ① 第27回豊の国ねんりんピック
- ② 第27回豊の国ねんりんピック美術展等
- ③ 第29回全国健康福祉祭ながさき大会
- ④ ニューススポーツ用具の貸し出し

ほか

4 ニューススポーツ用具の貸し出し

(1) 用具の貸出回数 132回

(2) 延べ利用人数 5,825名

用具一覧

1	オーバースポーツ	15	ペタンク
2	カラーリング	16	ポケネット
3	グラウンドゴルフ	17	輪投げ
4	ゲーゴルゲーム	18	フライングディスク
5	じゃんけんペタンコ	19	囲碁ボール
6	ストライクトレーナー	20	ビーンボウリング
7	スマイルボウリング	21	ユニカール
8	ソフトペタンク	22	絵手紙セット
9	ターゲットバードゴルフ	23	カラー玉入れ
10	クロリテー	24	ラガーゲッター
11	チームラビリンス	25	ターゲットゲーム
12	バグゴ		
13	ヒットだ!ターゲット		
14	フリーブロー		

5 全国会議・研修会

(1) 全国明るい長寿社会づくり推進機構会議

①全国健康福祉祭担当係長会議

5月19日(木)～20日(金) 長崎県

②全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

7月4日(月) 東京都

③全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

平成29年2月23日(木) 東京都

(2) 九州ブロック明るい長寿社会づくり推進機構会議

九州地区明るい長寿社会づくり推進機構実務者会議

平成29年2月7日(火) 宮崎県

福祉資金部

福祉資金課

4月に発生した熊本・大分地震に伴う特例貸付を実施したほか、熊本県内における緊急小口資金の特例貸付業務の支援に職員を派遣した。

県内においては、市町村社協事務担当職員を対象としたブロック別研修会を開催し事例検討を通じて相談支援技術の向上に取り組んだ。

また、平成28年度から、福祉人材の確保並びに自立支援を目的とした介護福祉士修学資金貸付事業、児童養護施設退所者等への貸付事業を開始した。

1 生活福祉資金貸付事業の運用強化

(1) 委員会の開催 ※ () H27年度実績

①生活福祉資金貸付審査等運営委員会	10回	(10)回
②生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会	9回	(10)回
③不動産担保型資金審査会	2回	(2)回

(2) 借入申請・決定状況

①生活福祉資金 (単位：千円)

資金種類	申請		決定	
	件数	金額	件数	金額
1 総合支援資金	11	3,559	11	3,193
(1) 生活支援費	9	3,305	9	2,939
(2) 住宅入居費	1	109	1	109
(3) 一時生活再建費	1	145	1	145
2 福祉資金	629	72,504	627	72,504
(1) 福祉費	125	35,962	124	35,962
(2) 生活復興支援資金	0	0	0	0
(3) 緊急小口資金	504	36,542	503	36,542
3 教育支援資金	49	17,653	49	17,633
(1) 教育支援費	18	9,382	18	9,374
(2) 就学支度費	31	8,271	31	8,259
4 不動産担保型生活資金	6	58,519	6	58,519
(1) 不動産担保型生活資金	1	9,120	1	9,120
(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金	5	49,399	5	49,399
計	695	152,235	693	151,849

②臨時特例つなぎ資金 (単位：千円)

資金種類	申請		決定	
	件数	金額	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	9	369	9	369

(3) 生活福祉資金貸付決定件数・金額の推移

(単位：千円)

資金種類	平成28年度		平成27年度	
	件数	金額	件数	金額
1 総合支援資金	11	3,193	16	4,672
(1) 生活支援費 (更新分)	9 (0)	2,939 0	11 (0)	4,025 0
(2) 住宅入居費	1	109	3	420
(3) 一時生活再建費	1	145	2	227
2 福祉資金	627	72,504	638	63,684
(1) 福祉費	125	35,962	74	23,284
(2) 生活復興支援資金	0	0	0	0
(3) 緊急小口資金	504	36,542	564	40,400
3 教育支援資金	49	17,653	68	16,639
(1) 教育支援費	18	9,374	24	5,452
(2) 就学支度費	31	8,259	44	11,187
4 不動産担保型生活資金	6	58,519	6	41,655
(1) 不動産担保型生活資金	1	9,120	1	8,956
(2) 要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	5	49,399	5	32,699
計	693	151,869	728	126,650

(4) 資金種類別償還率

(単位：円)

資金種類	償還計画額(A)	償還実績(B)	償還率(B/A)
総合支援資金	20,055,031	9,757,541	48.65%
更生資金	263,520	128,520	48.77%
(障害者) 更生資金	315,000	315,000	100.00%
福祉資金	25,334,560	21,525,770	84.97%
教育支援資金	29,137,940	18,225,740	62.55%
緊急小口資金	27,513,406	23,178,046	84.24%
生活復興支援資金	498,120	253,200	50.83%
離職者支援資金	285,600	0	0.00%
合計	103,403,177	73,383,817	70.97%

※ 期限内の健全債権に係る当年度の償還計画額・償還実績額・償還率を表示。

(5) 償還率

(単位：円)

償還計画額		償還済額		償還率		
現年度	累計	現年度	累計	現年	過年	累計
過年度		過年度				
124,532,457	10,459,081,158	73,546,937	8,922,966,713	59.0%	12.5%	85.3%
672,509,347		84,564,820				

(6) 償還免除申請等決定状況

①償還免除

決定件数	71件	(40)件
元 金	29,644,499円	(7,272,250)円
利 子	2,768,181円	(353,961)円
延滞利子	33,122,143円	(10,920,876)円

②延滞利子免除

決定件数	49件	(36)件
決定金額	18,172,274円	(12,624,506)円

③償還猶予

決定件数	6件	(11)件
------	----	---------

(7) 生活福祉資金債権管理強化推進事業

滞納を続けている債務関係者に対する戸別訪問等による督促や、転居先の住民票請求による所在調査を実施した。

(8) 研修会等の実施

①市町村社協事務担当職員会議	2回	(3)
②民生委員研修会・会議等での制度説明	3回	(1)

(9) 広報の実施

- ①広報用パンフレットの配布
- ②ホームページによる情報提供

(10) 全国及び九州ブロック会議等への参加

- ①全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会
- ②全国生活福祉資金担当部課長会議
- ③九州ブロック生活福祉資金運営研究協議会

(11) 生活再建・償還相談事業

①対象世帯(先)数

滞納が初期段階と概ね6か月以上滞っている世帯(先)を中心に実施。

②取組内容

- 電話連絡による世帯状況の把握
- 通知書の発送による世帯状況等の把握
- 訪問による償還相談
- 面談による償還相談
- 誓約書等を提出した返済合意先の期日管理(電話、通知、再面談等)

③償還相談、償還指導の取り組み

ア. 電話連絡	2,016件
イ. 通知書等発送	205件
ウ. 訪問(自宅等)	192件
エ. 面談(社協)	21件

④取組実績（内容）

貸付先訪問や償還要請を書面により通知することにより、生活福祉資金の返済に関する合意又は誓約書等受領および回収実績は、以下のとおりとなった。

ア. 生活福祉資金管理案件回収実績（継続管理中の25年度取扱案件も含む）

（単位：円）

大分市	別府市	杵築市・日出町	その他	計
13,306,380	7,886,706	2,892,216	19,022,978	43,108,280

イ. 合意又は誓約書等受領件数（取組内容別）

訪問	郵便（通知書）	電話	社協面談	計
50	64	679	19	812

(12) 新たな貸付事業の貸付状況

（単位：円）

資金種類	件数	決定金額
介護福祉士等修学資金	33	44,760,000
介護福祉士実務者研修受講資金	11	2,200,000
保育士修学資金	26	32,690,000
保育士就職準備金	15	6,000,000
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	39	17,150,000
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金	12	9,347,824

施設団体支援部

施設団体支援課

種別協議会を通じて、熊本・大分地震被災施設に対する物資の支援及び人的派遣支援の調整等を行った。また、各種調査・研究活動、研修事業等を行うとともに、社会福祉法人制度改革等に対応したセミナーや経営指導事業を行った。

県受託事業による球技大会、介護補助職導入支援事業等の実施や各種別協議会が主催する九州関係の研修や研究大会の運営を支援を行った。

県内社会福祉法人（施設）関係者で構成する「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」において、社会福祉法人の地域公益活動（社会貢献活動）の推進のほか、施設職員（CSW）による、制度の狭間で困っている生活困窮者等に対する相談支援事業「おおいたくらしサポート事業」を展開した。

1 社会福祉法人による地域公益活動（社会貢献活動）の展開

県社協及び経営協をはじめとする各種別協議会が連携・協働して地域公益活動（社会貢献）を推進した。

（2）大分県社会貢献活動推進運営委員会の開催

第1回 平成28年10月31日

第2回 平成29年 1月16日

（3）「おおいたくらしサポート事業」の推進

社会福祉法人（施設）のCSWによる生活困窮者等への相談支援事業

・相談対応件数 79件（累計数165件）

・経済的援助件数146件（現物給付）

（4）人材養成の実施

コミュニティソーシャルワーカー養成研修会の開催（2回）

・（第4回）平成28年8月5日・6日・24日（3日間）

・（第5回）平成29年2月9日・16日・3月2日（3日間）

おおいた”くらしサポート”事業担当CSWスキルアップ研修

・平成28年11月30日

おおいた”くらしサポート”事業先進地視察研修

・平成29年2月19日（社会福祉法人生活風の村～中間的就労）3名

・平成29年2月 9日（滋賀県子ども食堂全国交流会）2名

相談援助技術研修会

・平成28年3月5日

（5）広報・啓発活動の実施

「社会福祉法人による社会貢献活動事例集」の発行、配布20,000部

・平成29年3月発行

「社会福祉法人による地域公益活動の展開を考えるセミナー」の開催

- ・(第1回)平成28年6月29日
- ・(第2回)平成29年2月28日

2 社会福祉施設経営指導事業

(1) 個別指導

社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と入所者処遇の向上を図ることを目的に経営指導員による指導・助言を行った。

平成28年度の相談実績は、85件となった。

相談実績

項 目	件 数 (件)	割 合 (%)
入所者処遇に関する事	30	35
施設経営に関する事	3	4
職員の処遇に関する事	3	4
会計及び経理に関する事	1	1
施設整備に関する事	4	4
その他の運営に関する事	44	52
合 計	85	100

(2) 集団指導「施設経営者及び若手幹部職員研修」

(3) 福祉施設「意見交換会」

3 社会福祉施設経営支援事業

社会福祉施設の健全かつ発展的な経営を目的とした各種研修会・セミナーを10回実施した。

- ①ホスピタリティを表現する接遇マナー研修 ②効果的な部下・新人育成の実務研修、③職場内研修の手法研修 ④福祉事業者管理者のためのマネジメント基礎研修 ⑤管理者のためのコミュニケーション研修 ⑥チームワーク力向上研修 ⑦クレーム対応研修 ⑧権利擁護／虐待防止とリスクマネジメント研修 ⑨プロ意識醸成研修 ⑩利用者満足(CS)向上研修会

4 義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業

教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図ることを目的に実施している本事業について20大学から257名の申込みがあり、各社会福祉施設での5日間の体験学習を実施した。

介護等体験修了者数

県内・県外の別	大 学 名 等	体験者数 (人)
県 内	大分大学等 5大学	227
県 外	京都外大等 15大学	30
総 計	20大学	257

5 児童福祉関係行事委託事業の実施

児童福祉施設や知的障がい施設の利用者に対し、各種スポーツ大会を実施した。

- (1) 平成28年度大分県知的障がい施設球技大会（ティールール・グラウンドゴルフ）
- (2) 第55回大分県児童福祉施設等球技大会
- (3) 第52回大分県児童福祉施設等卓球大会

6 介護補助職導入支援事業の実施

介護施設での慢性的な人材不足に対応するため、施設での掃除やシーツ交換など周辺業務を行う職員を雇用し介護職員の負担軽減を行うモデル事業を実施した。

4施設（7名雇用）

7 介護職員初任者研修資格取得助成事業

介護人材不足に対応するため県内介護事業所に就職を希望する無資格者に対して受講料を助成した。

11名に対して助成

8 種別協議会等の運営の支援

(1) 大分県老人福祉施設協議会

① 各種会議等の開催

総会（1回）、正副会長会議（7回）、役員会（4回）、在宅専門委員会（2回）、研修専門委員会（2回）、特養委員会（2回）、軽費・ケアハウス委員会（1回）、デイサービス委員会（2回）、養護老人ホーム委員会（1回）

② 研修会等の開催

県内施設長研修会、人権研修会、社会福祉法人改革対策セミナー、認知症研修会、実践研究大会等の開催

③ その他の活動

熊本地震への対応、「介護って素晴らしいフォトコンテスト」の実施、法務対策協議会事業の実施、県福祉保健部職員施設体験実習の受入協力、予算要望活動

(2) 大分県身体障害児者施設協議会

① 各種会議等の開催

施設長会（2回）

② 研修会の開催

障害者差別解消法に関する研修会
防犯対策について

③ 国・県に対する要望活動の実施

④ 関係団体会議等への出席

⑤ 介護ロボット普及に関する会議出席

(3) 大分県児童養護施設協議会

- ① 各種会議等の開催
施設長会（5回）、企画運営委員会（9回）
- ② 研修会等の開催
新任職員研修会、子どもの人権権利擁護研修、調理師・栄養士等職員研修会、社会的養護を考える現場のトップセミナー、施設職員合同研修会、施設心理士連絡研修会、職業指導員連絡会、施設看護師連絡研修会、児童ふれあい交流会等
- ③ 第64回九州児童福祉施設職員研究大会
- ④ 啓発事業
「オレンジリボンたすきリレー」の実施
- ⑤ その他の活動
熊本地震への対応
国・県に対する要望活動の実施
- ⑥ 九社連児童養護施設協議会事務局支援

(4) 大分県知的障害者施設協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、役員会（3回）、施設長会（3回）、正副会長会（3回）、研修委員会（3回）、部会会議（1回）
- ② 研修会の開催
職員研修会（2回）
- ③ 各種スポーツ大会等の開催
第36回大分県ゆうあいスポーツ大会、第52回卓球大会、第20回施設利用者ボウリング大会、親善球技大会（ティーボール・グラウンドゴルフ）
- ④ その他の活動
熊本地震への対応
国・県に対する要望活動の実施

(5) 大分県就労支援事業所協議会

- ① 各種会議等の開催
施設長会（3回）、役員会（2回）、研修委員会（1回）、PR委員会（1回）
- ② 研修会・大会等の開催
施設長研修会開催、職員研修会（見本市）の開催
- ③ その他の活動
熊本地震への対応、セルフ自動販売機設置事業の推進、官公需受注活動の推進、工賃向上に向けた各種販売会の取り組み、国・県に対する要望活動の実施

(6) 大分県母子生活支援施設協議会

- ① 各種会議等の開催

- ② 総会（1回）、施設長会（1回）
 - ② 研修会の開催
職員研修会（施設見学等）
- (7) 大分県里親会
- ① 各種会議等開催
理事会（8回）、総会（1回）
九州大会実行委員会（7回）
 - ② 研修会等の開催
里親交流会、里親支援専門相談員との意見交換会
 - ③ 里親サロン事業
- (8) 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会
- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、理事会（2回）、幹事会（2回）
 - ② 研修会等の開催
ブロック別研修会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー
 - ③ その他の活動
熊本地震への対応
国、県、市町村に対する要望活動の実施
- (9) 大分県社会福祉法人経営者協議会
- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、役員会（2回）
 - ② 研修会の開催
防災士養成研修（3日間）、制度改革対応セミナー（2回）
 - ③ その他の活動
熊本地震への対応、経営協情報の提供
 - ④ 国、県に対する要望活動の実施
- (10) 大分県社会福祉法人経営青年会
- ① 各種会議等開催
総会（1回）、役員会（3回）
 - ④ 研修会等の開催
4 E の会、経営研修会、知事、県福祉保健部との意見交換会
- (11) 大分県生活サポート協会
- ① 理事会等の開催
総会（1回）、理事会（1回）

福祉サービス評価センターおおいた

福祉サービスの質の向上及び利用者への情報提供を目的とする福祉サービス評価事業として、福祉サービス第三者評価及び地域密着型サービス等外部評価を実施した。

1 福祉サービス評価委員会の開催

回数	期 日	主 な 内 容
第1回	4月22日	(1)平成27年度事業実績及び決算見込について (2)平成28年度事業計画及び収支予算について
第2回	9月 9日	(1)外部評価実施要領の一部改正について
第3回	2月10日	(1)平成28年度事業の進捗について

2 地域密着型サービス等外部評価審査委員会の開催

期 日	主 な 内 容
3月9日	(1)平成28年度評価センター事業経過報告 (2)平成28年度地域密着サービス等外部評価事業経過報告

3 評価・調査実績

評価結果は、評価を受けた事業者の同意を得て独立行政法人福祉医療機構の WAM・NET や当センターのホームページに公表し、福祉サービス利用者へ情報提供を行った。

(1) 福祉サービス第三者評価

種 別	H28 件 数	H27 件 数	H26 件 数	H25 件 数
特別養護老人ホーム	2	2		
通所介護	1	4	1	2
訪問介護		1	1	
保育所		3		1
障害者支援施設		1	2	
児童養護施設	2	2	4	3
母子生活支援施設	2		1	2
児童自立支援施設			1	
乳児院			1	
障害児入所施設			1	1
医療型障害児入所施設				1
計	7	13	12	11

(2) 地域密着型サービス等外部評価

種 別	H 2 8 件 数	H 2 7 件 数	H 2 6 件 数	H 2 5 件 数
認知症高齢者グループホーム	3 3	6 5	4 6	6 4
小規模多機能型居宅介護支援 事業所	—	—	1 5	1 6
計	3 3	6 5	6 1	8 0

※平成22年度より、「大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱第3の2」の規定が適用された場合、外部評価実施回数が緩和されること（2年に1度受審）となったため件数が減少している。

※平成27年度より、大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱及び地域密着型サービス等外部評価実施要領が改正されたため、小規模多機能型居宅介護支援事業所は外部評価から除外した。

4 研修・会議の開催

研 修 名	期 日	会 場	参加者
地域密着型サービス等外部評価 調査員意見交換会	11月1日	県総合社会福祉会館	6名
社会的養護関係施設第三者評価 調査者勉強会	3月16日	県総合社会福祉会館	5名

5 第三者評価機関に関する情報公開

当センターのホームページに、規程をはじめ、評価手数料等を公開している。

身体障害者福祉センター

I 管理業務の実施状況

1 事業の成果

障がい者の社会参加を推進するため、障がい者関係団体、ボランティア等の協力を得て、スポーツ・レクリエーション、機能訓練、文化活動等の各教室を開催した。

また、障がい者関係団体等の会議、研修、訓練の場として便宜を供与するとともに各種文化行事、スポーツ大会等を開催した。

2 サービス改善提案事業の成果

障がい者と県民の交流を目的として、第6回ふれあいフェスタを開催した。ふれあい市、福祉機器・福祉車両の展示、漫画家と車いすアスリートによる公開トーク、盲目のアマチュア落語家による落語のほか、センターが主催する各種教室受講者の学習成果を披露しつつ、交流・体験を行うなど多くの参加者で賑わった。

II 管理施設の利用状況

1 全体の利用状況

	平成28年度	平成27年度	前年対比
開所日数	299日	302日	99.0%
障がい者利用者数	27,128人	28,622人	94.8%
介護者・ボランティア	9,908人	11,431人	86.7%
福祉団体等	9,499人	9,692人	98.0%
障がい者以外利用者	27,922人	29,114人	95.9%
総利用者数	74,457人	78,859人	94.4%

※28年6月20～8月31日 天井耐震化工事等のため体育室休止

※28年11月29日～29年3月10日 天井耐震化工事等のため温水プール休止

2 利用登録団体

① 文化施設利用登録団体 (74団体)

② スポーツ団体利用登録団体 (38団体)

Ⅲ 平成28年度の主催行事等

1 教室・講座等の開催

(1) スポーツ・レクリエーション教室

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	講師
1	親子スポーツ教室	トランポリンなどを使った様々な運動で体を動かし、スポーツの楽しさを体感します。	平成28年5月 ～平成29年2月	10	13:30～15:00	山崎 陽二 フィットネストレーナー
2	親子水泳教室	水に慣れることや泳ぎの基本を学び、遊泳の楽しさを体感します。	平成28年5月～11月	10	10:00～11:30	藤本 正広 県障がい者福祉水泳協会
3	卓球バレー教室	6人1チームで卓球台を囲み、障がいの程度に関係なく楽しむことのできる競技です。	平成28年5月 ～平成29年2月	12	10:30～12:00	佐藤 貞子 県卓球バレー協会公認指導員
4	スポーツ吹矢教室	複式呼吸を応用した「スポーツ吹矢式呼吸」で健康増進を図り、的を狙う楽しさを体感できます。	平成28年5月～11月	5	10:00～11:30	大西 貴 県スポーツ吹矢協会
5	ミニテニス教室	やわらかいスポンジボールを使ったミニテニス！テニスを楽しみたい方に最適な教室です。	平成28年5月 ～平成29年2月	5	10:30～12:00	福島 文男 Spash代表

(2) 趣味・文化 教室

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	講師
6	料理教室	地元の旬の食材を使った料理を作り、楽しい時間を過ごします。	平成28年5月 ～平成29年2月	18	10:00～13:00	櫻井 キコ 食生活改善推進指導員
7	絵画教室	絵画をはじめとした芸術にふれ、絵を描くことや工作することの楽しさを学べます。	平成28年5月 ～平成29年2月	5	13:30～15:30	甲原 安 国画会会員
8	書道教室	日常的に使うペン字や筆ペンを使った熨斗書きの他、毛筆や硬筆を楽しく学びます。	平成28年5月 ～平成29年2月	10	13:30～15:30	河野 悦子 県美術協会会員
9	絵手紙教室	四季の野菜・果物・花などを題材にし、絵手紙を作成します。	平成28年5月 ～平成29年2月	10	10:00～12:00	原野 彰子 絵手紙協会認定講師
10	パソコン教室	ワードやエクセルの実用的な機能を中心に学びます。	平成28年5月～9月	5	10:00～12:00	小野 史洋 センター支援ボランティアSE
11	おりがみ教室	おりがみで季節を感じる作品を作り、手先と頭を活性化し、楽しい時間を過ごします。	平成28年5月～9月	5	10:00～12:00	羽田 清子 日本おりがみ学会指導員

(3) 機能訓練 教室

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	講師
12	水中ウォーキング教室 I～III	温水プールで歩くことの楽しさを体感し、リハビリにつなげます。	平成28年5月～7月	15	10:30～12:00	木城八都子 フィットネストレーナー
13	水中リフレッシュ教室 I～II	入水前の体操や温水プール内では、普段使わない身体を意識して使い、身体機能を高めま	平成28年5月～7月	15	10:30～11:30	岡田 理絵 NPO法人にこにこフィットネス協会
14	おてがる体操教室	問診をもとに、日常生活の中でも簡単にできる参加者にあつた体操の実技を学びます。	平成29年1月～3月	5	10:30～12:00	芝崎 信也 JCHO 蒲布院病院
15	いきいきリフレッシュ教室	体の芯からあたたまる体操、日常生活でもできる体操、簡単な用具を使った体操などを行います。	平成29年1月～2月	5	10:30～11:30	岡田 理絵 NPO法人にこにこフィットネス協会
16	リハビリテーション教室	機能回復する上で必要な身体の鍛え方、器具とのつきあい方について学びます。	平成28年5月～7月	3	10:30～12:00	山形 茂生 コネクティブリハビリテーション代表・OT
17	健康運動セミナー教室	健康に毎日過ごすための生活の見直し、大病にかからないための予防方法を学びます。	平成28年5月～7月	5	10:30～11:30	大平 高正 ハートリハソラ・PT
18	プールパーソナルレッスンA～D	温水プールでの遊泳の楽しさを体感し、リハビリにつなげます。	平成28年5月～11月	52	10:30～12:00	稲田 亜紀 日本水泳連盟基礎水泳指導員

(4) 各種講座等

No.	教室名	内容	期間	回数	時間	講師
19	障害年金講座	障害年金を受給中、更新などに必要な書類の書き方や診断書の請求のポイント等について事例を交えて解説します。	6月25日(日)	1	13:30～15:00	飯塚 泰雄 社会保険労務士
20	カラーセラピー講座	人の生活や心理状態にも影響を及ぼす色彩について日常生活に活かせる色とのつきあい方を学びます。	7月2日(土)	1	10:00～12:00	羽田 貴子 日本パーソナルカラー協会認定講師
21	米粉を使った料理講座	米粉ナンとキーマカレー、米粉ポパイケーキなど米粉を使った料理の楽しさを学びます。	7月23日(土)	1	10:00～13:00	辻島 千賀子 県食生活改善推進協議会会長
22	アロマセラピー講座	脳への伝達が速いにおいは、身体や心への反応が大きく、においを上手に取り入れた生活を考えます。	10月16日(日)	1	10:00～12:00	中田 智子 アロマイストラクター
23	防災・減災セミナー	災害を未然に防ぐための日頃からの備えや被災時の心得について学びます。	2月4日(土)	1	13:30～15:00	村野 淳子 別府市危機管理課
24	パン&スープ教室	パンづくりの初歩的な行程を学び、食生活に新たな彩りを添えます。	3月11日(土)	1	10:00～13:00	三宮 良子 栄養士

2 教室別・大会別参加者内訳

(1) スポーツ・レクリエーション教室

NO	区分	教室名	回数	受講者・参加者内訳											
				障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他一般	合計
				肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
1	リ エ ー シ ョ ン	親子スポーツ教室	10	20	20	15	145	0	39	239	248	2	21	0	510
2		親子水泳教室	10	11	7	0	46	0	23	87	134	46	30	0	297
3		卓球バレー教室	12	42	0	0	62	0	0	104	49	0	17	0	170
4		スポーツ吹矢教室	5	6	0	3	11	0	8	28	12	1	17	0	58
5		ミニテニス教室	5	19	0	0	35	0	0	54	24	2	24	0	104
計			42	98	27	18	299	0	70	512	467	51	109	0	1,139

(2) 趣味・文化教室

NO	区分	教室名	回数	受講者・参加者内訳											
				障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他一般	合計
				肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
6	趣 味 ・ 文 化	料理教室	18	54	8	10	79	9	0	160	58	64	42	0	324
7		絵画教室	5	19	0	1	37	2	3	62	49	12	14	0	137
8		書道教室	10	51	0	1	20	0	0	72	16	10	27	0	125
9		絵手紙教室	10	80	0	5	19	0	10	114	36	27	35	0	212
10		パソコン教室	5	21	3	0	16	0	6	46	11	12	11	0	80
11		おりがみ教室	5	21	0	0	17	0	0	38	21	4	14	0	77
計			53	246	11	17	188	11	19	492	191	129	143	0	955

(3) 機能訓練教室

NO	区分	教室名	回数	受講者・参加者内訳											
				障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他一般	合計
				肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
12	機 能 訓 練	水中ウォーキング教室Ⅰ～Ⅲ	15	190	0	0	0	14	5	209	20	13	46	0	288
13		水中リフレッシュ教室Ⅰ～Ⅱ	15	137	0	0	0	15	7	159	9	7	38	0	213
14		おてがる体操教室<H29.1～>	5	24	0	0	1	5	3	33	5	1	14	0	53
15		いきいきリフレッシュ教室<H29.1～>	5	17	0	0	0	5	2	24	5	5	17	0	51
16		リハビリテーション教室<H29.1～>	3	14	0	0	0	4	0	18	4	6	7	0	35
17		健康運動セミナー教室<H29.1～>	5	30	0	0	0	8	0	38	1	3	10	0	52
18	専 業 主	ブルーパーソナルレッスンA～D	52	29	5	0	8	0	10	52	3	0	53	0	108
計			100	441	5	0	9	51	27	533	47	35	185	0	800

(4) 各種講座等

NO	区分	教室名	回数	受講者・参加者内訳											
				障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他一般	合計
				肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
19	講座等	障害年金講座	1	5	1	0	0	1	1	8	2	2	17	0	29
20		カラーセラピー講座	1	6	1	1	1	0	1	10	5	2	6	0	23
21		米粉を使った料理講座	1	5	0	1	3	0	0	9	6	3	8	0	26
22		アロマセラピー講座	1	4	0	0	1	0	0	5	1	4	8	0	18
23		防災・減災セミナー	1	3	1	1	2	1	0	8	2	16	5		31
24		パン&スープ教室	1	1	0	0	4	0	0	5	4	2	4	0	15
計			6	24	3	3	11	2	2	45	20	29	48		142
教室・講座等 小計(A)			201	809	46	38	507	64	118	1,582	725	244	485	0	3,036

(5) 各種大会等

NO	区分	大会名	回数	受講者・参加者内訳											
				障がい者							介護	ボランティア	福祉	その他一般	合計
				肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計					
1	大会等	卓球バレー大会(第14回)	1	40	1	6	19	0	2	68	15	2	20	20	125
2		ミニコンサート	3	68	7	8	52	5	2	142	35	7	53	3	240
3		ふうせんバレーボール大会(第22回)	1	25	6	1	47	7	0	86	54	2	27	1	170
4		サウンドテーブルテニス大会(第31回)	1	0	24	0	0	0	0	24	3	3	20	0	50
5		フライングディスク大会(第12回)	1	12	0	6	17	1	0	36	4	3	13	6	62
6		囲碁大会(第32回)	1	4	0	2	0	1	0	7	2	2	1	0	12
7		オセロ大会(第1回)	1	9	0	1	0	0	1	11	2	3	10	0	26
8		会長杯卓球大会(第31回)	1	27	0	3	9	1	6	46	7	2	12	78	145
9		将棋大会(第32回)	1	10	0	0	3	0	4	17	6	1	6	0	30
10		スポーツ吹矢大会(第3回)	1	9	0	2	7	0	2	20	5	3	15	1	44
大会等 小計(B)			12	204	38	29	154	15	17	457	133	28	177	109	904
合計(A+B)			213	1,013	84	67	661	79	135	2,039	858	272	662	109	3,940

3 スポーツ大会の開催

(1) 第14回大分県身体障害者福祉センター卓球バレー大会

期 日 平成28年4月24日(日)

参加者 11チーム 125名(うち障がい者 68名)

内 容 卓球台を6人1チームで囲んで対戦する競技。

優 勝	準 優 勝	第 三 位
中津ろう・タイガーA (中津市)	コスモス (大分市)	チームZERO (別府市)

(2) 第22回大分県身体障害者福祉センターふうせんバレーボール大会

期 日 平成28年6月5日(日)

参加者 19チーム 170名(うち障がい者 86名)

内 容 6人1チームでふうせんを1人必ず1回ずつ触れて、相手チームに返す競技。

部 門	優 勝	準 優 勝	第 三 位
由布ブロック	イミテーションゴールド (中津市)	天領ひた (日田市)	大山うめぐり (日田市)
鶴見ブロック	つくし園OB (中津市)	ここのえA (九重町)	スカイラブ (大分市)

(3) 第31回大分県身体障害者福祉センターサウンドテーブルテニス大会

期 日 平成28年7月10日(日)

参加者 50名(うち障がい者 24名)

部 門	優 勝	準 優 勝
全盲男子の部	川野 健一(宮崎県)	山下 美智雄(宮崎県)
全盲女子の部	藤田 泰子(山口県)	豊武 敦子(中津市)
弱視男子の部	小園 勇(宮崎県)	豊武 憲十郎(中津市)
弱視女子の部	小園 文子(宮崎県)	歌津 美智子(宮崎県)

(4) 第12回大分県身体障害者福祉センターフライングディスク大会

期 日 平成28年11月27日(日)

参加者 62名(うち障がい者 36名)

内 容 アキュラシー(的あて)で、20回投げ、通過したディスクの数で競う。

※ 的までの距離を、1~10投は5m、11~20投は7mで実施。

優 勝	準 優 勝	第 三 位
神田 昇(大分市)	持田 朗(別府市)	木部 毅(別府市)
第 四 位	第 五 位	第 六 位
久原 芳夫(大分市)	田村 浩司(別府市)	長 孝至(別府市)

(5) 第31回大分県社会福祉協議会会長杯卓球大会

期 日 平成28年12月18日(日)

参加者 145名(うち障がい者 46名) ※三位決定戦未実施

※ 今年度より会長杯の部、交歓の部それぞれで男子、女子の部門に分けて実施。

部 門	優 勝	準 優 勝	第 三 位	
会長杯の部 男子	小野 良太 (大分市) 春日クラブ	三重野 憂哉 (臼杵市) 挾間卓球クラブ	宿野部 拓海 (大分市) Force Leaves	垂水 慎一 (大分市) NA・SI・KA
会長杯の部 女子	長田 恵 (大分市) Force Leaves	乙咩 眞琴 (大分市) Kフレッシュ	竹永 テル子 (大分市) NEXT	大岩 循子 (宮崎県) 宮崎もくれん会
交歓の部 男子	利光 真寿 (大分市) 卓三クラブ	灰野 天馬 (大分市) 原川中学校	小田原 稔 (大分市) ふたばクラブ	赤星 智浩 (別府市) 太陽の家
交歓の部 女子	阿部 愛末 (大分市) 明野ジュニア	松本 陽花 (大分市) 原川中学校	山崎 羽瑠奈 (大分市) 原川中学校	阿部 愛弓 (大分市) 明野ジュニア

(6) 第3回大分県身体障害者福祉センタースポーツ吹矢大会

期 日 平成29年2月5日(日)

参加者 44名(うち障がい者 20名)

内 容 6m先にある的に向けて、吹き矢を放ち、どれだけ多くの点を取るかで競う。

優 勝	準 優 勝	第 三 位	
高橋 正 (大分市)	大津留 祥二 (別府市)	半沢 千秀 (大分市)	野田 カヨ子 (別府市)

4 趣味・文化行事大会

(1) 夢物語作品展

平成28年11月10日(木)～13日(日)開催

教室受講生や講師の作品を身障センターの展示スペース(1、2階)にて展示。

(各部門の作品数)

展示内容	平成28年度	平成27年度	平成26年度
絵 画	15	22	18
書 道	6	7	9
絵 手 紙	59	44	51

(2) 第32回大分県身体障害者福祉センター囲碁交流大会

期 日 平成28年11月13日(日)

参加者 12名(うち障がい者 7名)

内 容 段位、級に応じて置き碁にて実施。

優 勝	準 優 勝
河野 隆(大分市)	平川 一夫(大分市)

(3) あすぴあおおいた杯オセロ交流大会

期 日 平成29年1月15日(日)

参加者 26名(うち障がい者 11名)

実施方法 リーグ戦を実施した後、トーナメントにより実施。

優 勝	準 優 勝	第三位
今洲 庄吉(別府市)	河野 敏幸(別府市)	江川 正喜(別府市)

(4) 第32回大分県身体障害者福祉センター将棋大会

期 日 平成29年1月29日(日)

参加者 30名(うち障がい者 17名)

実施方法 A(有段者) B(1~3級) C(初心者等)のレベル別に分かれ対戦。

種目	優 勝	準 優 勝
Aクラス	重見 次生(宇佐市)	村尾 猛(大分市)
Bクラス	大澤 信一(大分市)	福島 正之(大分市)
Cクラス	篠田 一徳(大分市)	樋口 賢司(大分市)

5 ボランティアの育成

(1) ボランティアの活動状況(延べ参加人数)

区 分	回 数	平成28年度	平成27年度
教室	61	200	203
大会・行事	14	65	79

(2) サポーター研修

日 時 平成29年2月4日(土) 13:30~15:00

内 容 防災・減災セミナー「被災地支援から見えてきたこと」

講 師 村野 淳子 氏(別府市企画部危機管理課)

参加者 31名(うち障がい者 8名)

6 講座等の開催

- (1) 第1回 「障害年金受給決定後に知っているのと役に立つこと」
日 時 6月25日(日) 13:30~15:00
内 容 障害年金請求までの流れ、受給決定後のこと、他制度との調整
講 師 飯塚 泰雄 (大分障害年金サポート・社会保険労務士)
参加者 29名(うち障がい者 8名)
- (2) 第2回 「色を味方にする方法、お伝えいたします」
日 時 7月2日(土) 10:00~12:00
内 容 色の役割、色彩療法、色を与える印象など
講 師 羽田 貴子 (日本パーソナルカラー協会認定講師)
参加者 23名(うち障がい者 10名)
- (3) 第3回 「米粉を使った料理」
日 時 7月23日(土) 10:00~13:00
内 容 米粉ナンとキーマカレー、米粉ポパイケーキ
講 師 辻島 千賀子 (大分県食生活改善推進協議会会長) ほか
参加者 26名(うち障がい者 9名)
- (4) 第4回 「アロマセラピー」
日 時 10月16日(日) 10:00~12:00
内 容 アロマボトルの作成
講 師 中田 智子 (アロマインストラクター)
参加者 18名(うち障がい者 5名)
- (5) 第5回 「パン&スープ教室」
日 時 3月11日(土) 10:00~13:00
内 容 パンづくりの初歩的な行程を習う。
講 師 三宮 良子 (栄養士)
参加者 15名(うち障がい者 5名)

7 ミニコンサートの開催

- (1) 第1回
日 時 4月24日(日) 12:30~12:45
内 容 アンサンブル太陽によるバンド演奏
- (2) 第2回
日 時 6月5日(日) 12:25~12:40
内 容 和田浩充氏によるフルート演奏
- (3) 第3回
日 時 11月27日(日) 11:55~12:10

内 容 武石政信氏によるギター演奏

8 障がい者福祉関係機関、団体等への支援協力

(1) 第31回障がい者による書道・写真全国コンテスト

主 催 (財) 日本リハビリテーション協会
実施機関 全国障害者総合福祉センター (戸山サンライズ)
募集期間 平成28年8月10日～9月30日
内 容 ○書道の部 34点出展 (全国 837点応募)
○写真の部 8点出展 (全国 180点応募)
審査結果 大分県内関係で入賞者なし。

9 センター利用調整会議

(1) 第1回 (平成28年度下半期施設利用調整会議)

日 時 平成28年7月30日 (土) 13:30～14:30
団 体 数 25団体 27名 手話通訳2名
内 容 各施設の利用について、身障センターへの意見・要望等

(2) 第2回 (平成29年度上半期施設利用調整会議)

日 時 平成29年1月28日 (土) 13:30～14:30
団 体 数 21団体 24名 手話通訳2名
内 容 各施設の利用について、センターへの意見・要望等

10 運営委員会

日 時 平成29年3月2日 (木) 13:30～15:00
内 容 ○平成28年度事業報告について
○平成29年度事業計画 (案) について

11 自主事業

(1) 夏季期間の温水プール個人利用開放

期 日 7月28日 (木)、8月4日 (木) 18日 (木)、25日 (木)
時 間 10:00～12:00
対 象 障がい者 (児) とのその介助者

(2) 第6回ふれあいフェスタの開催

- ①目 的 大分県身体障害者福祉センターを広く県民に対して周知を図るとともに障がい者と地域住民との交流、ふれあいを目的とする。
- ②日 時 平成28年11月13日 (日) 10:00～15:00
- ③会 場 大分県総合社会福祉会館
- ④参加人数 1,710人
- ⑤参加料 無 料
- ⑥アンケート 39人より回答

⑦内 容

大ホール〔4階〕

- 10:00～10:15 「オープニング」アンサンブル太陽による演奏
10:15～10:30 30周年記念 壁画アート披露など
絵画教室受講生がセンター温水プールに飾るために制作した壁画と
愛称募集の選定結果で決まった「あすぴあおおいた」を披露。
10:30～11:30 公開トーク「たちばなさんちの長男坊～ユンタのゆっくり成長記～」
〔漫画家 たちばなかおる & 車いすアスリート廣道 純〕
ダウン症の長男をはじめとする3人の息子の子育てや障害の受け
止め方などについて、車いすアスリートの廣道純さんと、笑いも交え
た楽しく心温まるトークを展開。
12:30～13:00 ふれあいステージ①〔落語（盲目の噺屋ザトー）〕
13:00～13:15 ふれあいステージ②〔フルート演奏（和田浩充）〕
13:15～13:30 ふれあいステージ③〔オカリナ演奏（優音）〕
13:30～14:00 お楽しみ抽選会（対象：スタンプラリー参加者 約150名）

研修室1〔3階〕

- 10:30～14:00 「第32回大分県身体障害者福祉センター囲碁交流大会」

研修室2・3〔3階〕

- 10:30～13:00 「スポーツ吹矢体験」（大分県スポーツ吹矢協会大分中央支部）

母子研修室〔3階〕

- 10:30～13:00 「おりがみを楽しもう！」（日本折紙学会指導員 羽田 清子）

視聴覚室〔2階〕

- 10:30～14:00 「まちの保健室」（大分県看護協会）…血管年齢、血圧、体脂肪測定など

生活訓練室（和・洋室）〔2階〕

- 10:30～14:00 「ふれあいお茶会」（茶道クラブ）

創作作業室〔2階〕

- 10:30～13:00 「木工作品を作ろう！」（寺司 孝志）

相談室〔1階〕

- 10:30～14:00 「障害年金相談コーナー」（社会保険労務士 飯塚 泰雄）

1・2階 掲示板

- 10:00～15:00 「夢物語作品展示」～教室受講生の作品を展示（絵画、書道）

体育室〔1階〕

- 10:30～14:30 「ふれあい市」…手作りお菓子、野菜、雑貨などの販売

- 10:30～14:30 「福祉機器の展示」（大分県福祉用具協会）

- 10:30～14:30 「絵手紙ライブ」（絵手紙教室認定講師 原野 彰子）

- 11:30～14:30 食事コーナー（いも煮、ちらし寿司、カレーの販売）

- 11:40～12:00 ひでりんのワンマンショー（カラオケ）

療育訓練室〔1階〕

- 10:30～13:00 「サウンドテーブルテニス体験」（チーム2℃大分）

卓球室〔1階〕

- 10:30～13:00 「卓球バレー体験」（大分卓球バレー&コスモス）

駐車場

- 10:00～15:00 「福祉車両の展示」…フレンドマチック取付車などの展示

12 体験実習および施設見学等の受け入れ

- (1) 介護老人保健施設 大分豊寿苑
期 日 平成28年9月20日(火)
内 容 施設内の見学
参加者 4名
- (2) 大分市立日岡小学校特別支援学級
期 日 平成28年10月14日(金)
内 容 卓球、温水プール等のレクリエーション利用
参加者 20名
- (3) 大分市立三佐小学校特別支援学級
期 日 平成29年11月30日(水)
内 容 卓球等のレクリエーション利用
参加者 8名
- (4) 韓国障害人開発院見学
期 間 平成29年2月15日(水) 14:00~15:30
内 容 日本の障害者センターの実情の見学
参加者 3名(通訳1名含む)

13 職員の会議、研修等への参加状況等

- (1) 身障センター内職員研修〔会場：身障センター事務室等〕
 - ① 第1回
日 時 平成28年4月17日(日) 15:30~17:00
内 容 受付業務確認、大分県内の地域医療
参加者 7名
 - ② 第2回
日 時 平成28年9月21日(水) 10:30~12:00
内 容 プール受付事務の業務確認
参加者 7名
 - ③ 第3回
日 時 平成28年12月 8日(木) 15:30~16:30
内 容 事例研修
参加者 6名
 - ④ 第4回
日 時 平成29年1月11日(水) 15:30~16:30
内 容 感染症対策、部分消防訓練実施の検討、障がい者へ合理的配慮等
参加者 6名

⑤ 第5回
日 時 平成29年2月11日(土) 15:30~16:30
内 容 消防部分訓練について(初期消火・避難誘導)
参加者 6名

⑥ 第6回
日 時 平成29年2月16日(木) 15:30~16:30
内 容 受付事務確認事項
参加者 6名

(2) 社会福祉施設等新任職員研修会

期 日 平成28年4月13日(水)~14日(金)
内 容 接遇マナー、利用者本位のケア
会 場 県社会福祉介護研修センター
参加者 1名

(3) 県有建築物の保全に係わる研修会

平成28年4月25日(月) 県庁新館 14階会議室 1名参加

(4) 日本オストミー協会大分県支部 第28回通常総会

平成28年4月28日(木) 視聴覚室 1名参加

(5) 大分市消防局普通救命講習

- ① 平成28年5月 9日(月) 大分中央消防署 1名参加
- ② 平成28年7月29日(金) 大分南消防署 1名参加
- ③ 平成28年9月 9日(金) 大分中央消防署 1名参加
- ④ 平成29年3月 9日(木) 大分中央消防署 1名参加(予定)

(6) 大分県プール安全管理講習会

平成28年5月23日(月) 県庁新館14階大会議室 2名参加

(7) 日本赤十字社救急法更新研修

平成28年5月24日(火) 大分赤十字病院 1名参加

(8) 県障害者社会参加推進協議会定期総会

平成28年5月27日(金) 県母子父子センター会議室 1名参加

(9) 差別解消セミナー

平成28年7月6日(水) ホルトホール 2名参加

(10) 平成28年度「相談支援従事者初任者研修会」

期 日 平成28年7月20日(水)、21日(木) 8月5日(金) 9月28日(水) 29日(金)
会 場 県教育会館、県社会福祉介護研修センター
参加者 1名

(11) 指定管理評価委員会

平成28年8月17日(火) 県庁41会議室 2名参加

- (12) アンガーマネジメント講座（県人権教育・啓発推進協議会主催）
期 日 平成28年8月25日（木）ホルトホール 1名参加
- (13) 県社協職員人権研修
期 日 平成28年8月26日（金）、9月1日（木）県総合社会福祉会館 6名参加
内 容 障がい者の人権って？
- (14) 発達障がいのある子のペアレントメンター養成研修
期 日 平成28年9月7日（水）県社会福祉介護研修センター 1名参加
- (15) 平成28年度障害者福祉センター管理運営研修会
平成28年9月29日（木）～30日（金）宮城県仙台市 1名参加
- (16) 第43回国際福祉機器展、国際シンポジウム
平成28年10月13日（木）～14日（金）東京都 1名参加
- (17) 監査
 - ① 社会福祉法人及び社会福祉施設の指導監査 平成28年12月9日（金）3名対応
 - ② 財政的援助団体監査 平成28年12月20日（火）～21日（水）3名対応
 - ③ 財政的援助団体監査（委員監査）平成29年1月19日（木）1名対応
- (18) 消防設備点検資格者講習
平成29年2月8日（木）ホルトホール 1名参加
- (19) 第162回プール衛生管理者講習会
平成29年2月23日（木）～24日（金）大阪市 1名参加
- (20) 電気保安協会講習
平成29年2月24日（金）ホルトホール 1名参加

14 大会等への参加

- (1) 第32回大分県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会
平成28年9月17日（木）七瀬川自然公園グラウンド 1名参加
- (2) 第24回大分県ふれあいフライングディスク大会
平成28年10月15日（日）大分スポーツ公園大銀グラウンド 1名参加
- (3) 第32回大分県身体障がい者ゲートボール大会
平成28年11月8日（火）七瀬川自然公園グラウンド 1名参加
- (4) 平成28年度「ときめき作品展」
平成28年11月10日（木）アートプラザ 2名参加

15 施設・設備の維持管理状況

(1) 施設維持管理

① 温水プールの水質検査 ※ 各項目とも検査基準に適合

(毎日) 残留塩素、水温管理

(毎月) 委託業者 (株) エスク横浜分析センター

検査項目	検査日	
ア 水素イオン濃度	4月 5日	9月18日
イ 濁度	5月11日	10月18日
ウ 有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	6月 1日	11月15日
エ 大腸菌	7月 6日	—
オ 一般細菌	8月 2日	—
※12月～3月は、温水プール休止のため検査なし	9月 6日	—

(年1回) 委託業者 (株) エスク横浜分析センター

検査項目	検査日
ア 総トリハロメタン (クロホルム、ジブromクロメタン、ブromモジクロメタン、ブromホルム)	7月6日
イ レジオネラ属菌	

② 温水プール水の入替および掃除 委託業者：(株) メンテナンス

ア 平成28年7月17日 (日) ～18日 (月)

清掃日 平成28年7月18日 (月)

イ 平成29年3月4日 (土) ～5日 (日) (予定)

清掃日 平成28年3月3日 (金)

③ 消防設備関連 委託業者：(株) メンテナンス

ア 消防設備点検 平成28年8月29日 (月)、平成29年2月6日 (月)

イ 消防部分訓練 平成29年2月11日 (土) 身障センター内

ウ 総合防災訓練 平成29年3月14日 (火) 総合社会福祉会館敷地内

(2) 県施設整備

① 体育室吊り天井耐震・LED改修工事 (6月～8月)

② プール吊り天井耐震・LED改修工事改修工事 (12月～2月)

③ 総合福祉センター機械設備 (小便器個別センサー、バクテリアンボイラ改修工事 (12月～1月))

(3) 小修繕工事

① 2階創作作業室流し台撤去工事 (4月)

② プール更衣室奥身障者用男子トイレウォシュレット改修工事 (7月)

③ 冷温水器遠隔制御盤・各会議室に冷暖房温度コントローラ設置工事 (10月)

(4) 省力化の取り組み

- ① バコテンボイラーの制御タイマーによるガス消費量の低減
- ② 冷暖房空調機の温度管理(遠隔操作盤設置)
- ③ 各部屋空調の温度管理(温度コントローラ設置)
- ④ LED 照明改修による電力省力化
- ⑤ 小便器の節水用個別センサー排水装置設置による消費水量の低減
- ⑥ ガス契約 (ディマンド) によるガス基本料の低減

16 広報の状況

(1) ホームページ等による情報提供 URL <http://www.sc-oita.net/>

- ① 行事・お知らせ等の最新情報 (随時更新)
- ② 施設予約状況の案内
- ③ フェイスブックでの情報提供

(2) 印刷物による広報

No.	内 容	枚 数	配布先
①	センター主催教室受講生募集	2, 0 0 0部	各関係機関、施設、受講生
②	利用案内 (プール用)	1 0 0部	利用者用
③	利用案内 (体育室・卓球室)	1 0 0部	利用者用
④	年報 (平成 2 7 年度版)	2 3 0部	各関係機関、施設等
⑤	第 6 回フェスタちらし	2 5, 0 0 0部	利用登録者、地域住民、各関係機関、施設等

(3) テレビ CM 等による広報

OCN 大分ケーブルネットワークにおいて 1 ヶ月間ふれあいフェスタの開催案内を放映。

17 関係機関との連携状況 (NPO 団体等との連携による教室・大会の開催)

- (1) 親子水泳教室 [県障害者福祉水泳指導者協会]
- (2) スポーツ吹矢教室 [大分県スポーツ吹矢協会大分中央支部]
- (3) 水中リフレッシュ教室・いきいきリフレッシュ教室 [NPO 法人にこにこフィットネス協会]
- (4) 各種スポーツ大会
 - ① 卓球バレー大会 [大分県卓球バレー協会]
 - ② 県社協会長杯卓球大会 [大分県障害者卓球連盟]
 - ③ ふうせんバレーボール大会 [大分県ふうせんバレーボール協会]
 - ④ サウンドテーブルテニス大会 [大分県障害者卓球連盟]
 - ⑤ フライングディスク大会 [大分県フライングディスク協会]
 - ⑥ スポーツ吹矢大会 [大分県スポーツ吹矢協会大分中央支部]

18 利用者満足度調査（アンケート調査の実施）

	調査時期	対象者（人数・団体数）
第1回	12月～1月	会議室等利用団体（登録72団体）
第2回	12月～1月	スポーツ施設使用団体（登録33団体）
第3回	通年	個人の利用者（一般を含む）
第4回	通年	教室受講者

19 サービス改善事業

（1）文化芸術地域支援事業

「地域で障がい者の芸術体験をしたい」その活動のヒントやアイデアがほしい障がい者支援施設・団体等に対し、創作活動（書道、絵手紙、おりがみ）に講師を派遣。

No.	期日	受講人数 (予定を含む)	内容	講師	派遣先
1	平成29年2月5日(日)	40名	切り絵	溝辺 恵	大分県身体障害者福祉協会
2	平成29年2月9日(木)	17名	絵手紙	原野 彰子	社会福祉法人 大分県社会福祉事業団 大分県のぞみ園
3	平成29年2月22日(水)	15名	おりがみ	羽田 清子	社会福祉法人 大分県社会福祉事業団 大分県のぞみ園
4	平成29年3月3日(金)	4名	おりがみ	羽田 清子	大分県聴覚障害者協会
5	平成29年3月7日(火)	3名	書道	河野 悦子	大分県聴覚障害者協会
6	平成29年3月16日(木)	20名	おりがみ	羽田 清子	バドミントンチーム フィンガー (ろうあ者と手話通訳者)
7	平成29年3月19日(日)	40名	パステルアート	溝辺 恵	大分県身体障害者福祉協会
8	平成29年3月23日(木)	6～7名	おりがみ	羽田 清子	小規模作業所 ゆう
9	平成29年3月24日(金)	5名	絵手紙	原野 彰子	大分県聴覚障害者協会

（2）介護予防支援講座等の開催

① プールパーソナルレッスン

期 間 平成28年5月～11月
 講 師 稲田 亜紀（日本水泳連盟 基礎水泳指導員）
 内 容 水泳の個人指導を通じて、身体機能の向上等につなげる。
 開催回数 52回
 受講者数 のべ52名

② おてがる体操教室

期 日 平成29年1月14日(土)、28日(土)、2月11日(土)、18日(土)
3月25日(土)
講 師 芝崎 信也(体操訓練士)
内 容 問診をもとに本人にあった体の動かし方を行う。

③ いきいきリフレッシュ教室

期 日 平成29年1月18日(水)、25日(水)、2月8日(水)、
2月15日(水)、2月22日(水)
講 師 岡田 理絵(NPO法人にこにこフィットネスクラブ)
内 容 日常生活の中でもできる身体の芯から暖めるメニューを紹介。

④ リハビリテーション相談・教室

期 日 平成29年1月17日(火)、2月21日(火)、3月21日(火)
講 師 山形 茂生(コネクトリハビリテーション・作業療法士)
内 容 リハビリで、個人別の相談を実施し、動きを踏まえて助言。

⑤ 健康運動セミナー「動ける身体づくり」

期 日 平成29年1月29日(日)、2月12日(日)、26日(日)
3月5日(日)、12日(日)
講 師 大平 高正(ハートリハソラ・理学療法士)
内 容 第1回「腰の痛み、膝の痛みの対処方法と予防について」
第2回「脳卒中、心筋梗塞を予防しよう」
第3回「頸の痛み、肩の痛みの対処方法と予防について」
第4回「うつ、認知症を予防しよう」
第5回「転倒を予防しよう」

IV 平成28年度 施設別・障がい者別利用状況表

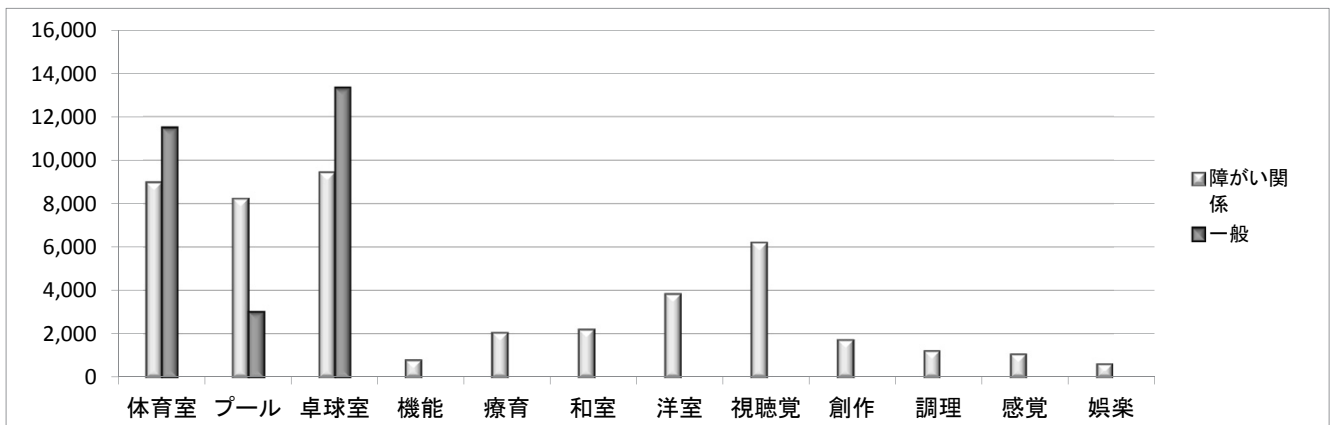
(開所日数 299日)

	団体利用					個人利用										合計
	障がい者	介護 同伴	ボラン ティア	福祉 関係者	その他 一般	肢体	視覚	聴、言	知的	内部	精神	介護 同伴	ボラン ティア	福祉関 係者	その他 一般	
体育室	5,294	1,163	1,107	1,422	11,514											20,500
温水プール	3,084	1,296	116	610	862	1,576	55	57	332	279	100	636	100	0	2,184	11,287
卓球室	358	154	55	64	35	6,231	21	855	258	606	839	4	3	0	13,321	22,804
機能回復訓練室	17	4	3	23	0	655	14	20	2	12	25	35	2	0	4	816
療育訓練室	1,191	242	326	325	0											2,084
生活訓練室(和)	617	391	561	646	0											2,215
生活訓練室(洋)	1,300	256	749	1,548	0											3,853
視聴覚室	1,324	378	938	3,579	0											6,219
創作作業室	676	139	274	657	0											1,746
調理実習室	684	109	239	195	2											1,229
感覚訓練室	358	126	385	208	0											1,077
娯楽室	288	91	26	222	0											627
合計	15,191	4,349	4,779	9,499	12,413	8,462	90	932	592	897	964	675	105	0	15,509	74,457

障がい関係
46,535名

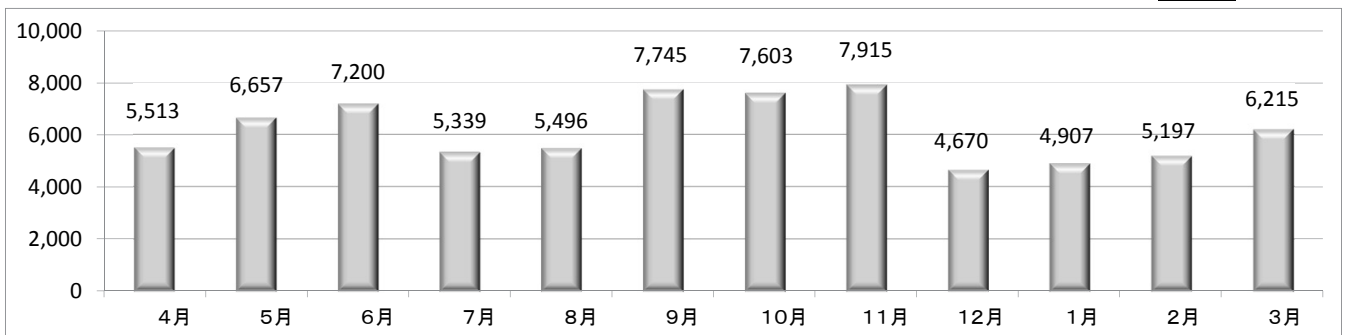
平成28年度施設別利用状況

一般
27,922名



平成28年度月別利用者数の動向

年間
74,457名



社会福祉介護研修センター

平成28年度は、第三期指定管理者（平成28～32年度）の初年度を迎え、「2016大分県社会福祉介護研修センター研修体系」に基づき、引き続き、福祉に関わる行政職員や施設職員等の資質の向上を図るとともに、県民への福祉・介護に対する正しい知識の普及と介護技術の向上に努めた。

具体的には、社会福祉施設等の職員を対象に、階層・職種別に業務遂行に必要な知識・技術の修得のための研修をはじめ、認知症介護実践者研修や摂食・嚥下セミナー等ニーズの高い専門研修を行うとともに、障がい者の自立を支援する相談支援従事者の専門性を高める研修や子ども・子育て支援新制度の施行に伴う放課後児童支援員の資格認定に係る専門研修を開催したほか、指定研修実施機関として介護支援専門員研修を実施した。

一般県民向けの講座では、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加に対応して、従来の介護予防教室の充実を図り、日常で実践できる認知症予防方法を体験し、理解を深める認知症予防教室を新たに実施するとともに、なかなか研修センターへ足を運ばない地域住民を対象にした地域介護教室を積極的に開催した。

さらには、高齢者が在宅で自立して生活できる限界点を引き上げるとともに、介護現場の就労環境を改善するため、平成25年度から公益財団法人テクノエイド協会から介護ロボットの普及拠点施設の指定を受け、福祉用具展示場に介護ロボットの体験型常設展示を行うとともに、福祉施設や在宅での実証検証に加え、福祉用具・介護ロボット普及研修フォーラムを開催するなど、介護ロボットの普及啓発を図った。

その他、センター施設を地域に開放し、大分県保健医療団体協議会と連携して、健康や介護予防に関する体験・相談コーナーを設けるとともに、福祉用具アイデア作品展や介護食コンテストを実施するなど県民参加型の「センターまつり」を開催した。

また、課題である福祉人材確保に関しては、福祉人材確保推進会議を開催し、関係者の課題の共有化、解決のための協議・情報交換を行うとともに、福祉のしごと就職フェアを各地で開催するなどの取組みを行った。さらに、介護の仕事に関心を有する者に職場を体験する機会を提供したり、ハローワーク等での相談に応じ、福祉・介護現場への参入促進を行った。

研 修 部

【介護実習・普及センター事業】

少子高齢社会において、家庭及び地域における介護機能の強化と、県民が健康寿命を伸ばすため、認知症予防や介護予防の推進など、個人の尊厳・自立を基本にした介護の重要性がますます高まっている。

そのため介護予防の意識づけと、介護知識・技術の普及・啓発並びに認知症予防を目的とした研修を新たに実施した。更に、福祉用具の研修・展示・相談、なかでも、介護支援及び自立支援型ロボットの啓発や効果的な活用の普及を図った。

(1) 介護研修関係

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回 数	参 加 者
見学コース (一般)	県民・企業・海外他	31	640
介護入門コース (一般)	県民・企業・海外他	81	2,167
介護予防教室(4日間)	県民	3	82
介護技術教室(6日間)	県民	3	94
認知症予防教室(2日間)	県民	9	309
認知症介護教室(1日間)	県民	12	416
テーマ別教室(1日間)	県民	9	244
福祉用具・介護ロボット地域普及・啓発事業(5日間)	県民	7	2,627
公開介護教室(1日間)	県民	4	963
福祉用具・介護ロボット等研修(1日間)	介護支援専門員、福祉用具貸与事業者等	2	162
福祉用具プランナー研修(8日間)	介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、介護福祉士等	1	28
福祉用具専門相談員指定講習会(7日間)	福祉用具専門相談員を目指す者	1	38
介護技術講師養成研修(11日間)	特別養護老人ホーム・身体障害者支援施設等の介護福祉士、ホームヘルパー等	1	24
介護技術講師継続研修(1日間)	介護技術講師	1	37
啓発及び情報提供	一般県民		パンフレット・リーフレットの配布、図書・ビデオの貸し出し
合 計		165	7,831

(2) 介護担当職員技術研修

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回 数	参 加 者
介護担当職員技術研修 ＜食事ケアリーダー研修＞ (2日間)	直接介護に関わっている介護 福祉士、訪問介護員等	2	45
摂食・嚥下セミナー(7日間) (スキルアップセミナー)	「食」に携わる医療、介護、福 祉職等	1	40
		1	36
排泄初級セミナー(5日間) (スキルアップセミナー)	排泄ケアに関わっている者、または今 後関わっていく者	1	52
		1	104
合 計		9	277

(3) 訪問介護・通所介護事業所職員養成研修関係

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回 数	参 加 者
介護保険事業所トップセミ ナー	指定訪問介護事業所又は指 定通所介護事業所における 開設者、管理者等	2	225
サービス計画担当者研修 【基礎課程】(2日間) 【応用課程】(4日間)	指定訪問介護事業所又は指 定通所介護事業所における 現任のサービス計画担当者	2	190
		2	107
介護職員現任者研修 【基礎課程】(2日間) 【応用課程】(3日間)	指定訪問介護事業所又は指 定通所介護事業所における 現任の介護職員	2	78
		2	46
障がい者(児)居宅介護職 員養成研修(2日間)	介護保険法に基づく訪問介 護員養成研修終了者で、現 に従事している者、又はこ れから従事する者	1	91
合 計		11	737

【社会福祉従事者等研修事業】

県市町村の福祉関係行政職員、社会福祉施設及び社会福祉協議会の役職員など、社会福祉従事者の資質向上のための研修を実施し、マンパワーの育成に努めた。

(1) 行政職員研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者
新任職員研修	着任後1年未満の職員	2日	75名
高齢者福祉担当職員研修	高齢者福祉担当職員	2日	107名
障がい福祉担当職員研修	障がい者福祉担当職員	1日	10名

(2) 社会福祉施設職員等研修

① 階層別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者	
新任職員研修	(前期)	実務経験1年未満の職員	2日	153名
	(後期)		2日	155名
中堅職員研修 (A コース)	各職場において、中堅職員に相当する者 (A コース、B コースの選択制)	2日	144名	
中堅職員研修 (B コース)		2日	125名	
指導監督職員研修	指導監督職員	2日	112名	
施設長研修	施設長	1日	62名	
監事研修	法人の監事	1日	73名	

② 職種別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者	
高齢者福祉施設相談職員研修	高齢者福祉施設の相談員	1日	52名	
新任介護担当職員研修	第1部	新任介護担当職員	2日	102名
	第2部		3日	105名
介護職員中堅研修	介護担当職員 (3年以上)	1日	66名	
障がい児 (者) 施設等職員研修	直接処遇職員	2日	124名	
事務担当職員研修	事務担当職員	2日	107名	
給食担当職員研修	給食担当職員	1日	57名	
看護担当職員研修	看護担当職員	1日	92名	
介護支援専門員実務研修	受講試験合格者	15日	172名	
介護支援専門員 専門(更新)研修	課程 I	6か月以上	9日	143名
	課程 II	3年以上	5日2組	203名
介護支援専門員更新研修	介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者(実務未経験者)	7日2組	148名	
介護支援専門員再研修	介護支援専門員証を失効した者	7日3組	52名	

相談支援従事者初任者研修	相談支援専門員となる者	5日	297名
相談支援従事者現任研修	相談支援専門員の現任者	3日	58名

③ 課題別研修

研修名	対象者	日数	参加者
放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員	4日2班	281名
認知症介護基礎研修	介護保険施設等に 従事する介護職員等	1日	63名
認知症介護実践者研修	介護保険施設等の 実務者、グループホームの 計画策定担当者就任予定者等	7日3班	239名
認知症介護実践リーダー研修	介護保険施設等の 実務者	7日	68名
認知症対応型サービス事業 開設者研修	開設者、代表者、役員	2日	10名
認知症対応型サービス事業 管理者研修	管理者の就任予定者	2日2班	96名
小規模多機能型サービス等計 画作成担当者研修	計画作成担当者、就任予 定者	2日	21名
福祉サービス実践力向上研修 〈救急対応(救急法)研修〉	介護保険事業所、社会福 祉施設等の職員	1日3班	105名
〈介護支援専門員実践力向上 研修〉	介護支援専門員	2日	139名
〈福祉サービス苦情解決研修〉	苦情解決担当者等	1日	52名
〈会議能力向上研修〉	社会福祉施設等職員、社 協職員で3年目以上の者	1日	63名

(3) 地域福祉活動従事者研修

① 社会福祉協議会職員研修

研修名	対象者	日数	参加者
業務担当職員研修	福祉活動専門員等	1日	22名
事務担当職員研修	事務担当職員	1日	24名
監事研修	監事	1日	9名

福祉人材・総合相談部

【高齢者総合相談事業】

急速に進行する高齢社会に対応するため、高齢者やその家族が日常生活において抱える心配ごと・悩みごと、また介護の問題や福祉用具、高齢者が住みやすい住宅の改修などの相談に応じた。また、情報の収集や提供をすることにより、高齢者及びその家族の福祉の増進に努めた。

(1) 相談事業

- ① 日常生活における心配ごと・悩みごとなどの一般相談
- ② 法律、年金、税金、医療・介護・機能回復、認知症介護、排泄ケア、住宅増改築の専門相談
- ③ 相談件数 4,726件
電話 1,688件
来所 3,038件

(内訳)

(件、%)

	生活安全	法律	経済	福祉サービス	保健・医療	計
電話	866	96	48	563	115	1,688
来所	262	36	34	2,643	63	3,038
計	1,128	132	82	3,206	178	4,726
割合	23.9%	2.8%	1.7%	67.8%	3.8%	100.0%

(相談件数の推移)

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
3,198件	3,105件	4,565件	5,345件	6,237件	4,726件

(2) 福祉情報の収集・提供

- ① 大分県高齢者総合相談センターホームページに研修、利用者情報を掲載
- ② 広報紙「大分県社会福祉介護研修センターだより」や、新聞広告による情報提供
- ③ 相談業務担当職員に対する研修の実施 2回 98名

(3) 啓発事業

- ① 生活・介護用品アイデア作品展

福祉専門校、福祉施設や一般から募集した介護用品について、独自の工夫等により介護者の負担の軽減を図ったアイデア作品を展示した。

出品数 66点

(4) 福祉用具等の 談内容

(件、%)

項目	件数	率	項目	件数	率
排泄	171	8.3	被服	139	6.7
入浴	335	16.2	自助具	153	7.4

移 動	527	25.5	コミュニケーション	165	8.0
移 乗	171	8.3	ユニバーサルデザイン	39	1.9
ベッド、床ずれ	187	9.1	住宅改修等	178	8.6
合 計				2,065	100.0

(5) 障がい者への専門相談の実施

障がい者やその家族から「障害者110番」(大分県障害者社会参加推進センターが実施している障害者の相談窓口)に相談のあった中で、障がい者の人権や財産侵害、年金、労災などの相談に対して弁護士による専門相談を行った。

・相談件数：1件

【福祉人材センター事業】

福祉関係の求人・求職の紹介斡旋、情報提供、人材確保に関する実態調査や青少年の福祉の心醸成事業などを実施して、福祉人材の確保と資質の向上に努めた。

(1) 福祉人材無料職業紹介事業

- ① 情報提供 求人情報一覧の配布(毎月)
求人票の掲示(福祉人材センター内)
「福祉のお仕事」での求人情報の掲載(インターネット)
介護研修センターホームページへの求人・求職者情報の掲載

② 月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
相談(件)	347	347	457	346	295	370	289	259	252	353	267	248	3,830
求職(人)	88	44	64	61	82	67	53	63	49	47	73	65	756
求人(件)	109	71	138	232	90	186	130	135	193	199	137	121	1,741
(人)	205	119	252	415	149	341	208	244	330	312	255	186	3,016
紹介(人)	16	9	12	6	7	24	16	19	16	8	46	28	207
就職(人)	14	9	6	5	1	10	11	12	24	9	39	21	161

(2) 福祉職場への就職説明会の実施

- ① 2016年夏 福祉のしごと就職フェアの開催
会 場：大分県社会福祉介護研修センター
期 日：平成28年8月7日(日)
参加者：442名(学生176名、一般求職者96名、職安等13名、事業所157名)
内 容：合同面談会(参加事業所86)
情報コーナー、相談コーナー(福祉の仕事・資格取得方法など)
就職決定者数：70名

② 2017年春 大分・別府地域 福祉のしごと就職フェアの開催

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

期 日：平成29年2月12日（日）

参加者：141名（学生5名、一般求職者45名、職安等6名
事業所85名）

内 容：合同面談会（参加事業所52）

相談コーナー（福祉の仕事など）

就職決定者数：6名

③ 保育のしごと就職フェア[第1回]

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

期 日：平成28年11月27日（日）

参加者：71名（学生2名、一般求職者14名、事業所55名）

内 容：合同面談会（参加事業所27）

相談コーナー（保育の仕事など）

就職決定者数：3名

④ 保育のしごと就職フェア[第2回]

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

期 日：平成29年2月12日（日）

参加者：42名（学生3名、一般求職者13名、事業所26名）

内 容：合同面談会（参加事業所15）

相談コーナー（保育の仕事・資格取得方法など）

就職決定者数：3名

(3) 福祉人材確保推進事業の実施

① 大分県福祉人材確保推進会議の開催

福祉、特に介護労働の人材確保を図るため、課題の共有化、課題解決のための協議・研究・情報交換を目的に開催した。

期 日：平成29年1月27日（金）

内 容：平成28年度の取り組み状況等について

委 員：県（地域福祉推進室、高齢者福祉課、障害福祉課、雇用労働政策課）、大分労働局、大分公共職業安定所、介護労働安定センター大分支部、社会福祉法人経営者協議会、老人福祉施設協議会、老人保健施設協会、知的障害者施設協議会、身体障害児者施設協議会、介護福祉士会、智泉福祉製菓専門学校、別府大学短期大学部、県立大分南高校の各代表者

② 調査・研究事業の実施

ア 福祉の職場への就労を目指す求職者の意識や労働条件等を調査し、職業紹介に活かすことにより、今後の人材確保に資するため、「社会福祉施設等における人材確保に関する調査」を実施した。

イ 求職者の求職活動の参考として提供するため、「福祉の仕事・資格ガイドブック

ク」(改訂版)を作成した。

③ 資格取得試験準備講習会の開催

ア 社会福祉士養成講座

平成28年度(第29回)社会福祉士国家試験の受験対策に資するため、社会福祉士会と協力し受験対策講座を実施した。

期 日：平成28年9月10日～10月23日 計11日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：講座 57名 模試 104名

内 容：講義 19科目、模擬試験

イ 介護福祉士受験準備講習会(講義6日・実技1日×3回)

平成28年度(第29回)介護福祉士国家試験の受験対策に資するため、介護福祉士会と協力し受験準備講習会を実施した。

期 日：講義 平成28年7月26日～8月25日 計6日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：講義 12名

内 容：講義 12科目

【福祉・介護人材確保対策事業】

福祉・介護職員等の福祉人材の確保・定着を図るため、小規模な事業所が共同して合同研修を行うことができるような事業所連携の支援事業や、福祉に関心を有する者に対して職場を体験する機会を提供し、福祉職場への参入を促した。

また、ハローワーク等での相談や事業所訪問を通じて福祉・介護人材のマッチング支援を行った。

(1) 複数事業所連携研修事業

複数の小規模事業所がネットワークを形成(1ユニット 5事業所以上)し、共同で合同研修等を行うことによりキャリアアップ開発等を支援し、福祉・介護人材の確保・育成を図った。

① 支援した施設・事業所

・OST14(フォーティーン)

代表事業所 大分市 陽だまりの郷みなはる (計14事業所)

・臼杵ネットワーク

代表事業所 臼杵市 早稲田イーライフ臼杵 (計7事業所)

・竹田ん絆PART II

代表事業所 竹田市 しらゆり竹田 (計21事業所)

・すまいる、くすネット

代表事業所 九重町 このえ介護事業センター訪問介護

(計 24 事業所)

(2) 職場体験事業

福祉・介護の仕事に関心を有する者に対して、職場を実際に体験し、職場の雰囲気やサービス内容を直接知る機会を提供することにより、福祉・介護の仕事への関心を高め、人材の参入を促進した。

- ・実施期間：6月1日から2月29日まで（うち原則3日間）
- ・受入施設： 95施設
- ・体験者数： 114人 延べ211日

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
実人員	5	20	50	13	7	6	8	4	1	114
延日数	7	30	93	31	10	11	17	10	2	211

※ 就職決定者数：26人

(3) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業

福祉人材センターに福祉人材確保推進員3名を配置し、個々の求職者に相応しい職場を開拓するとともに、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を実施した。また、人材確保に係る専門的アドバイザーとして社会保険労務士を委嘱し、事業所における労務管理等の諸問題についてアドバイスを行った。

① ハローワーク等における出張相談

ハローワーク大分を除く6か所のハローワーク及び大分市内（ホルトホール）で月2回（別府・日田は毎週）「福祉のしごと出張相談」を実施した。

ハローワーク等出張相談実績 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
相談者総数	28	21	24	19	15	28	15	18	5	18	22	19	232
ハローワーク													
別府	7	8	8	4	2	10	10	8	3	7	4	8	79
日田	6	2	4	5	1	2	0	2	1	3	1	0	27
宇佐	0	2	0	0	0	2	0	2	0	1	3	0	10
中津	4	2	1	0	3	1	0	0	0	0	3	0	14
佐伯	3	3	3	9	1	3	4	3	1	5	3	2	40
豊後大野	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
ホルトホール大分	8	4	7	1	7	10	1	3	0	2	7	9	59
性別													
男性	10	11	14	8	4	12	4	7	2	4	13	7	96
女性	18	10	10	11	11	16	11	11	3	14	9	12	136
福祉関係資格													
無資格者	7	11	7	15	10	20	8	11	1	10	12	11	123
有資格者	18	9	12	3	2	3	7	5	4	6	4	5	78
年齢													
10代	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
20代	4	3	5	6	0	1	3	3	2	0	2	1	30

30代	6	6	3	9	5	4	1	3	0	3	8	2	50
40代	12	5	5	2	2	15	7	5	3	7	3	5	71
50代	5	5	7	0	6	6	2	5	0	6	7	7	56
60代	1	2	2	2	2	2	1	1	0	2	1	3	19

(「福祉関係資格」及び「年齢」には、不明の者は含まない。)

相談内容については「求人を知りたい」が121件(28.1%)、「福祉の仕事について知りたい」が107件(24.8%)、「資格の取得方法を知りたい」が92件(21.3%)、「職場体験事業について」が45件(10.4%)、「その他」が66件(15.3%)であった。

※出張相談による就職決定者数 2名

② その他の出張相談等

ア 出張相談・出張登録等

名 称	月 日	会 場	相談者数
出張相談	5月 6日	智泉福祉製菓専門学校	24名
出張相談	5月 25日	いずみの園	23名
説明会	6月 15日	大分国際情報高校	5名
出張登録	6月 17日	三幸福祉カレッジ中津校	13名
出張相談	6月 28日	智泉福祉製菓専門学校 (介護労働安定センター)	27名
元気おおい就職ガイダンス	7月 2日	ビーコンプラザ	47名
出張相談	7月 12日	智泉福祉製菓専門学校	24名
出張相談	7月 27日	河野文化学園	6名
企業合同就職説明会	7月 31日	アストくにさき「アクリホール」	0名
出張相談	8月 12日	日田園	15名
企業合同就職相談会	8月 20日	竹田市役所	1名
出張登録	9月 1日	日田園	2名
出張登録	9月 7日	智泉福祉製菓専門学校	6名
出張相談	9月 29日	うの福祉サービス	20名
出張登録	10月 6日	うの福祉サービス	1名
出張相談	10月 9日	日田市民文化会館	1名
出張相談	10月 19日	ヘルパーステーション虹の家	12名
出張相談	10月 21日	智泉福祉製菓専門学校 (介護労働安定センター)	27名
出張登録	10月 21日	ヘルパーステーション虹の家	4名
出張相談	10月 30日	くす童話の里	2名
医療・介護合同面接会	11月 23日	宇佐市勤労者総合福祉センター	1名
出張相談	12月 19日	日田園	8名
出張相談	12月 21日	日田園	8名
出張相談	1月 31日	(株)TSK大分校	7名
出張登録	2月 3日	(株)TSK大分校	4名
出張相談	2月 11日	日田市役所	2名
企業合同就職相談会	2月 18日	竹田市総合社会福祉センター	1名
出張相談	2月 23日	河野文化学園	2名
企業合同就職説明会	3月 25日	アストくにさき「アクリホール」	0名
計(29回)			293名

※ その他福祉人材確保推進員による就職決定者数 2名

③ 就職フェア等の開催

ア 豊肥地区福祉のしごと就職フェア

会場：ホテル豊洋

期日：平成28年10月12日（水）

参加者：6名

内容：就職面接会（参加事業所：13事業所）

イ 県北地区福祉のしごと就職フェア

会場：宇佐文化会館・ウサノピア

期日：平成28年10月22日（土）

参加者：28名

内容：就職面接会（参加事業所：16事業所）

ウ 速見・杵築・国東地域福祉のしごと就職フェア

会場：日出町保健福祉センター

期日：平成28年10月29日（土）

参加者：23名

内容：就職面接会（参加事業所：15事業所）

エ 介護就職デイ 2016年秋 福祉の就職フェア

会場：トキハ会館

期日：平成28年11月16日（水）

参加者：64名

内容：セミナー・就職面接会（参加事業所：59事業所）

オ 県南地区福祉のしごと就職フェア

会場：佐伯保健福祉総合センター和楽

期日：平成28年12月7日（水）

参加者：24名

内容：就職面接会（参加事業所：18事業所）

※ 就職フェアによる就職決定者数 合計 30名

④ 事業所訪問

円滑な人材確保・定着や働きやすい職場づくりを支援するため、福祉人材確保推進員が県内の事業所を訪問し、人材確保や職員教育などについての指導、助言を行った。また、人事管理、各種助成金等についての専門的アドバイザーとして委嘱した社会保険労務士による「無料アドバイザー派遣」の利用を紹介した。

⑤ アドバイザーの派遣

働きやすい職場づくりを推進するため、就業規則の見直しや各種助成金の活用等についてアドバイザーを派遣し、事業所の労務管理の改善支援を行った。

※ 派遣回数 8回

【日田市福祉人材バンク事業】

福祉関係の求人・求職の紹介斡旋、情報提供、人材確保に関する実態調査や青少年の福祉の心醸成事業などを実施して、福祉人材の確保と資質の向上に努めた。

(1) 福祉人材バンク事業

求職登録者への求人情報紙の配布（3ヶ月に1回）

日田市社会福祉協議会のホームページに求人情報一覧を掲載（5回）

求人確保のための施設訪問等実施 130回

月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談(件)	9	9	19	22	39	16	47	23	27	23	14	8	256
求職(人)	1	0	4	0	2	5	6	5	0	15	1	1	40
求人(件)	26	22	37	15	26	45	35	29	46	34	41	49	405
(人)	44	30	70	29	42	63	59	43	64	52	68	67	631
紹介(人)	0	0	1	0	2	0	3	1	0	1	1	1	10
就職(人)	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	5

(2) 説明会・講習会等の実施

① 「2016 福祉のしごと 就職フェア」の開催

会場：日田市総合保健福祉センター（ウエルピア）

期 日：平成28年11月20日（日） 13:00～16:00

参加者：8名（一般福祉職場希望者）

内 容：合同面接会（参加事業所16社）

相談コーナー設置

② 福祉人材確保相談事業の実施

巡回相談

・巡回相談会

開催日：平成28年8月24日（水）9:30～12:00

会場：玖珠町役場

相談コーナー設置（相談来所者2名）

・市民健康福祉まつりに参加

開催日：平成28年10月9日（日）10:00～15:00

会場：日田市民文化会館「パトリア日田」・中央公園

相談コーナー設置（相談来所者1名）

出張相談

- ・2016 童話の里'くす'われら現役大会

開催日：平成28年10月30日（日）12：30～16：00

会場：くすまちメルサンホール

相談コーナー設置（相談来所者2名）

- ・「ビジネス合コン」企業合同面談交流会（主催：ジョブカフェおいた）

開催日：平成29年2月11日（土）13：00～16：00

会場：日田市役所

相談コーナー設置（相談来所者3名）

③ 啓発、広報事業の実施

- ・機関誌の発行

「社協だより ひた」（日田市社会福祉協議会と共同発行）に福祉人材情報を掲載（年3回）27,160部を作成し、市内全戸に配布

- ・福祉の就職フェアの広報

チラシ作成：新聞折り込み(21,000枚)、関係諸機関配布(2,000枚)、ケーブルテレビ、新聞2社に広告掲載

- ・関係市町との連携

日田市、玖珠町、九重町の広報誌に福祉人材情報を掲載、日田市公式ウェブサイトには福祉人材センター・バンク情報の掲載（平成29年2月13日～）

【離職介護人材再就職準備金貸付事業】

大分市県内在住で、介護職として一定の知識及び経験を有する離職中の方に対し、介護職員等として再就職するにあたっての準備資金を20万を上限に貸付け、介護現場への復職を支援するもの。貸付後、大分県内の介護事業所・施設で介護職員等の業務に2年間継続して従事した場合は、返還が免除される。

- ・貸付件数 39件 決定金額 7,730,000円

【自主研修事業】

介護支援専門員実務研修受講試験受験準備講習会（講義3日・模擬試験1日）

平成28年度（第19回）介護支援専門員実務研修受講試験受験対策に資するため、受験準備講習会を実施した。

期 日：講義 平成28年7月3日、10日、24日 計3日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：講義 103名

内 容：講義 ・介護支援分野 39名
・保健医療サービス分野 32名
・福祉サービス分野 32名
・模擬試験、解説 35名

総務部

【福祉人材センター事業】

(1) 再就職支援講習会

介護現場への再就職を希望する者等を対象に介護技術や認知症の介護の研修を実施することを通して、就職支援を図った。

期 日：平成29年2月2日、7日、9日、14日の4日間

内 容：介護現場のリーダーから、介護サービスの基本視点・介護技術

参加者：8名（延30名）

(2) 子どものための福祉講座（青少年福祉の心醸成事業）

県内の小・中・高校生を対象に車いす、アイマスク体験等福祉の入門講座を開催し、福祉を体験する機会を提供することにより福祉に対する理解と関心を深め「福祉の心」の一層の醸成を図ることを目的に実施した。

ア 介護研修センター実施分

実施主体：大分県社会福祉介護研修センター

実施回数：10回

参加延人数：705名

	ジュニア基礎コース		親子ふれあい スクール
	半日コース	1日コース	
対象者	小・中・高校生	小・中・高校生	小学生・保護者
実施場所	大分県社会福祉介護研修センター、公民館、児童育成クラブ		
実施回数	小学生 8回 中学生 0回 高校生 0回 計 8回	小学生 1回 中学生 1回 高校生 0回 計 2回	0回
受講者数	小学生 490名 中学生 0名 高校生 0名 計 490名	小学生 176名 中学生 39名 高校生 0名 計 215名	0名

イ 地域実施分

実施主体：市町村社会福祉協議会

実施回数：37回

参加延人数：2,424名

	福祉巡回教室	親子ふれあい入門教室
対象者	小・中・高校生	小学生・保護者等
実施場所	8地域（市町村社協）	
実施回数	小学生26回 中学生3回 高校生0回 計29回	計8回
受講者数	小学生1,527名 中学生296名 高校生0名 計1,823名	計601名

(実施内容)

区 分	実施日	実施団体名	参加者	実施内容
福祉巡回教室	6月28日	大道小学校 (大分市社会福祉協議会)	76名 (小学生)	講話・盲導犬
福祉巡回教室	6月30日	明治小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	53名 (小学生)	盲導犬
	7月 8日	北杵築小学校 (杵築市社会福祉協議会)	39名 (小学生)	盲導犬・講話・白杖点字 ブロック体験
	7月14日	鶴谷中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	193名 (中学生)	高齢者疑似体験
	7月21日	姫島中学校 (姫島村社会福祉協議会)	12名 (小学生)	デイサービス実習
	8月 1日	夏休み公民館学校 (杵築市社会福祉協議会)	80名 (小学生)	講話・手話体験
	8月 3日	杵築市内小学校 (杵築市社会福祉協議会)	36名 (小学生)	障がい模擬体験 (車いす・アイマスク等)
	9月13日	賀来小学校 (大分市社会福祉協議会)	92名 (小学生)	盲導犬・手話体験・講話
	9月28日	神崎小学校 (大分市社会福祉協議会)	16名 (小学生)	講話・点字体験
	9月30日	桃園小学校 (大分市社会福祉協議会)	85名 (小学生)	講話・盲導犬・アイマ スク体験
	10月 7日	金池小学校 (大分市社会福祉協議会)	144名 (小学生)	講話・盲導犬・手話体験
	10月18日	丹生小学校 (大分市社会福祉協議会)	57名 (小学校)	講話・盲導犬
	10月19日	中島小学校 (大分市社会福祉協議会)	49名 (小学校)	講話・高齢者疑似体験・ 卓球バレー
	10月25日	森岡小学校 (大分市社会福祉協議会)	43名 (小学生)	講話・盲導犬・アイマスク・ 点字体験
	10月28日	佐賀関小学校 (大分市社会福祉協議会)	14名 (小学生)	講話・アイマスク体験・ 車いす体験
	10月31日	野津原東部小学校 (大分市社会福祉協議会)	15名 (小学生)	講話・アイマスク体験・ 車いす体験
	11月 1日	植田小学校 (大分市社会福祉協議会)	87名 (小学生)	講話・盲導犬・手話体験
	11月 4日	田尻小学校 (大分市社会福祉協議会)	77名 (小学生)	講話・車いす体験・アイ マスク体験
	11月 8日	下堅田小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	51名 (小学生)	車いす体験・アイマスク 体験

	11月14日	下郡小学校 (大分市社会福祉協議会)	141名 (小学生)	車いす体験・アイマスク 体験・講話
	11月15日	下堅田小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	51名 (小学生)	高齢者疑似体験・点字体 験
	11月21日	戸次小学校 (大分市社会福祉協議会)	61名 (小学生)	講話・車いす体験
	12月5日	切畑小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	13名 (小学生)	高齢者疑似体験
	12月6日	佐伯南中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	91名 (中学生)	卓球バレー・手話体験
	12月19日	大神小学校 (日出町社会福祉協議会)	49名 (小学生)	車いす体験
	1月24日	藤原小学校 (日出町社会福祉協議会)	24名 (小学生)	アイマスク体験
	2月21日	佐伯鶴岡小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	96名 (小学生)	講話・手話体験
	2月24日	木立小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	10名 (小学生)	車いす体験・アイマスク 体験
	3月11日	とまちっ子クラブ (佐伯市社会福祉協議会)	68名 (小学生)	高齢者疑似体験・福祉絵 本読み聞かせ
親子ふれあ い入門教室	7月9・ 10日	臼杵市社会福祉協議会 (臼杵小学校)	60名 (小学生)	親子による介護実習・ボ ランティアとの交流
	10月11日	佐伯市社会福祉協議会 (本匠小学校)	89名 (小学生)	盲導犬・アイマスク体験 ・手話体験
	10月14日	大分市社会福祉協議会 (駕野小学校)	49名 (小学生)	アイマスク体験・講話・ 盲導犬
	10月22日	大分市社会福祉協議会 (南大分小学校)	40名 (小学生)	アイマスク体験・高齢者 疑似体験
	11月8日	大分市社会福祉協議会 (住吉小学校)	41名 (小学生)	講話・盲導犬
	12月10日	宇佐市社会福祉協議会 (安心院小学校)	40名 (小学生)	高齢者疑似体験
	3月11日	姫島村青少年健全育成村 民会議 (姫島村社会福祉協議会)	25名 (小学生)	アイマスク体験・車いす 体験・高齢者疑似体験・ 講話
	6月～10月	津久見市社会福祉協議会 (青江小学校・第二中学 校・津久見小学校)	257名 (小中学生)	アイマスク体験・車いす 体験・高齢者疑似体験・ 講話・認知症サポーター 養成講座

【福利厚生センター事業】

福祉人材確保対策の一環として、民間社会福祉従事者等の福利厚生を充実することを目的に、平成6年度に設置された福利厚生センター事業について、施設職員の福利厚生センターへの加入促進を図るとともに、県内会員を対象とした会員交流事業などを実施した。

1 福利厚生センター事業の実施

(1) 会員の加入促進

① 加入勧奨事業

・福祉施設への戸別訪問

② 広報活動

・研修センターだよりに掲載記事を掲載

・大分県保育連合会を通じ、対象施設約200カ所へ資料送付

③ 平成28年度の加入状況

77法人 182事業所 3,865名

(2) 会員の健康管理

生活習慣病予防検診費用助成 1,556名

(3) 会員の慶事のお祝い

① 永年勤続記念品贈呈 482名

② 出産お祝品贈呈 96名

③ 資格取得記念品贈呈 103名

④ 結婚お祝品贈呈 78名

⑤ 入学お祝品贈呈 178名

(4) 会員のリフレッシュ

クラブサークル活動助成 1,821名

2 会員交流事業等の実施

(1) レジャー施設等利用補助券（1,000円相当）の発券

発券枚数：1,700枚

利用実績：1,175枚

指定施設：九州自然動物公園アフリカンサファリ、スギノイパレス、ラクテンチ、豊の国健康ランド、城島高原パーク、ハーモニーランド、うみたまご、くじゅう花公園、CITY SPA てんくう

(2) 映画チケット（会員負担金 800円/枚）の発券

発券枚数：700枚（Tジョイパークプレス大分利用）

(3) 会員交流事業 (30事業)

行事名	開催日	内 容	募集	申込	参加
コンサート (11)	6月17日	「EXILE ATSUSHI」コンサート	30枚	102枚	30枚
	7月23日	NUMBER SHOT2016	30枚	64枚	30枚
	8月20日	HIGH&LOW THE LIVE	20枚	157枚	20枚
	8月25日	「氷川きよし」コンサート	20枚	98枚	50枚
	9月17日	「徳永英明」コンサート	30枚	95枚	40枚
	10月8日	「郷ひろみ」コンサート	30枚	63枚	32枚
	10月30日	「倅田來未」コンサート	20枚	60枚	20枚
	11月12日	「さだまさし」コンサート	30枚	108枚	30枚
	12月10日	「BIG BANG」コンサート	30枚	133枚	30枚
	12月17日	「ファンキー加藤」コンサート	30枚	31枚	31枚
	12月23日	「秦 基博」コンサート	30枚	30枚	30枚
観劇・ エンターテイ メント (9)	5月4日	劇団四季「美女と野獣」	50枚	70枚	30枚
	5月28日	TAO大分公演	40枚	98枚	40枚
	6月12日	プリンスアイスワールド	30枚	97枚	30枚
	8月12日	Erth's Dinasauro Zoo恐竜どうぶつ園	40枚	67枚	40枚
	8月27日	ディズニー・オン・アイス	40枚	48枚	40枚
	9月11日	爆笑お笑いフェスin 大分	40枚	256枚	40枚
	11月27日	アンパンマンミュージカル	50枚	179枚	50枚
	2月25日	ミュージカル「キャバレー」	30枚	50枚	20枚
3月5日	ダイハツ「トーテム」	30枚	352枚	40枚	
スポー ツ (3)	8月6日	ソフトバンクvs日本ハム戦	50枚	133枚	50枚
	8月～9月	OBSボウリング&木の花ガールズ特別チケット	50枚	243枚	70枚
	11月22日	大相撲 九州場所(10日目)	20枚	78枚	20枚
グルメ (5)	7月～9月4日	別府芙蓉倶楽部 ダイニングバイキング	30枚	850枚	100枚
	10月～11月	東九州伊勢えび海道2016お食事券	100枚	539枚	100枚
	1月～2月	ソウエルクラブ 限定 焼き牡蠣ランチセット	100枚	476枚	130枚
	2月～3月	フォーリーガーデン ランチ利用券	100枚	1,010枚	130枚
	〃	湯布院ガーデンホテル ランチ券	100枚	239枚	130枚
	〃	レストランアズーリ(杉乃井ホテル)ランチ券	100枚	828枚	100枚
講座(1)	10月29日	テーブルマナー講座	20名	44名	30名

【介護支援専門員実務研修受講試験】

大分県から指定試験実施機関の指定を受け、今年度から介護支援専門員実務研修受講試験を次のとおり、実施した。

- 1 試験日
平成28年10月2日（日）
- 2 試験会場
大分大学 大分市大字旦野原700
- 3 受験申込期間
平成28年6月20日（月）～7月15日（金）
- 4 合格発表
 - (1) 発表日時
平成28年11月22日（火） 12時
 - (2) 掲示場所
 - ・ 社会福祉介護研修センターHP、県庁HP
 - ・ 県庁本館、県内各振興局の掲示板
- 5 受験者数等の状況
 - (1) 受験申込者数 1, 449人
 - (2) 受験者数 1, 305人
 - (3) 合格者数 177人
- 6 主な業務内容
 - ① 試験会場の確保
 - ② 受験案内の作成、印刷
 - ③ 試験概要の広報
 - ④ 受験申込受付、申込書・受験整理票の整理
 - ⑤ 受験資格審査、受験票発送
 - ⑥ 試験対応（試験監督員への説明会、試験会場準備、試験問題袋詰、学生バイト・警備員の確保）
 - ⑦ 採点集計業務、受験データ等チェック
 - ⑧ HP、掲示板等での合格発表、本人への合否通知
 - ⑨ 試験結果の本人への簡易開示

平成28年度大分県福祉サービス運営適正化委員会事業報告

大分県福祉サービス運営適正化委員会は、運営監視合議体と苦情解決合議体の2つの委員会により、日常生活自立支援事業の監視を通じ、同事業の適正な推進と利用者等からの苦情の適正な解決を図ることに努めた。

1 福祉サービス利用援助事業の監視

大分県社会福祉協議会から契約締結審査会や市町村社会福祉協議会の現物調査等日常生活自立支援事業の実施状況について報告を受け、本事業全般の監視を行った。

(1) 運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、福祉サービス利用援助事業実施状況についての報告を受け、事業内容や個別ケースについて必要に応じて助言を行う。

※平成28年度は開催無し。

(2) 福祉サービス利用援助事業に係る現物調査

日常生活自立支援事業担当者とともに福祉サービス利用援助事業を行う社会福祉協議会を訪問し、現地にて調査を実施し、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービス等関係書類の確認を行った。

(全調査者数：158件)

対象期間	対象社協名	調査日	調査件数
平成28年4月 ～平成29年3月	豊後大野市	12月9日(金)	10件
	豊後高田市	12月14日(水)	10件
	玖珠町	1月12日(木)	6件
	九重町	1月12日(木)	9件
	日田市	1月17日(火)	10件
	国東市	1月23日(月)	7件
	杵築市	1月23日(月)	7件
	竹田市	1月25日(水)	10件
	中津市	1月27日(金)	10件
	宇佐市	1月27日(金)	10件
	津久見市	2月1日(水)	12件
	臼杵市	2月1日(水)	10件
	日出町	2月13日(月)	8件
	別府市	2月13日(月)	10件
	佐伯市	2月17日(金)	11件
	由布市	2月20日(月)	8件
大分市	3月16日(木)	10件	

2 福祉サービスに関する苦情の解決

福祉サービス利用者本人や家族などからの苦情や相談に対し、助言や関係機関につなぐなどの対応をした。また、福祉サービス提供事業所における苦情解決体制整備を促進するため、事業所を対象とする研修会を開催するとともに、直接事業所を訪問し体制整備の促進を図った。

(1) 苦情解決合議体の開催

審議案件無しのため、開催無し。

(2) 福祉サービスに関する苦情解決セミナーの開催

事業所段階での苦情解決が円滑に図られるように、社会福祉施設の苦情解決責任者や苦情受付担当者及び第三者委員を対象としたセミナーを開催し、苦情を福祉サービスの質の向上へどうつなげるのか等について研修し、以て現場における良質なサービス提供のための体制整備を促した。

開催年月日	内 容
平成29年2月10日 10:00～16:00	参加者：134名 内容：1 福祉サービスの基本 2 クレーム対応の心構え 3 クレーム対応の技法 4 困難なクレームへの対処法 5 対応能力をさらに高めるために 講師：アイベック・ビジネス教育研究所 常任講師 鈴鹿 絹代 氏

(3) 会議・研修への参加

開催年月日	会議および研修会名	主催団体
平成28年7月15日	平成28年度運営適正化委員会事業研究協議会	全国社会福祉協議会
平成28年9月5日	平成28年度九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議	大分県福祉サービス運営適正化委員会
平成28年10月24 ～25日	平成28年度 運営適正化委員会相談員研修会	全国社会福祉協議会

(4) 福祉サービス提供事業者等に対する巡回指導

施設からの相談等により、事業所を訪問し体制整備の促進を図るとともに適正な運営の支援を行った。

実施期間	種 別	件 数
平成28年4月～ 平成29年3月	高齢者施設等	1
	障害者施設等	1
	児童養護施設	0
	計	2

(5) 広報・啓発等

各種研修等において制度の説明を行うとともにパンフレット等配付し、広く制度の周知を図った。

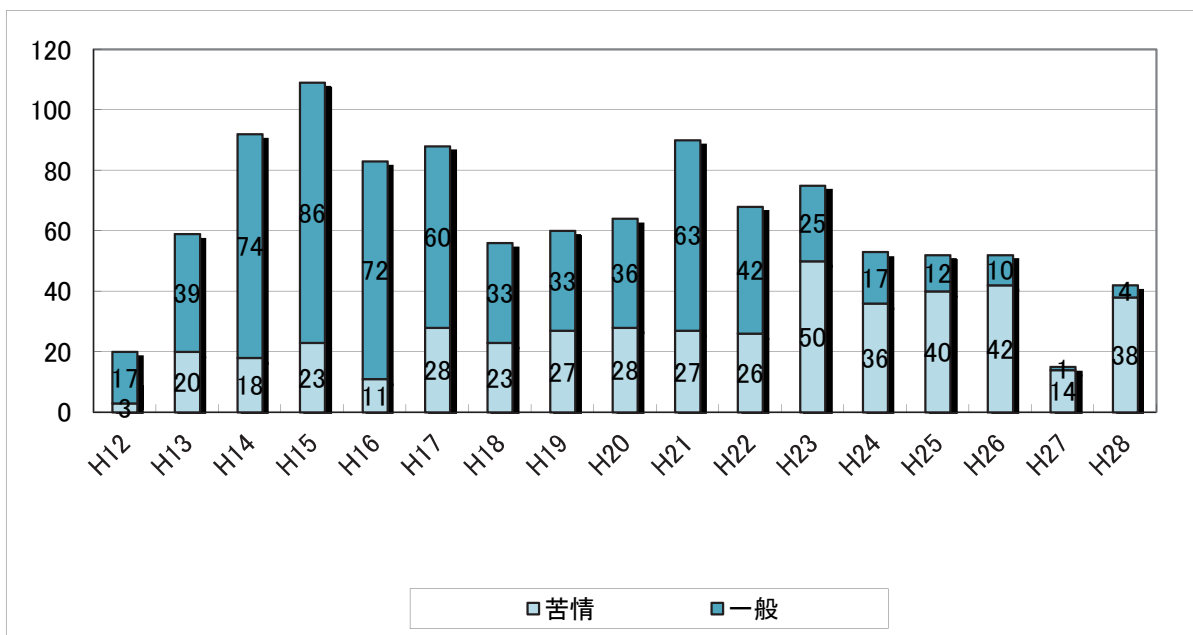
作成・配付物	主な配付先
パンフレット	大分県介護研修センター介護教室、介護支援専門員実務研修、地域包括支援センター研修会、民生委員児童委員研修会、権利擁護・成年後見セミナー等
ホームページ	一般県民等

苦情受付件数 年次別推移

(単位：件、回)

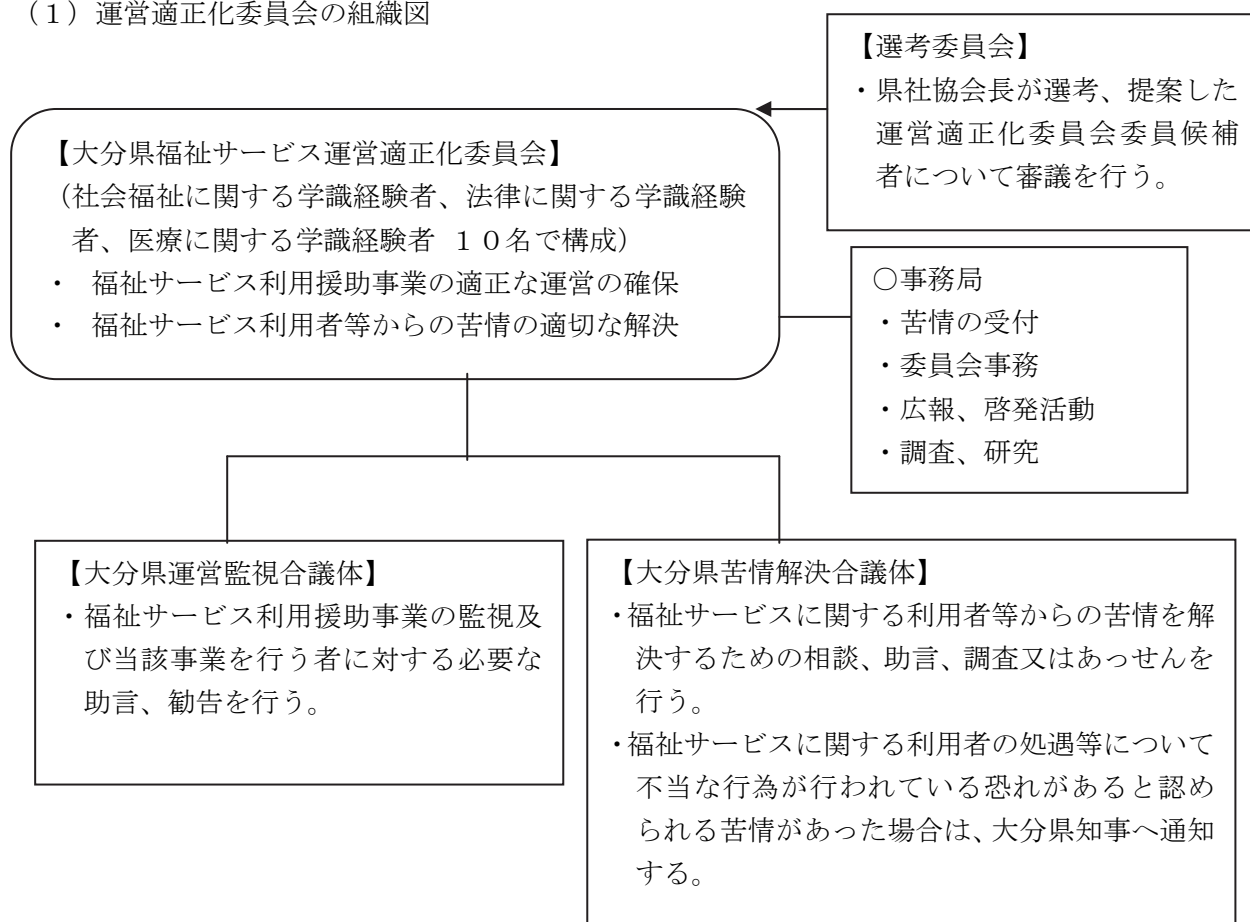
区分／年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
苦情	3	20	18	23	11	28	23	27	28	27	26	50	36	40	42	14	38	454
一般	17	39	74	86	72	60	33	33	36	63	42	25	17	12	10	1	4	624
合計	20	59	92	109	83	88	56	60	64	90	68	75	53	52	52	15	42	1,078
対応延回数	21	142	121	137	97	100	103	162	141	228	230	203	119	126	120	33	123	2,206

※昨年度と比較すると相談件数は約4倍に増加した。
 対応延回数から見ると、月平均10件程度の相談を受けた。



4 大分県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等

(1) 運営適正化委員会の組織図



(2) 大分県福祉サービス運営適正化委員選任に係わる選考委員会委員

任 期：平成28年7月6日～平成30年7月5日

委員長 定宗 瑛子 副委員長 船田 茂

区 分	氏 名	役 職 等
福祉サービスの利用者を代表する委員	杉崎 良春	大分県老人クラブ連合会 会長
	齊藤 國芳	大分県手をつなぐ育成会 会長
社会福祉事業を経営する者を代表する委員	右田 芳明	大分市社会福祉協議会 会長
	大木 隆	大分県老人福祉施設協議会 会長
公益を代表する委員	定宗 瑛子	大分県民生委員児童委員協議会 会長
	船田 茂	大分県社会福祉士会 会長

(3) 大分県福祉サービス運営適正化委員会委員

任 期：平成28年7月28日～平成30年7月27日

委員長：大崎 美泉

区 分	氏 名	役 職 等
社会福祉に関する学識経験者		
公益を代表する者	吉山 尚裕	大分県立芸術文化短期大学 教授
	吉田 正男	大分県民生委員児童委員協議会 副会長
	野中 義光	日本文理大学 経営経済学部 教授
利用者を代表する者	中野 孝子	(社団) 認知症の人と家族の会 大分県支部代表世話人
提供者を代表する者	平原 伸	大分県知的障害者施設協議会 会長
法 律	鈴木 宗厳	弁護士
	岡田 宗平	弁護士
法律(財務)に関する学識経験者	大崎 美泉	大分大学経済学部 教授
医 療	田代 幹雄	大分県医師会 常任理事
	内田 勝彦	大分県東部保健所 所長

(4) 大分県運営監視合議体委員

任 期：平成28年7月28日～平成30年7月27日

委員長：大崎 美泉

区 分	氏 名	役 職 等
社会福祉に関する学識経験者		
公益を代表する者	吉山 尚裕	大分県立芸術文化短期大学 教授
利用者を代表する者	中野 孝子	(社団) 認知症の人と家族の会 大分県支部代表世話人
提供者を代表する者	平原 伸	大分県知的障害者施設協議会 会長
法律に関する学識経験者 (財務)	野尻 昌宏	弁護士
	大崎 美泉	大分大学経済学部 教授
医療に関する学識経験者	田代 幹雄	大分県医師会 常任理事

(5) 大分県苦情解決合議体委員

任 期：平成28年7月28日～平成30年7月27日

委員長：野中 義光

区 分	氏 名	役 職 等
社会福祉に関する学識経験者		
公益を代表する者	吉田 正男	大分県民生委員児童委員協議会 副会長
	野中 義光	日本文理大学 経営経済学部 教授
法律に関する学識経験者 (財務)	岡田 宗平	弁護士
	大崎 美泉	大分大学経済学部 教授
医療に関する学識経験者	内田 勝彦	大分県東部保健所 所長

だいふくプラン2013

大分県社協第三次中長期活動計画



重点テーマ	高齢者・障がい者・子どもとその家族の安心・安全を目指して
マニフェスト	高齢者や障がい者、子どもとその家族にやさしいまちづくりを推進します

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
1	地域包括ケアシステムの円滑な推進	(1) 地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会への支援	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、社会福祉士会	・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会の活動を支援します。	地域福祉部 施設団体支援部	【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会の運営支援を実施。 (地域包括ケアに関する職員研修会を実施)
		(2) 地域包括ケアシステムに関わるネットワークの強化	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、社会福祉士会、大分県地域包括ケア研究会	・介護サービス事業者、医療機関、民生委員、ボランティアなどの関係者との連携の仕組みづくりの先進事例を研修会等で紹介し、取組に結びつけます。 ・市町村社協や民生委員などが行っている小地域福祉活動(見守りネットワークやサロン活動)との連携を図るため、研修会や会議で市町村社協職員などの地域ケア会議への積極的な参加を促します。 ・大分県地域包括ケア研究会において、地域包括ケアのあり方について協議し、ネットワークを強化します。		【地域福祉部】 ・地域包括ケアシステムや福祉の提供ビジョン等を踏まえた「我が事・丸ごと」地域共生社会に向けた動きについて、地域福祉推進委員会における各部会及び作業部会での連携・推進方を協議。 ・県庁支援センター会議への参加による意見交換及び情報提供。 【施設団体支援部】 ・老協主催による「地域包括ケア」に関する研修会を実施。
		(3) 地域包括ケアシステムに関わる人材の育成	市町村社協、社会福祉施設、地域包括支援センター、医師会、民生委員、地域住民	・地域包括ケアシステムに携わる方々を対象とした研修会の開催により、システムに関する認識を共通化し、核となる人材を拡大します。		【地域福祉部】 ・市町村社協職員を対象に地域包括ケアにおける医療と地域の連携について「地域福祉コーディネータースキルアップ研修会」を実施。(9/23) 【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会の運営支援を実施(地域包括ケアに関する職員研修会を実施) ・老協主催による「地域包括ケア」に関する研修会を実施。
2	地域包括支援センターの機能性の更なる向上と連携	(4) 地域ケア会議の機能性の向上	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、市町村社協、地域福祉推進委員会、医師会、病院協会、看護協会等	・カンファレンス実務研修や情報共有を図るための研修会を開催します。	施設団体支援部 地域福祉部	【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会及び老人福祉施設協議会の研修会等で「地域ケア会議」のあり方について情報交換等を行った
		(5) 地域包括支援センターの職員の資質向上	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	・地域包括支援センターの職員を対象とした研修会を開催し、知識や技術の向上を図ります。		【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会主催のブロック別研修会を実施。
		(6) 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー)との連携	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、市町村社協、社会福祉施設	・地域福祉コーディネーターとの連携による先進事例を会議や研修会で紹介するとともに、地域福祉コーディネーターとの連携モデル地域を設け、地域福祉コーディネーターとの連携による効果的事業展開について検証します。		【地域福祉部】 ・市町村社協職員を対象に、コミュニティソーシャルワークの視点及び複合的課題を抱えた事例等について研修会を実施。(10/27、28)
3	高齢者の生きがいがづくり	(7) 高齢者の元気づくりをサポートする人材の育成	市町村社協、ボランティア、健康推進員、老人クラブ、地域包括支援センター	・高齢者ボランティアやサークルで活躍する人の研修会を実施します。(イクジイ、サロン活動) ・介護保険による介護予防事業だけに頼らない高齢者の元気づくりに関する研修会を開催します。	地域福祉部 市民活動支援部 施設団体支援部	【地域福祉部】 ・サロンの活性化、関係者のつながりや内容の工夫、課題解決に向けた「圏域別サロン交流会(10/3、10/17、10/19、12/12、12/13)」及び「サロン全体交流会(2/2)」を実施。 【市民活動支援部】 ・豊の国ねんりんピックの開催。(9/25) ・全国健康福祉祭の派遣。(10/15~18日) ・大分県ボランティア連絡協議会合同研修会の実施。(11/30、12/1・別府市) ・ボランティア・NPO推進大会の実施。(8/20・別府市ビーコンプラザ) 【施設団体支援部】 ・地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会の各ブロック研修会における介護予防に関する研修会の実施。
		(8) 高齢者の新たな起業支援	市町村社協、ボランティア、健康推進員、老人クラブ、地域包括支援センター	・高齢者が地域でいきいきと生活するための先進的な取り組みを研修会等でとりあげ、退職直後の地域デビューを応援します。(やねだん、葉っぱビジネス) ・高齢者による農水産物の生産と買い物弱者を結びつける仕組みづくりを進めます。		【地域福祉部】 ・「くらしの“よりどころ”づくり包括連携協定」を締結(1/26)、官民連携体制による移動販売による高齢者の雇用創出を図った。

4	認知症高齢者と家族への支援	(9) 認知症のある方をサポートする人材の育成	市町村社協、認知症の人と家族の会、ボランティア、行政、医師会	・認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。 ・認知症のある方への援助方法に関する講習会を開催します。	地域福祉部 施設団体支援部 研修センター	【地域福祉部】 ・民生委員児童委員等の相談に関する研修会(参加294名)においてケース処理研修を実施。 【施設団体支援部】 ・老施協主催による研修会を実施。 【研修センター】 ・一般県民向けの認知症介護教室を年12回開催。認知症ケアにあたる職員を対象とした認知症介護実践者研修等の研修会(6コース)を開催。 ・シルバー110番相談事業において認知症の相談実績、年間245件。
		(10) 認知症に関わるネットワークの充実	市町村社協、認知症の人と家族の会、ボランティア、行政、医師会	・認知症の方が地域で生活しやすいネットワークに関する研修会を開催します。 ・認知症の方を社会全体で支える仕組みづくりを進めます。(実地訓練モデル事業等)		
5	障がい者施設・団体への支援	(11) 関係施設・団体への支援	各種別協議会、社会福祉施設、障がい者団体	・経営支援セミナーや社会福祉介護研修センターにおける研修を充実します。 ・制度や仕組みについての施設や団体からの相談について、個別に対応します。 ・障がい者の施設協議会や団体とを総合的に支援する組織の設置を検討します。	施設団体支援部	・知的、身障、就労の各種別協議会の運営支援。経営支援セミナー(10回)の実施
		(12) 工賃向上に向けた取り組みへの協力	就労支援事業所協議会	・就労支援事業所の売上向上のため、就労支援事業所協議会を通じ、地域交流朝市等に就労支援事業所の参加を呼びかけます。 ・道の駅や里の駅、商業施設関係者との協議会を開催し、販売ルートの拡充を図ります。		・就労協の運営支援、共同受注取り組みに対する支援、大分ステップクラブでの授産製品販売支援及び販売会の実施。
		(13) 発達障がい者や触法障がい者支援団体の支援	済生会、ボランティア団体、NPO、市町村社協、社会福祉施設、地域生活定着支援センター	・発達障がいに対する正しい知識の啓発と支援団体の活動を周知・広報します。 ・触法障がい者に対する正しい知識の啓発と支援団体との協議会を開催します。		・知障協職員研修において「発達障害」の研修を実施。
6	障がい者の地域生活支援	(14) 相談支援体制の充実	社会福祉施設、行政、障がい者団体	・身体障害者福祉センターにおいて、関係団体と協力し、利用者に様々な情報を提供し、ワンストップで相談に対応します。	施設団体支援部 身障センター	【施設団体支援部】 ・身障センター事業等の各施設への周知実施。 【身障センター】 ・相談に対しては、内容に応じて情報を提供し、適切な機関を紹介している。
		(15) 啓発活動の実施	障害者権利擁護センター、社会福祉施設、市町村社協	・だれもが安心してらせる大分県条例や障害者総合支援法、虐待防止、先進的な地域生活支援の取り組みについて、広報するとともに研修会や会議で取り上げます。 ・障がい者虐待防止を研修会等でとりあげ、障がい者の支援にあたる方々の虐待防止を啓発します。		【施設団体支援部】 ・老施協、知障協で虐待に関する研修会実施。
7	子ども・障がい児とその家族への支援	(16) 子育て中の親が孤立しない活動への支援	児童相談所、主任児童委員、子育て支援センター、児童館、市町村社協、保育所	・子育て中の親が孤立しない取り組みを支援します。(サロン活動や見守り活動) ・ホームスタート等、アウトリーチ型の子育て支援の方法について、取組を支援し、活動を啓発します。	地域福祉部 施設団体支援部	【地域福祉部】 ・「だいふくKITCHEN(子ども食堂)」の企画・実施(8/3、8/10、8/17、8/24、8/31、12/26)。 子どもの居場所づくりへの支援として「手引き書」を作成(680部)。 ・子育て環境セミナーの開催(9/30)。 ・県民児協「子育てサロン立ち上げ助成事業(15カ所)」の実施。
		(17) 障がい児とその家族への支援	行政、社会福祉施設、手をつなぐ育成会、市町村社協、ボランティア	・障がい児の親亡き後への支援方法について、障がい児の親へ情報提供します。 ・障がい児の放課後の余暇活動や社会生活を送る上でのスキル取得を支援する団体や施設を支援します。		



重点テーマ	社会的孤立の解消を目指して
マニフェスト	絆を大事にし、独りぼっちの人をつくらぬ運動を展開します

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
8	地域の実情にあった小地域福祉活動の推進	(1) 地域の実情にあった小地域福祉活動の普及・啓発(黄色い旗運動の取り組み等)	市町村社協、民生委員・児童委員協議会、ボランティア、自治委員会連合会、福祉委員、学校等	・黄色い旗運動などの小地域福祉活動の取組み方法を研修会や会議等で紹介し、地域の実情に即した小地域福祉活動が広がるよう広報・啓発します。	地域福祉部 市民活動支援部	【地域福祉部】 ・小地域福祉活動を推進するため「黄色い旗サミット」を開催(12/4)。 ・地域福祉の全県的な推進を啓発する「大分県地域福祉推進大会」を開催(10/12)。 【市民活動支援部】 ・小地域福祉活動先進社協による研修会、事例検討の実施。(9/5、2/18) ・市町村社協職員を対象にした先進地視察。【大牟田市社協】 ・住民参加型在宅福祉サービス研修会(11/17)の実施。 ・大分県ボランティア・NPO推進大会(8/20)の実施。
		(2) 地域の見守りに携わっている方が専門職と協働できる場づくりの推奨	地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、介護支援専門員協会、ホームヘルパー協議会、看護協会、医療ソーシャルワーカー協会、社会福祉施設、社会福祉士会、医師会	・見守りネットワークに携わっている地域住民等と専門職とが協働できる場づくりの重要性を研修会や会議を通じて啓発していきます。 ・見守りネットワークの支援方法や通信機器を活用した見守りづくりについて検討します。		【地域福祉部】 ・県社会福祉教育課主催「地域協育サポートリーダー育成講座」で講座を実施(9/12)。 ・「くらしの“よりどころ”づくり包括連携協定」による移動販売車を利用した見守り体制の構築を推進。 【市民活動支援部】 ・県社会教育課主催の公民館活動研修への学習支援(5/14、7/11)
		(3) 地区社協やサロン活動に関わる人材育成	市町村社協、地区社協、サロン、老人クラブ、民生委員児童委員協議会	・地区社協やサロン活動に関わる方々を対象とした研修会を開催します。		【地域福祉部】 ・圏別サロン交流会を県内5カ所、全体交流会を1カ所で開催。 ・若者が参加するサロンモデル事業の実施協力(佐伯市・宇佐市)。 【市民活動支援部】 ・福祉ボランティア専門研修を5団体審査決定後に委託、実施。
9	生活困窮者(経済的困窮者、様々な生きづらさを抱える人、人とのつながりが希薄な人など)の支援	(4) 地域福祉コーディネーター(コミュニティーソーシャルワーカー)の養成・育成、取り組みの研究	地域福祉推進委員会、大分大学、地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会、市町村社協、社会福祉施設、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、婦人会、自治会、地区社協	・地域福祉コーディネーターの養成カリキュラムを検討し、研修を実施し、養成、育成していきます。(実践的な研修をもちます)。 ・県の地域の福祉力再生事業の検証結果を踏まえるなどし、地域福祉推進委員会で効果的な地域福祉コーディネーターの配置方法を研究します。 ・養成研修過程にある地域福祉コーディネーターや養成研修会修了者が地域で実践した結果を検証し、各地域での取り組み及び地域福祉コーディネーターの育成カリキュラムに生かします。	地域福祉部 市民活動支援部 生活支援部	【地域福祉部】 ・市町村社協職員を対象にした「地域福祉コーディネータースキルアップ研修会」を実施(9/23、10/27・28、22名)。
		(5) 生活困窮者の実態把握と支援の仕組みづくり	市町村社協、民生委員児童委員協議会、NPO、ボランティア、老人クラブ、サロン、大分大学	・身近な地域でどのように生活に困窮し、又は孤立しているかを調査し、場面に応じた支援の仕組みづくりを進めます。		【地域福祉部】 ・生活困窮者自立支援制度への対応支援 ①自立相談支援事業等担当者連絡協議会の運営。 ②大分県生活困窮者就労支援協議会の立ち上げ。 ③県相談支援従事者研修を協働で開催。
		(6) 買い物弱者の暮らしやすい仕組みづくりの支援	市町村社協、民生委員児童委員協議会、福祉委員、ボランティア、コープおおいた、NPO、社会福祉施設	・過疎地域や都市部など、地域に応じた買い物弱者の状況把握マップを作成します。 ・関係機関と協働して見守りの支援体制を創ります。(宅配、移動販売、買物バスなどの検討) ・買い物弱者支援の先進事例を紹介しします。		【地域福祉部】 ・買い物弱者支援による地域活性化連絡会の立ち上げ、開催(4回)。 【市民活動支援部】 ・フードバンクおおいたの設立
		(7) 生活福祉資金等を活用した、生活困窮者の生活再建の支援	民生委員児童委員協議会、NPO、ボランティア、市町村社協	・資金創設の原点に立って、生活福祉資金貸付後のフォローアップに力を入れます。(債権管理や家計相談支援など)		【地域福祉部】 ・県民児協ブロック別研修会において新任委員向けに制度の概要について説明(県内8カ所)。 【生活支援部】 ・償還専門の専門員を雇用し、償還指導でのフォローアップの強化。

10	ひきこもりやニート、一人暮らし高齢者、一人親家庭の支援	(8)人との交流、ふれあいの場づくりの支援	市町村社協、コープ大分、民生委員児童委員協議会、老人クラブ	・人との交流やふれあいの場づくりの先進事例を紹介し、モデル地域による場づくりの仕組を構築します。(移動販売によるふれあいの場の創出等)	地域福祉部 研修センター	【地域福祉部】 ・圏域別サロン交流会を県内5カ所、全体交流会を1カ所で開催。 ・若者が参加するサロンモデル事業の実施協力(佐伯市・宇佐市)。 ・買い物弱者支援事業(地域活性化連絡会・包括連携協定)の実施。
		(9)一人暮らし高齢者への安心の提供	市町村社協、ボランティア、医師会、弁護士会、認知症の人と家族の会	・研修会や会議で、一人暮らし高齢者支援の先進事例を紹介し、 ・介護教室の開催やシルバー110番の相談事業を通じて、老後の安心情報を提供します。(介護、認知症、遺言、葬祭支援、納骨支援・・・) ・黄色い旗運動など様々な見守り活動の仕組みづくりを支援します。		【地域福祉部】 ・生きがい・健康づくりを住民主体で推進する啓発として「黄色い旗サミット」を開催。 【研修センター】 ・シルバー110番において、介護、法律、認知症等の各種総合相談を実施(28年度相談件数4,726件)
		(10)相談体制の充実	県行政、児童相談所、民生委員児童委員協議会、里親会、児童養護施設協議会、NPO、ボランティア、市町村社協、在宅介護支援センター、ハローワーク、児童アフターケアセンターおおい	・市町村社協職員、民生委員や主任児童委員、地域包括支援センター、在宅介護支援センターの職員等の地域で相談を受ける役割の方々の研修会を充実させます。 ・県行政と協働・連携して、子育てサロン、里親サロンの活動等とおして、児童虐待防止等相談体制の充実を図ります。 ・措置解除に伴い、児童養護施設やファミリーホーム、里親を退所された方々への支援や助成の情報を提供します。		【地域福祉部】 ・生活困窮者自立支援事業等担当者連絡協議会でのケース検討等の実施(6/28、12/22、2/17)。 ・民生委員を対象とした相談研修会の実施(9/6)。 ・法律巡回相談会の実施(10カ所・57名)。 【研修センター】 ・地域包括支援センターの職員等を対象とした、相談援助技術等についての研修会を年2回実施。
11	関係団体、機関への支援	(11)関係団体、機関の人材育成	社会福祉法人、市町村社協、民生委員児童委員協議会、NPO、ボランティア団体、老人クラブ、サロン	・社会福祉法人が地域貢献として行う生活困窮者に対する取組みを支援します。 ・生活困窮者支援を対象としたセミナーを開催します。 ・生活困窮者支援を行っているNPOや団体とのネットワークを構築します。	地域福祉部 施設団体支援部	【地域福祉部】 ・生活困窮者自立支援制度に係る関係団体等との情報交換の実施及び市町村社協への情報提供。 ・県市町村社協職員連絡協議会の事業運営。
		(12)関係団体、機関の活動紹介	大分県青少年自立支援センター、大分いのちの電話、民生委員児童委員協議会、NPO、老人クラブ、ボランティア団体、行政	・関係団体、機関の取り組みや地域での課題をお知らせし、社会的孤立問題について啓発します。		【地域福祉部】 ・大分県生活困窮者就労支援協議会の立ち上げ(1/31)。
		(13)関係団体への助成金情報の提供	大分県青少年自立支援センター、大分いのちの電話、民生委員児童委員協議会、NPO、老人クラブ、ボランティア団体	・生活困窮者支援への助成金情報を提供します。 ・善意銀行からの助成金を優先的に配分します。		【地域福祉部】 ・善意銀行をととした社協への物品等の配分(5回・延べ13社協)。



重点テーマ	権利擁護システムの確立
マニフェスト	高齢者や障がい者の権利をまもります

NO.	施策の方向性	具体的な取り組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
12	市町村の法人後見の仕組みづくり及び市民後見人の養成、拡充	(1) 法人後見の必要性の啓発	市町村社協、弁護士会、社会福祉士会、社会福祉施設、市町村	・成年後見・権利擁護セミナーを充実させます。 ・成年後見制度の利用促進に向けた研修会を開催します。	地域福祉部	【地域福祉部】 ・成年後見・権利擁護セミナーの開催(12/10)。 ・権利擁護・法人後見セミナーの開催(12/20)。 ・権利擁護・成年後見推進連絡会議の開催(1/20)。 ・法人後見従事者養成研修会の開催(2/7~9、3/8~9)。 ・市町村社協職員への法人後見実施に向けた啓発研修の実施。 ・日常生活自立支援事業担当者研究協議会において法人後見事業のあり方を協議。
		(2) 法人後見の仕組みづくりに関する研究	市町村社協、弁護士会、裁判所、司法書士会、社会福祉士会、社会福祉施設	・県内での法人後見のあり方を検討する委員会を立ち上げます。 ・モデル地域での実践を検証します。		【地域福祉部】 ・大分県地域福祉推進委員会における法人経営・制度政策部会において、法人後見のあり方をふまえた権利擁護事業の推進について協議・検討。
		(3) 法人後見モデル地域の選定	市町村社協、弁護士会、裁判所、司法書士会、社会福祉士会、社会福祉施設	・法人後見のモデル地域を選定し、モデル事業を実施します。		【地域福祉部】 ・大分市社協がやすらぎ安心事業で任意後見を実施。 ・中津市社協が法人後見事業を実施。 ・臼杵市社協が法人後見センターを設置・運営。 ・次年度の広域型権利擁護センター設置促進に関する協議・検討。
		(4) 市民後見人の養成	市町村社協、NPO、社会福祉士会、弁護士会、社会福祉施設、民生委員児童委員	・市民後見人養成研修会を開催します。		【地域福祉部】 ・法人後見従事者研修会を開催(2/7~9、3/8~9)。 ・臼杵市市民後見人養成講座で講義(7/19)。 ・大分市市民後見人養成講座で講義(10/15)。 ・竹田市市民後見人養成講座で講義(1/21)。 ・NPO法人市民後見ささえあいの市民後見人養成講座で講義(1/29)。 ・民生委員児童委員ブロック別研修において8ヶ所で講義。
		(5) 市民後見人養成バンクの作成	市町村社協、民生委員児童委員協議会、社会福祉士会、社会福祉施設、家庭裁判所	・裁判所に推薦する市民後見人の登録名簿を作ります。		【地域福祉部】 ・委員会で市民後見人の登録についても検討。
13	関係機関との連携及び広報・啓発	(6) 裁判所や弁護士会等関係団体とのネットワークの整備	裁判所、金融機関、弁護士会、医師会、市町村	・関係機関とのネットワークを整備します。	地域福祉部	【地域福祉部】 ・日常生活自立支援事業関係機関連絡会議の開催(1/20)。 ・権利擁護・成年後見推進連絡会議の開催(1/20)。
		(7) 身寄りの無い方等の市町村申し立ての推奨	県行政、市町村	・身寄りが無く、申し立てができない方のため、県行政とも協働し、研修等により市町村に働きかけ首長申立制度の利用を推奨します。		【地域福祉部】 ・県主催の関係機関連絡会議において、社協への支援を要望。
		(8) 成年後見制度や日常生活自立支援事業のパンフレットの配布	市町村社協、行政、裁判所、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、法テラス	・成年後見制度や日常生活自立支援事業の仕組みや活用方法のパンフレットを配布します。		【地域福祉部】 ・家庭裁判所の成年後見制度に関するパンフレット及び日常生活自立支援事業のパンフレットを市町村社協をはじめ、関係機関に配布。
		(9) 広報誌やホームページ等を活用した、成年後見制度や日常生活自立支援事業の周知	市町村社協、行政	・広報誌やホームページ等を活用し、成年後見制度や日常生活自立支援事業の情報を提供します。		【地域福祉部】 ・家庭裁判所の成年後見制度に関するパンフレット及び日常生活自立支援事業のパンフレットを市町村社協をはじめ、関係機関に配布。
14	虐待の防止	(10) 虐待防止のための啓発活動	県行政、市町村、市町村社協、社会福祉施設、NPO、社会福祉士会、民生委員児童委員協議会	・研修会等で虐待防止に対する取組みを紹介し、地域や施設での虐待防止の取組みに活かします。	地域福祉部 施設団体支援部 総務・企画情報部	【地域福祉部】 ・民生委員児童委員活動の中で虐待防止意識の共有や案内等を行っている。 【施設団体支援部】 ・老施協、知障協で虐待に関する研修会実施。
		(11) 日常的な見守り、助け合い活動の普及、充実	市町村社協、民生委員児童委員協議会	・市町村社協が実施するサロン活動及び民生委員児童委員の見守り活動の支援を強化し、より一層の普及・充実を図り、虐待防止につなげます。		【地域福祉部】 ・単位民協主催の研修会への講師派遣による学習支援

15	障がい者の権利擁護	(12)福祉情報の提供	社会福祉施設、市町村社協、地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	・日常生活自立支援事業による福祉サービスの利用援助や「きずな名鑑」により、福祉情報を提供します。	地域福祉部	【地域福祉部】 ・日常生活自立支援事業を通じて、判断能力の不十分な方々へ福祉サービスの利用方法等情報提供を実施。
		(13)利用者の権利擁護に関する制度の普及	市町村社協、社会福祉施設	・誰もが尊厳ある暮らしを送れるよう、自己決定権の尊重の考え方が普及されるよう、日常生活自立支援事業や苦情解決制度、第三者評価制度の普及に取り組みます。		【地域福祉部】 ・日常生活自立支援事業、苦情解決事業、第三者評価事業を円滑に進め、権利擁護の取り組みへの環境を整備。
16	権利擁護に関わる人材の育成	(14)生活支援専門員や生活支援員の質の向上	市町村社協	・日常生活自立支援事業を担当する生活支援専門員や生活支援員の質の向上を図ります。	地域福祉部 総務・企画情報部	【地域福祉部】 ・日常生活自立支援事業新任職員研修会の開催(5/3)。 ・日常生活自立支援事業担当職員研究協議会の開催(7/11、2/24)。 ・生活支援員等事業関係職員研修会の開催(2/24)。 ・現物調査の際に事業実施にあたっての困りごとの把握。 ・日常生活自立支援事業において、業務システム「らいと」の導入及び使い方の普及・啓発
		(15)苦情解決機能の向上	市町村社協、社会福祉施設	・苦情解決セミナーを充実させ、苦情解決責任者や第三者委員の資質の向上につなげます。		【総務・企画情報部】 ・苦情解決責任者や第三者委員を対象とした苦情解決セミナーの実施。
		(16)第三者評価調査員の質の向上	社会福祉施設、NPO	・評価調査者の研修を充実させ、調査を社会福祉施設の質の向上へとつなげます。		【施設団体支援部】 ・評価調査者研修会等の実施



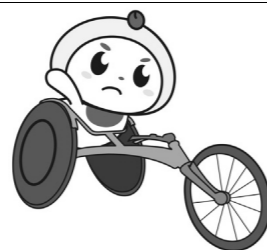
重点テーマ	災害に強い地域づくり
マニフェスト	災害が起きても安心・安全な地域づくりを推進します

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
17	災害時要援護者をまもる地域コミュニティの構築	(1) 福祉避難所の設置促進、要援護者避難訓練の支援	旅館・ホテル、社会福祉施設、市町村社協、コープおおい	・福祉避難所の量的確保と要援護者の特性に応じた避難所の質の充実を図ります。 ・関係機関と協働し、より現実に近い形で小さな単位での要援護者の避難訓練を実施します。 ・要援護者の避難について、社会福祉施設が貢献できるよう支援します。	地域福祉部 市民活動支援部	【市民活動支援部】 ・避難行動計画作成研修マニュアルの作成（マニュアル検討会議8回開催、作成部数1,500部） ・災害時避難行動計画作成研修会の実施（県内沿岸部11市にて開催 計585名参加） ・福祉避難所開設・運営マニュアル作成と活用推進。 ・災害ボランティアセンター運営現地研修（8/3～26、南阿蘇村生活復興センター）。 ・大分県中部地域総合防災訓練への参画。→ 台風接近により中止 ・大分県災害ボランティアネットワーク研修会の実施（2/23）。
		(2) 災害時の福祉ボランティアの確保と支援の方法	市町村、市町村社協、民生委員、各種団体、盲人協会、聴覚障害者協会、社会福祉法人	・福祉ボランティアを確保するための広報、研修会を開催します。 ・避難及び避難所での避難者に配慮した福祉ボランティアの支援方法を検討します。		【市民活動支援部】 ・「福祉ボランティアリーダー養成講座」を8～11月にかけて年5回実施済。ボランティアリーダー育成の面でニーズとは何か、サービスとは何かを学ぶことと同時に新たな仲間づくりに向けた啓発を実施。
		(3) 平常時の要援護者等を対象とした地域交流事業	社会福祉施設、市町村社協、社会福祉法人	・平常時における要援護者等を対象とした地域交流を促進します。		【地域福祉部】 ・社協役員を対象とした現地ニーズ調査を実施（別府市11/7～11）。
18	市町村災害ボランティアセンターの円滑な運営のための体制整備	(4) 市町村災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの整備、定着	市町村社協、ボランティアネットワーク、防災士会、民生委員児童委員協議会	・市町村社協災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの定着のための研修会を開催します。 ・機動的な災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成を支援します。 ・要援護者支援の観点盛り込んだ運営マニュアルの作成を支援します。	市民活動支援部	・市町村災害ボランティアネットワーク会議（県内2会場）により各センターの設置運営マニュアルについて協議している。
		(5) 市町村における災害ボランティアネットワークの整備	市町村社協、行政、民生委員児童委員協議会、ボランティア、日赤、消防団、防災士会、建設業組合、商工会、青年会議所、NPO、コープおおい	・市町村ごとの災害ボランティアネットワークの構築を支援します。 ・機動的なネットワークとなるよう、実際に各関係機関がどのように動くかどうか訓練を実施し、実際に災害が起きた時の円滑な連携のあり方を整備します。		・災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会を実施（5回）。 ・市町村災害ボランティアネットワーク会議（県内2回）の実施。
		(6) 外部からの支援を活かせるマニュアルの整備促進	市町村社協、NPO、ボランティア、コープおおい	・国外、県外、市外からの支援を受け入れる力（受援力）を高めるために、研修会を開催します。		・福祉避難所運営研修会（市町村社協職員対象）を年3回実施。365名参加。
19	情報収集・発信体制の整備	(7) 社会福祉協議会間、社会福祉施設間での応援協定の締結、整備	市町村社協、社会福祉施設	・全市町村社会福祉協議会間での応援協定締結を支援します。 ・大分県社会福祉施設等災害時相互応援協定が円滑に機能するよう、平常時からの調整と情報共有を図ります。	地域福祉部 市民活動支援部 総務・企画情報部	【地域福祉部】 ・県市町村社協災害時応援協定等に基づく災害への支援（別府市・竹田市・由布市）。
		(8) 社会福祉協議会間、社会福祉施設との連絡窓口の共有化	市町村社協、社会福祉施設、九州社会福祉協議会連合会、全社協	・市町村社協や社会福祉施設、九社連、全社協からの情報収集体制の窓口を一本化します。		【地域福祉部】 ・九州ブロック社協災害時相互応援協定に基づく熊本県への支援（南阿蘇村・西原村・熊本県社協・熊本市・宇土市）。 【市民活動支援部】 ・県との協働により大分県災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを作成、関係機関へ配布した。会議・研修会等で活用中。
		(9) 県社協の災害対策マニュアルを見直し	市町村社協、行政、九州社会福祉協議会連合会、全社協	・現行の県社協の災害対策マニュアルを見直し、よりきめの細かい情報収集体制を再構築し、実践的な改訂版を作成します。		【地域福祉部、総務・企画情報部】 ・県社協版災害救援マニュアル改定版を作成。
20	小さな地域単位での避難体制の組織化	(10) 東日本大震災、九州北部豪雨災害の検証に立った組織化の推進	市町村社協、ボランティア、自治委員会連合会、民生委員児童委員協議会、行政	・東日本大震災、九州北部豪雨災害における避難体制の検証をします。 ・研修会や会議において、自治会単位での避難体制整備に関する先進事例を提供します。	地域福祉部 市民活動支援部	【地域福祉部】 ・地域防災研究部会及び県市町村社協職員連絡協による「ニーズ調査研修」並びに「災害時要配慮者を含む避難訓練」を実施（1/15）・検証（1/29）。 【市民活動支援部】 ・各自治会や校区単位での防災研修・会議等に講師として派遣指導を実施。

21	災害時、県災害ボランティアセンター(県社協)が機能するための環境整備	(11)県災害ボランティアセンターのあり方の協議、検討	県行政、市町村、市町村社協、全社協	<ul style="list-style-type: none"> ・大震災発生後は、県地域防災計画に基づき、直ちに県災害ボランティアセンターを立ち上げます。 ・県災害ボランティアセンターにおいて、全国からのボランティアの受け入れができるよう、平常時から準備します。 ・県の広域防災拠点の補完拠点の検討状況を踏まえ、県社協事務局の補完場所や機能について、県と協議・検討します。 	<p>地域福祉部 市民活動支援部 総務・企画情報部 研修センター</p>	<p>【地域福祉部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災研究会での「南阿蘇村災害ボランティアセンター運営支援振り返り会」を開催(1/13)。
		(12)県社協事務局が大震災発生時に、直ちに機能するための環境整備	県行政、市町村、市町村社協、全社協	<ul style="list-style-type: none"> ・大震災発生時、総合社会福祉会館が機能停止した場合に備えて、社会福祉介護研修センターに県社協事務局及び災害対策本部が直ちに設置できるように県と協議し、環境整備に努めます。(災害時要援護者情報や支援様式等の電子情報等をバックアップする方法の検討、クラウドサービスの活用など) 		<p>【市民活動支援部、総務・企画情報部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会(年1回)、運営委員会(年3回)の開催。 ・県及び研修センターと三者で随時、設置・整備について協議を実施。(3階小ホールを使用予定) <p>【研修センター、総務・企画情報部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年6月「大分県広域防災拠点基本計画」が策定され、研修センターに県災害ボランティアセンターを設置することが適当であるとされた。現在、県で災害ボランティアセンターの事務スペースとなる小ホールにパソコン、電話等やインターネット環境の整備を行っており、県との情報交換を密にしている。

重点テーマ	福祉ゾーン機能の充実・確立
マニフェスト	新たな福祉ゾーンの整備を進めます

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
22	蓄積された福祉のノウハウを国内外に発信します(ウェルフェアツーリズム事業による東アジアとの連携)	(1) 県行政と連携した取り組み	県行政、社会福祉施設	・東アジア地域の方々に、大分県内の社会福祉施設や社会福祉介護研修センターの見学等を通じて、日本の最新福祉情報を発信します。	研修センター	<p>・県が韓国ソウルで開催した「観光プロモーション」に参加し、韓国の旅行社等に対して研修センターや県内の福祉施設を紹介し、誘客を図った。</p> <p>【平成28年度研修センター海外受入団体：11団体302名】</p>
		(2) 具体的なルート作成	県行政、社会福祉施設、旅行会社	・具体的なルートを計画します。		
		(3) 受け入れ準備、組織体制の確立	県行政、社会福祉施設、旅行会社 大分大学、APU立命館アジア太平洋大学、日本文理大学、別府大学、県立看護科学大学	・受け入れるために必要な準備をします。		
23	障がい者の心とからだのリハビリ拠点を整備します(障害者総合支援法に基づく新たな総合福祉センターづくりを目指します)	(4) 県行政と連携した取り組み	県行政	・身体障害者福祉センター(あつたかハートセンター【仮称】)のリニューアルに向け、県行政と協議します。	身障センター	<p>・県の施設であるため、県の意向に左右されるが、センターのあり方について現場サイドからの問題提起を実施。</p> <p>・福祉ゾーンから芸術ゾーンへの周遊が実際にどのようなようになるのか検証のための準備を実施。</p> <p>・県の施設であるため、県の意向に左右されるが、センターのあり方について現場サイドからの問題提起を実施。</p>
		(5) 県立美術館との連携した取り組み	県行政	・県立美術館の建設と連携し、芸術ゾーン(県立美術館付近から大分駅付近にかけての範囲)と福祉ゾーン(大分川以東、大野川以西の総合社会福祉会館と社会福祉介護研修センターの間付近の範囲)双方の機能が相乗的に効果をもたらすような取り組みを計画します。		
		(6) 県社協災害対策本部の整備	県行政	・リニューアルに際しての災害対策本部のスペースを確保するよう、県行政と協議します。		



重点テーマ	情報発信力の強化
マニフェスト	社協や福祉の情報を身近に直接発信します

NO.	施策の方向性	具体的な取組み項目	主な支援・協働先	事業の実施目標	担当部署	事業の推進状況
24	徹底した現場主義に基づいて、地域と一緒に活動する社協活動を展開	(1)現場主義を進めるための組織体制の実証、改良	市町村社協、社会福祉施設等	・現場主義を進めるための組織のあり方の検討結果を実証し、改良につなげます。	総務・企画情報部 地域福祉部	【地域福祉部】 ・地域福祉推進委員会における市町村社協からの意見・要望に基づいた各部会及び作業部会の運営。
		(2)現場の意見を聞き、調整する場づくり	市町村社協、行政(県、市町村)等	・地域の実情に即した事業展開を図るため、県社協と市町村社協、市町村社協と市町村の協議の場づくりを積極的に進めます。		
		(3)市町村社協、社会福祉施設での職員実習	市町村社協、社会福祉施設等	・市町村社協や社会福祉施設での実習をとおり、地域や施設の課題・ニーズをとらえ、活動に生かします。		
25	「だいふくん」を活用した、グッズ・書籍の作成・販売・普及、イベントプロデュース	(4)「だいふくん」着ぐるみを活用したイベント等でのPR	市町村社協、社会福祉施設等	・着ぐるみを活用し、各種イベント等で「だいふくん」、社会福祉協議会等のPRをします。 ・だいふくんの歌を作成し、イベント等で活用し、社会福祉協議会等のPRをします。	総務・企画情報部	【広報啓発班】 ・各種大会・イベント等への参加による福祉(県社協)の広報・啓発。
		(5)就労支援事業所との協働	就労支援事業所協議会	・だいふくんグッズの作成などを通じ、就労支援事業所を支援します。		
		(6)だいふくんグッズ・書籍を活用したPR	市町村社協、社会福祉施設等	・だいふくんグッズや書籍の作成、販売、普及をとおり、社会福祉協議会等のPRをします。 ・だいふくんを福祉教育に活用します。(教材の作成等)		
26	広報誌やホームページ、フェイスブック等による、関係機関や地域活動団体の取り組みの紹介	(7)先進的な地域福祉活動の取り組みの発信	市町村社協、社会福祉施設、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体、NPO	・広報誌、ホームページ、フェイスブック等により先進的な地域福祉活動の取り組みを発信します。	総務・企画情報部	【広報啓発班】 ・ホームページ及びFacebook等による情報発信。 ・広報誌による社協事業・活動等の広報啓発。
		(8)地域課題調査の結果紹介、分析	市町村社協、社会福祉施設、民生委員児童委員協議会、ボランティア、NPO	・地域課題の調査を広域的な観点から実施し、結果分析を提供し、今後の地域福祉活動に役立てます。		
		(9)社会福祉協議会や社会福祉施設の紹介	市町村社協、社会福祉施設	・社会福祉協議会の活動内容を分かりやすく紹介し、社協活動の理解を促します。 ・「きずな名鑑」等で、社会福祉施設を紹介し、社会福祉施設をPRするとともに、利用者の施設選択に資することとします。		

